

THE PLANNER



トレーニングマニュアル

By FukuiComputerSystem from Nagasaki

<https://www.thesystem.co.jp/>

ザ・プランナー トレーニングマニュアル

基本機能/プラン入力

この章では、ザ・プランナーの図面を作るために覚えておきたい操作方法や画面まわりの基本的な機能を解説しています。



住宅システムメニュー→マイプラン・マネージャー起動

住宅システム起動

- 1 デスクトップの「住宅システム」アイコンをダブルクリックします。
住宅システムメニューが起動します。
「プランナー」と「提案ボード」アイコンは、ザ・プランナーご購入時の標準ソフトとなります。



- 2 画面下の「インフォメーション BOX」は、インターネット接続時に、当社からの最新情報メッセージを確認頂けるものです。

- 3 マイプラン・マネージャーを起動します。



- 4 マイプラン・マネージャーより、新規プラン作成をします。

◆マイプラン・マネージャーの3つの役割

- ☆グループ管理（顧客名／工事名）
- ☆プランナーデータの閲覧・作成・修正
- ☆契約書・申請書などの顧客データとの関連付け



- 5 作成するプランの「プランナーファイル名」を入力します。
プランナーファイル名を入力すると同時に、新しいグループが作成されます。

新規プラン

プランナーファイル名

☒ 新しいグループを作成

☐ グループ選択

 プランナーを起動します。

OK をクリックすると、プランナーが起動します。

次のページより、実際にプランナーによるプラン入力を行います。

プランナー入力画面の説明



タイトルバー

作業中の物件名が表示されます。

プルダウンメニュー

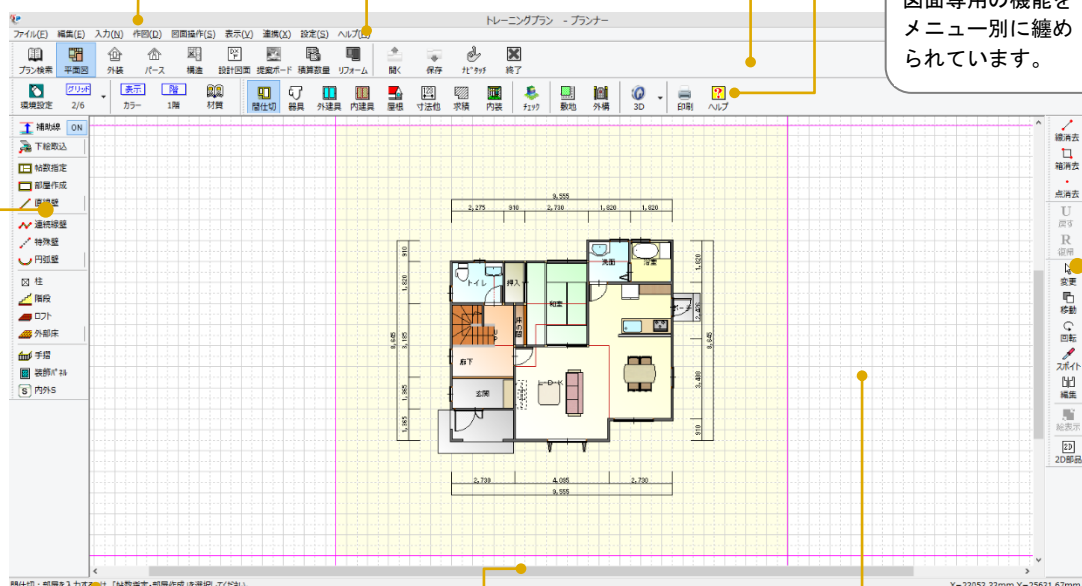
機能が目的別に纏められてクリックすると機能を表示します。

ツールバー

機能別アイコンが纏められています。

専用ツールバー

図面専用の機能をメニュー別に纏められています。



メッセージバー

選択した機能の名称や次の操作に関する説明が表示されます。

移動バー

画面の移動が行えます。マウス移動も可能です。

入力領域

物件入力の領域です。

専用機能バー

専用ツールバー選択後に表示される機能

編集ツールバー

編集機能を纏めたメニューバーです。

ポップアップメニュー

入力領域でマウスを右クリックすると開くメニューです。

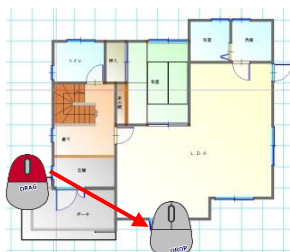
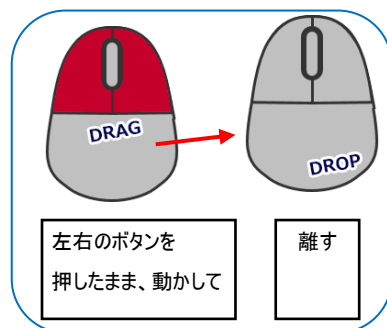
入力中によく使われる機能や編集ツールバーの機能が纏められています。

- ・OK: 入力確定
- ・キャンセル: 入力機能のキャンセル
- ・戻る: 入力動作の一つ前の動作に戻る
- ・画面の再表示: 画面に残像が残った場合の再表示
- ・元に戻す: 入力後に入力前の状態に戻す
- ・やり直し: 直前に実行した操作を元に戻す
- ・変更: 入力済データの変更
- ・スポイト: 入力済データ情報をスポイトの様に吸い上げ同一情報の入力状態に入れる。
(例: 片開戸をスポイトすると片開戸入力に入れる)
- ・線消去: 消去するデータを線を引く様に選択消去
- ・箱消去: 消去するデータを囲い選択消去
- ・点消去: 消去するデータを点で選択消去
- ・部屋作成カーソル
ボックス/十字カーソル切替
- ・平面表示
テキスト・カラー・モノクロ
線画の切替
- ・床表示
床の材質・カラーの表示、非表示の切替
- ・設定
各種設定、マスタの変更

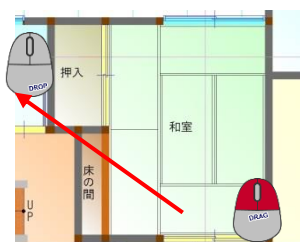
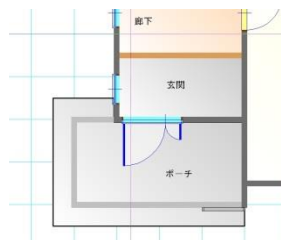
OK	キャンセル
戻る (1段階前へ)	
画面の再表示	
元に戻す	やり直し
変更	スポイト
線消去	箱消去
点消去	
移動 (器具・建具)	回転 (器具・建具・床材)
部屋作成カーソル	
平面表示	
床表示	
設定	
P-CATCH	

拡大・縮小

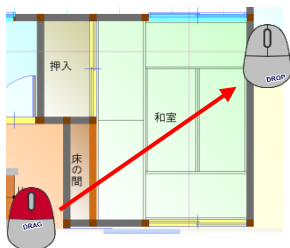
ザ・プランナー2012 年版から、画面の拡大・縮小の操作を素早く行う事が出来るように、Jw-cad と同じ「両ボタンドラッグ」を採用しています。
両ボタンドラッグとはマウスの左右のボタンを同時に押して行う画面操作方法です。



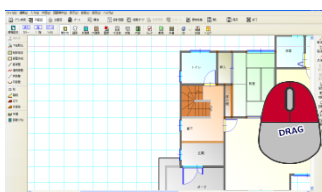
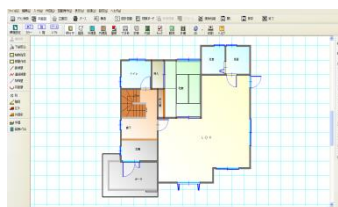
拡大



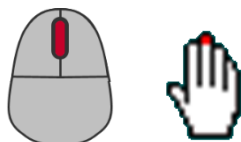
縮小



全体表示



表示位置移動



マウスホイール（真ん中ボタン）を入力画面で押すと、手のアイコンが現れて画面移動が可能です



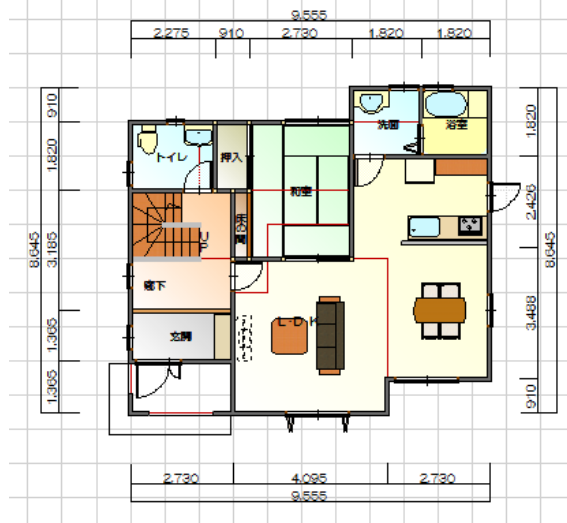
ザ・プランナー作成データ範囲と操作アイコン

ザ・プランナーの作成データは、プレゼンデータと図面データに分かれます。

【プレゼン: ①平面図(プランナーデータ) ②パース画像データ】【図面: ③DXF 図面データ】

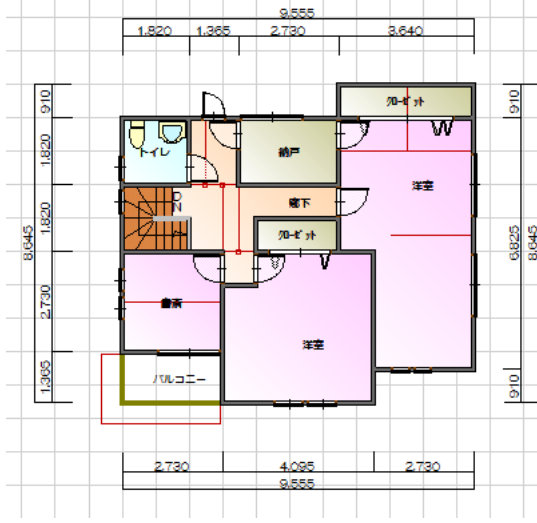
操作アイコン

- ◆「①平面図アイコン」は、平面・屋根・内装データを入力。「外装アイコン」は装飾部材の外観デザイン入力
- ◆「②パースアイコン」は、①の入力データを基に内外パースを作成します。
- ◆「③設計図面アイコン」は、平面図・立面図(4面)・展開図・配置図を DXF データとして作成します。
- ◆「④提案ボード」は、①②③の平面・パース・DXF 図面のレイアウト配置印刷ソフトの起動アイコンです。
- ◆「④提案ボード」は、①②③の平面・パース・DXF 図面のレイアウト配置印刷ソフトの起動アイコンです。



①【1階平面】プランナーデータ

地階	床面積
1階	71.00㎡ 21.47坪
2階	71.00㎡ 21.47坪



①【2階平面】プランナーデータ



②
外観パース(画像データ)
(bmp,jpg,jpeg,gif,png)



②
内観P(画像データ)
(bmp,jpg,jpeg,gif,png)



③
ザ・プランナー(DXF 図面)
平面・立面・展開図・配置図



基本情報設定



環境設定

入力プランの階高設定やグリットモジュールなどの設定は、「環境設定」で行います。



1 画面左上の環境設定で基本設定確認。

2 モジュール設定: 910mm(半間)

3 階高設定

- ・1階 桁間: 3,000mm
- ・2階 桁間: 3,000mm
- ・SL: 500mm FL: 50mm

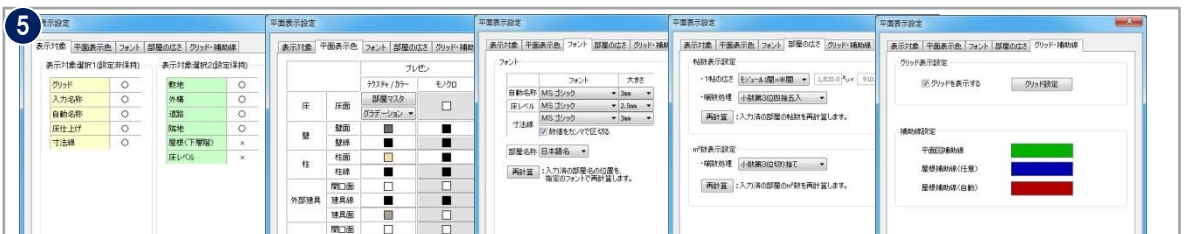
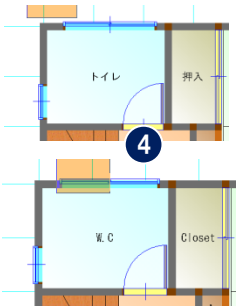
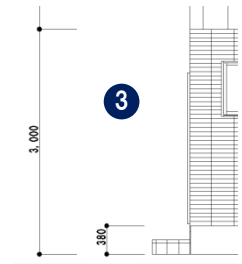
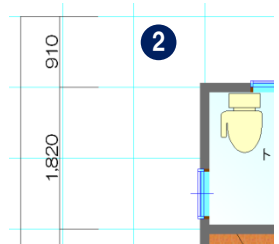
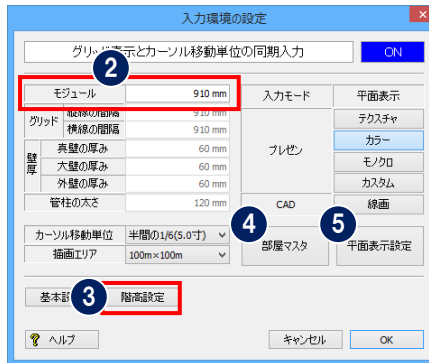
4 部屋マスタ設定

- ・各部屋の名称・天井高・床厚・巾木高
廻縁高設定。
- ・平面表示カラー設定
- ・カスタム表示設定「パターン編集」

※入力環境の設定の「カスタム」及び
部屋マスタ設定の「パターン編集」は、
3D プレゼン拡張機能をご契約の方
のみご利用できます。

5 平面表示設定

- ・表示対象設定: グリット・寸法など
- ・表示色: 壁・柱・内外建具、開口部
- ・フォント設定
- ・帖数・平米設定
- ・床レベル設定



※「平面表示」は、主に敷地・外構などの表示/非表示の切り替えを行います。

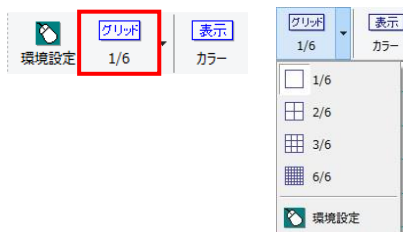
※「平面表示色」は、壁・内外建具の表示色の切り替えを行います。

※「フォント」は、部屋名称・寸法と部屋名の日本語/英語切り替えを行います。



平面プラン入力 「グリッド分割表示」 切替

部屋入力や住設部品及び補助線を入力する際にグリッドモジュール内の分割を切替表示させる機能です。
設計の方以外の担当者が入力を行う際にグリッドモジュール内の分割入力を行う為の補助機能となります。



「グリッド」のアイコンを押すと、グリッド表示が切替られます。
「▼ボタン」を押すとプルダウン切替になります。

【表示例】

環境設定:モジュール 910mm

カーソル移動 1/6

グリッド表示(4)

1/6、2/6、3/6、6/6



環境設定

モジュール

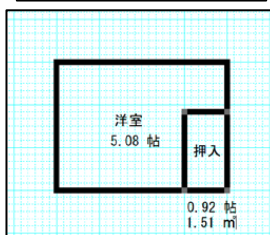
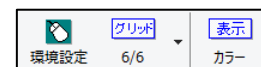
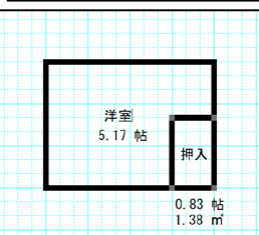
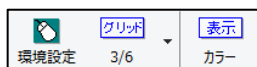
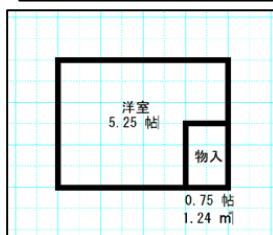
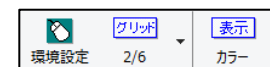
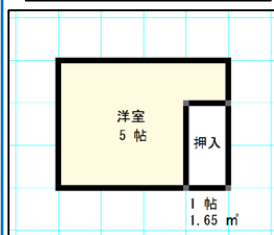
910 mm

カーソル移動単位

半間の1/6(5.0寸)

描画エリア

50m×50m



【表示例】

環境設定:モジュール 910mm

カーソル移動 1/4

グリッド表示(3)

1/4、2/4、4/4



環境設定

モジュール

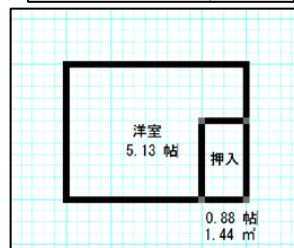
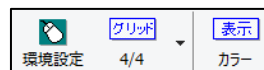
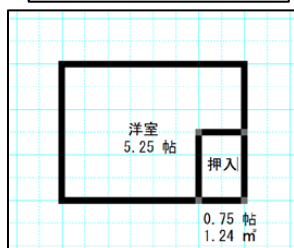
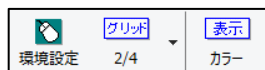
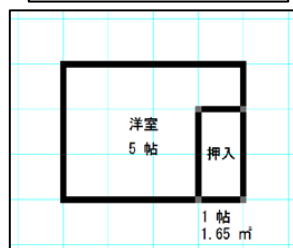
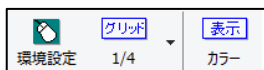
910 mm

カーソル移動単位

半間の1/4(7.5寸)

描画エリア

50m×50m





1階平面プラン入力 部屋入力は「間仕切」

4 ページの平面図を参考にして1階プランを入力していきましょう。



1 「補助線」は平面図の画面に補助線を入力できます。補助線の表示・非表示の切替が可能です。

2 「帖数指定」入力は、部屋名と帖数を決めて部屋・壁を配置していきます。

3 「部屋作成」は、部屋の範囲を対角で囲って部屋名を決めて入力していきます。

4 「壁入力」は、壁を入力して併合した時点で部屋名を決めて部屋プランを確定していきます。

◆その他、階段・ロフト・外部床・手摺・装飾パネルなど独立した入力アイコンがあります。

1 補助線 OFF

2 帖数指定

3 部屋作成

4 直線壁

連続線壁

特殊壁

円弧壁

柱

階段

ロフト

外部床

手摺

装飾パネル

内外S

「帖数指定」は、部屋と帖数を決めて箱を置いていく入力方法です。

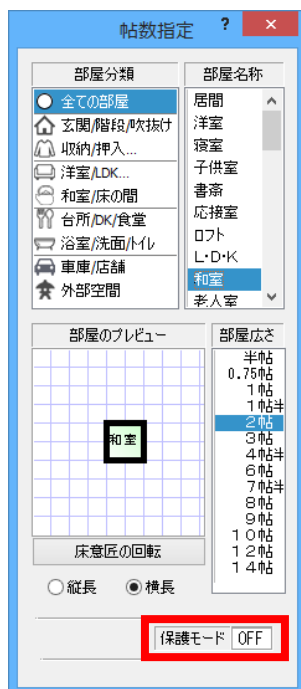
「部屋作成」は、対角で部屋範囲を確定してから部屋名を選択します。

4 ページを参考にして1階プランを入力していきましょう。

入力したプランの、敷地建物面積、部屋面積、収納面積の確認ができます。



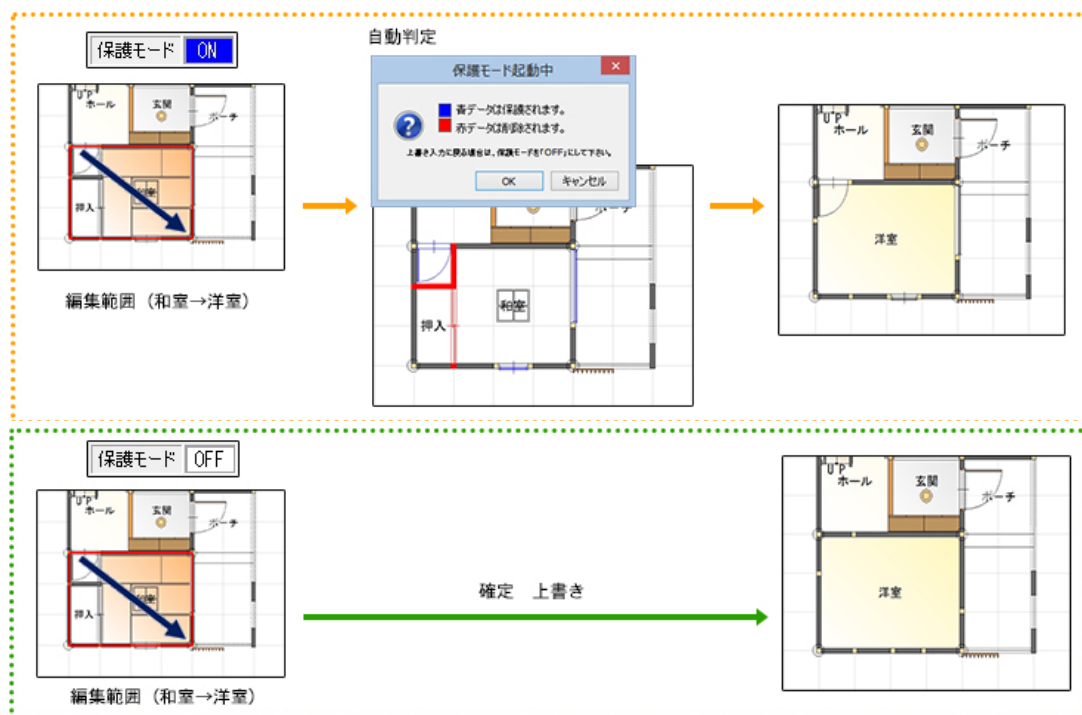
部屋入力（保護モード）



保護モードONの時は、入力済みの建具・壁データを保護または削除の自動判定を行います。

保護モードOFFの時は、建具・壁データが上書き入力されます。

ON/OFF切替えながらプラン編集が可能です。





部屋入力（柱自動）

部屋入力 ?

部屋分類

- 全ての部屋
- 玄関/階段/吹抜け
- 収納/押入
- 洋室/LDK
- 和室/床の間
- 台所/OK/食堂
- 浴室/洗面/トイレ
- 車庫/店舗
- 食 外部空間

部屋名称

和室

部屋属性

天井 2,500 mm FL± 0 mm

帖数 15.56 帖 m²数 25.76 m²

☐ 部屋属性表示 (-) 設定

横 4,246.67 mm 縦 6,066.67 mm

(カラー) (タスク) (図面)

平面表示

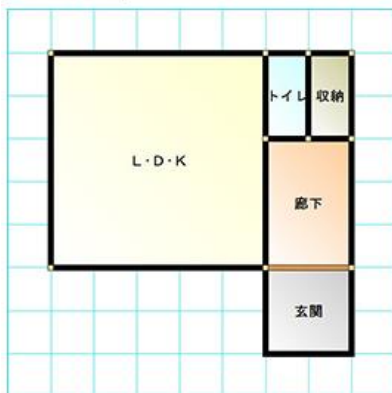
☒ 柱自動 ON 保護モード OFF

詳細設定

部屋マスタ キャンセル OK

柱自動をONにすることで、部屋と柱が同時入力されます。

柱自動 ON



柱自動 OFF



柱自動は、部屋マスタで柱の有・無を設定することで、常に柱を自動配置することが可能になります。

部屋マスタ

地 階	1 階	2 階	3 階	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階
No.	用途	部屋名称	柱	壁	長押	床高(FL±)	巾木・H	床仕上げ	平均広さ
		日本語名	英語名	部屋名表示	内法高	天井高	通縁・H	タスク	カラー
1	玄関	玄関	Entrance	柱無 大壁 名称表示有り	1,800 mm	2,650 mm	215 mm	35 mm	3 m²
2	廊下	廊下	Hall	柱無 大壁 名称表示有り	1,800 mm	2,500 mm	65 mm	35 mm	5 m²
3	階段	階段	Staircase	柱無 大壁 名称表示有り	1,800 mm	2,500 mm	65 mm	35 mm	3 m²
4	廊下	ホール	Hall	柱無 大壁 名称表示有り	1,800 mm	2,500 mm	65 mm	35 mm	3 m²
5	吹抜け	吹抜け	Void	柱無 大壁 名称表示有り	1,800 mm	2,500 mm	0 mm	35 mm	4 m²
6	トイレ	トイレ	W.C	柱無 大壁 名称表示有り	1,800 mm	2,400 mm	65 mm	35 mm	2 m²
7	洗面	洗面	Sanitary	柱無 大壁 名称表示有り	1,800 mm	2,400 mm	65 mm	35 mm	3 m²
8	浴室	浴室	Bathroom	柱無 大壁 名称表示有り	1,800 mm	2,400 mm	0 mm	35 mm	3 m²
9	家事室	ユーティリティ	Utility	柱無 大壁 名称表示有り	1,800 mm	2,400 mm	65 mm	35 mm	4 m²
10	台所	台所	Kitchen	柱無 大壁 名称表示有り	1,800 mm	2,500 mm	65 mm	35 mm	9 m²

階間コピー 外部設定

部屋名称 日本語名 初期化

平面表示 グラデーション

カスタム表示設定 パターン編集

ヘルプ マス設定

キャンセル OK

※カスタム表示設定「パターン編集」は、アップグレード機能「3Dプレゼン拡張機能」をご契約のお客様のみご利用可能です。

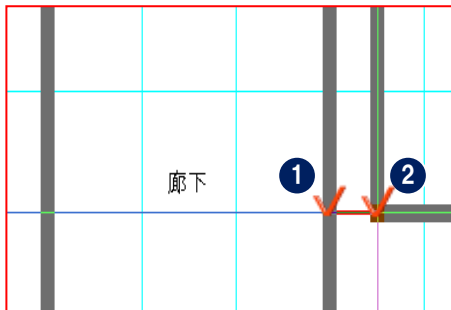
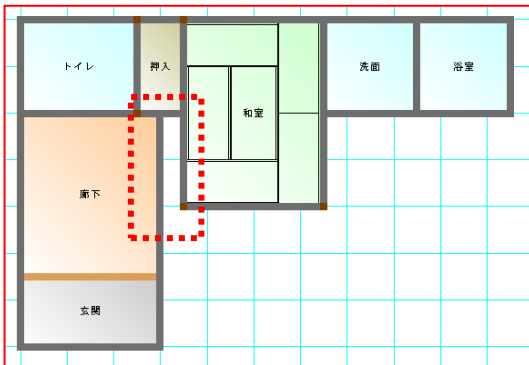


1 階平面プラン入力(直線壁入力・階段入力)

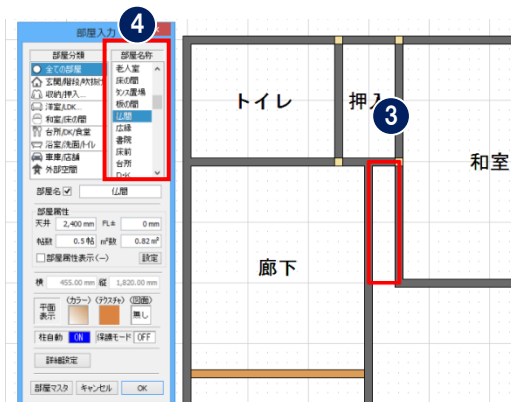
直線壁

階段

◆和室と廊下の間に床の間を入力する場合に「直線壁」を利用しましょう。

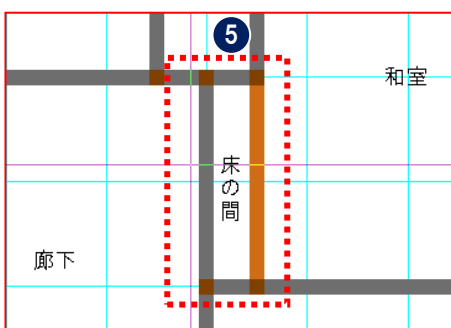


①～②線を引く様に直線壁を入力



③直線壁で部屋範囲が併合

④併合された範囲に部屋名「床の間」を選択して「OK」



⑤部屋確定。

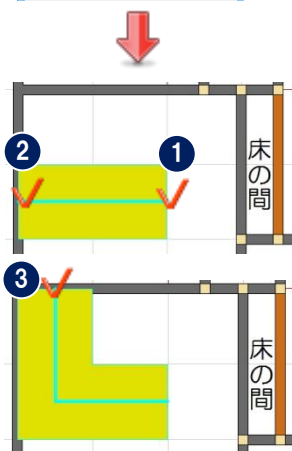


階段の入力(標準階段・デザイン階段)

階段の入力は「標準階段」と「デザイン階段」の2通りあります。

標準階段の入力

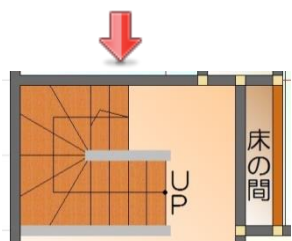
階段アイコンを選択
階段ダイアログを表示
「任意入力」「内部階段」
階段寸法を確認



① ~ ④ をクリック
して、1 階始点から
2 階上り口までの範囲を
指定します。



④ の終点でマウス
右ボタンを押して、
「OK」で確定。



デザイン階段の入力

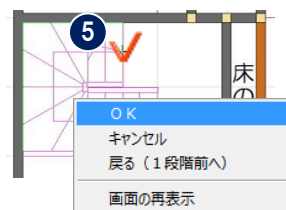
デザイン階段アイコンを選択
階段ダイアログを表示して、
階段寸法を確認



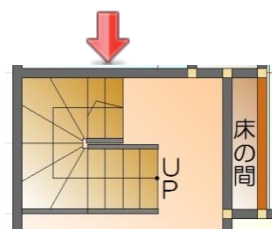
① をクリック。
マウスを回転させて、
階段の登り口を指定
します。



② ~ ⑤ をクリック
して、1 階始点から
2 階上り口までの範囲を
指定します。

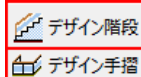


⑤ の終点でマウス
右ボタンを押して、
「OK」で確定。

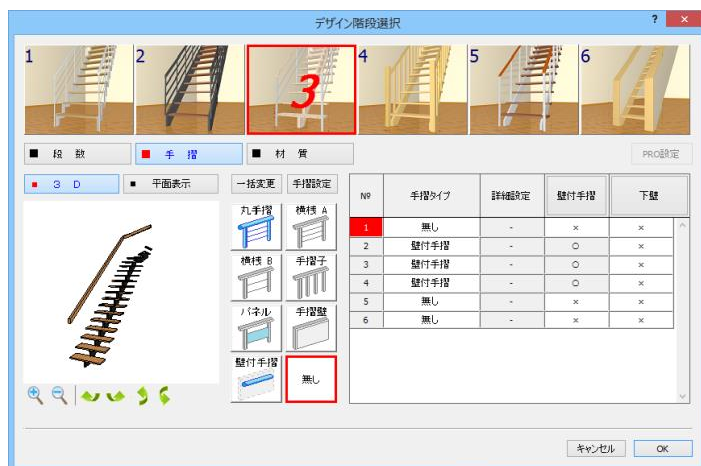




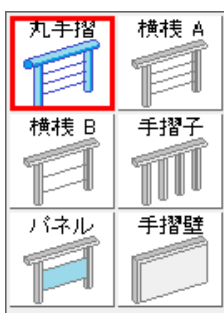
デザイン階段・デザイン手摺



6種類の階段形状と7種類の手摺を組み合わせ、多彩な間取プランに対応した階段を入力することができます。



デザイン手摺は、6種類の手摺を選んで入力が可能です。
デザイン階段との組合せや、屋上手摺としての利用も可能です。



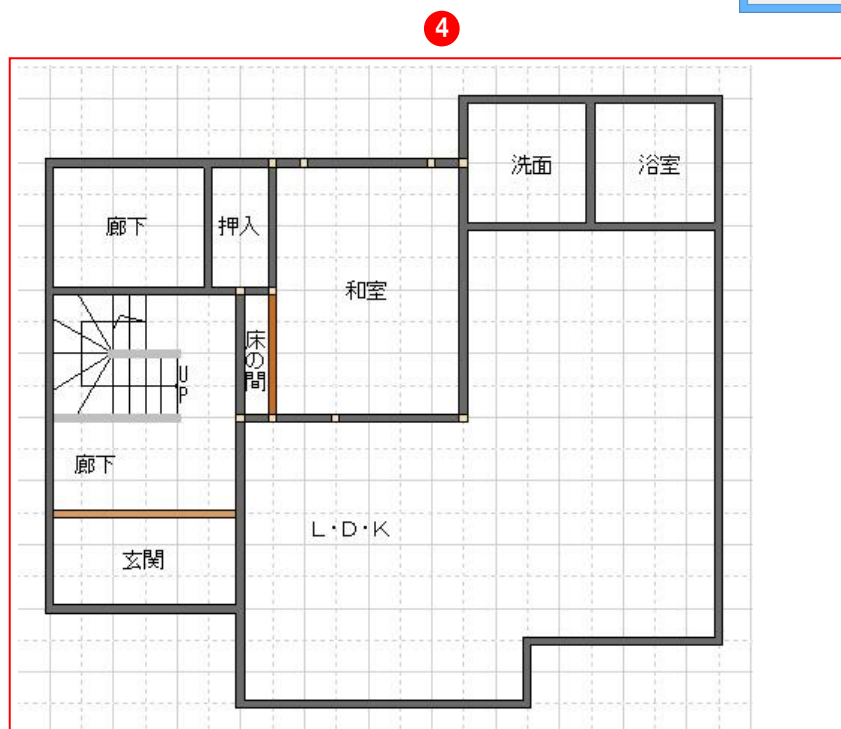
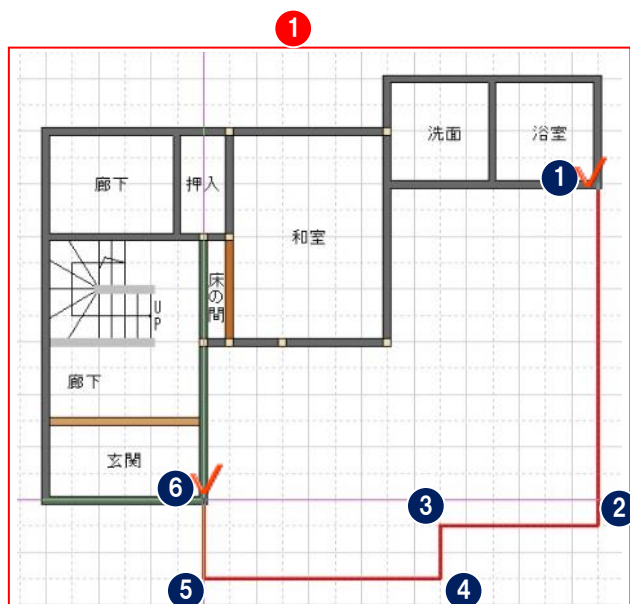


1 階平面プラン入力(連続線壁入力)

連続線壁

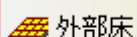
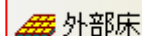
「連続線壁」を使って LDK の範囲を囲っていきます。

- ① LDK 範囲の①～⑥を囲っていきます。⑥の点でマウス右②「OK 確定」③ LDK 部屋名を選択「OK 確定」
- ④ LDK 部屋が入り 1 階の部屋間取りが完成します。





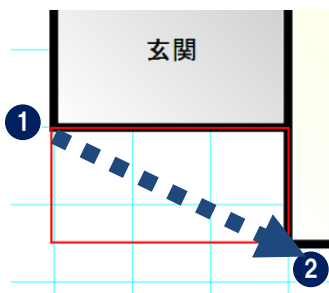
1 階平面プラン入力(外部ポーチ入力)



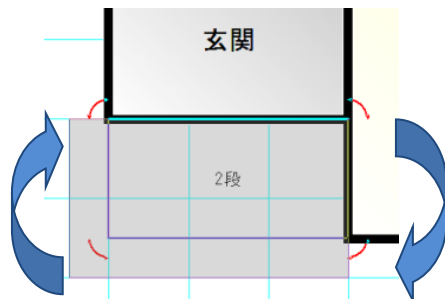
外部ポーチ: 段差があるポーチを入力します。

- ① ポーチの高さを設定します
- ② ポーチの段数を設定します
- ③ 段差の位置を1方・3方・L型・両端から選択します。
- ④ 段数ごとに高さ(H)、出幅(W)を設定します。

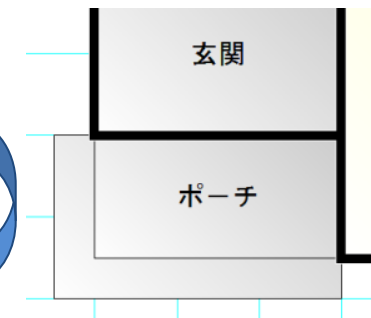
上段範囲を選択します。



段差方向を回転させて決定します



確定

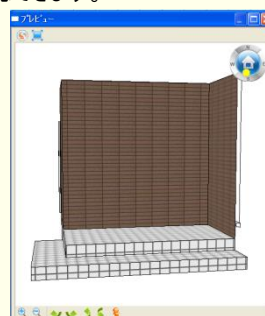


内側のポーチ床圧 380mm の設定は、外部巾木高さ 380mm と同じ値にしています。



入力したポーチは、3D プレビューで確認できます。

階名称	バツ表示	GL階	初間	SL = FL	初高
1階	×	×	3,000 mm	50 mm	500 mm
2階	表示	○	2,900 mm	50 mm	3,400 mm
3階	表示	×	2,800 mm	50 mm	6,200 mm
4階	×	×	3,000 mm	50 mm	9,200 mm
5階	×	×	3,000 mm	50 mm	12,200 mm
6階	×	×	3,000 mm	50 mm	15,200 mm
7階	×	×	3,000 mm	50 mm	18,200 mm
8階	×	×	3,000 mm	50 mm	21,200 mm
9階	×	×	3,000 mm	50 mm	24,200 mm
10階	×	×	3,000 mm	50 mm	27,200 mm



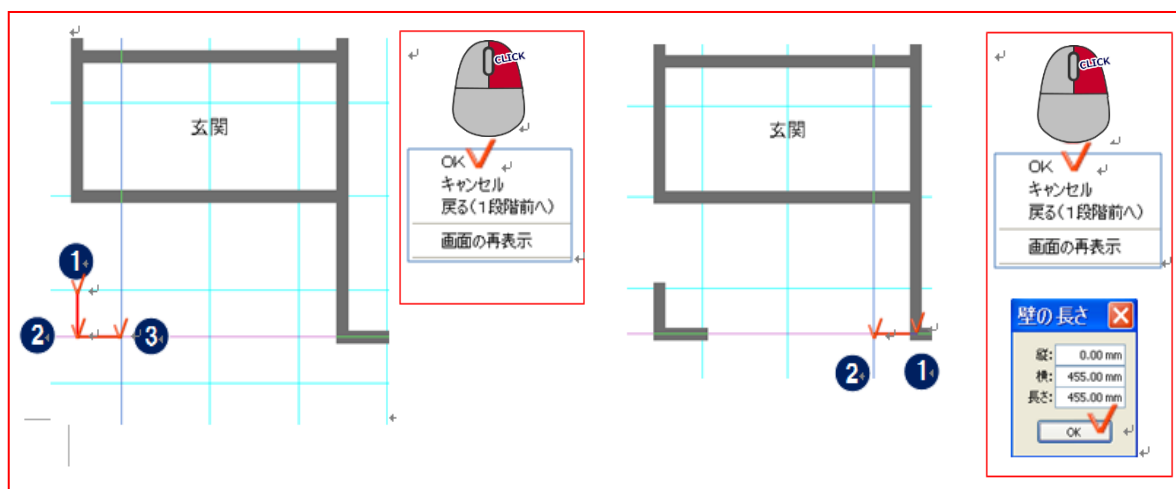
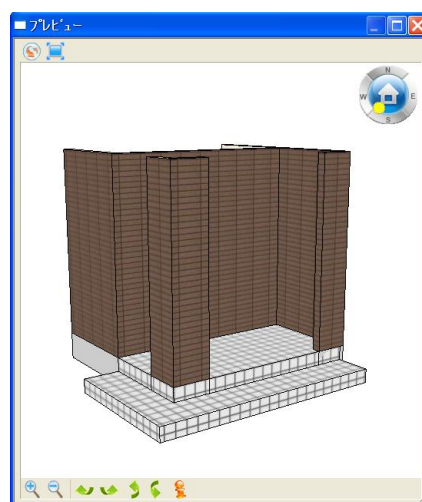
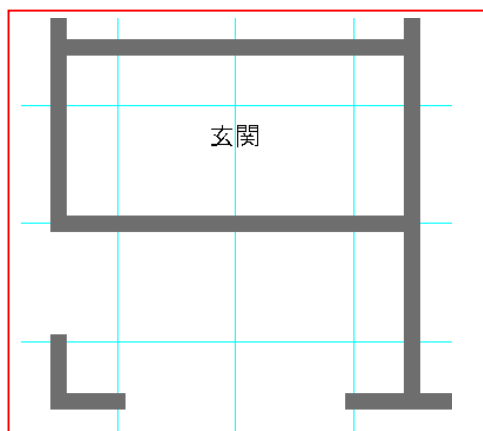


1 階平面プラン入力(外部袖壁入力)

連続線壁

「連続線壁」を使って玄関前の外部袖壁を入力しましょう。

・外部袖壁の範囲を入力して確定で入力出来ます。





1 階平面プラン入力(外部建具入力)



外部建具の入力手順

- ・①建具種別選択 ②外部建具入力の手順で入力していきます。
- ・建具変更は、③「選択変更」を押し、④建具絵柄を選択して「OK/確定」後に再度入力を開始します。

① 外部建具入力

② 外建具入力

③ 選択変更

④ 外建具選択

外建具入力

名称: 玄関ドア(親子)
型式: 指定無し
入力モード:
☐ モジュール
☒ 実寸
建具巾: 1200 mm
建具高: 2330 mm
取付高: 2330 mm
3D表示:
☐ 建具写真
☐ アーキマス図
☐ AM建具
AM戸袋位置: 左側 右側 両側

外建具選択

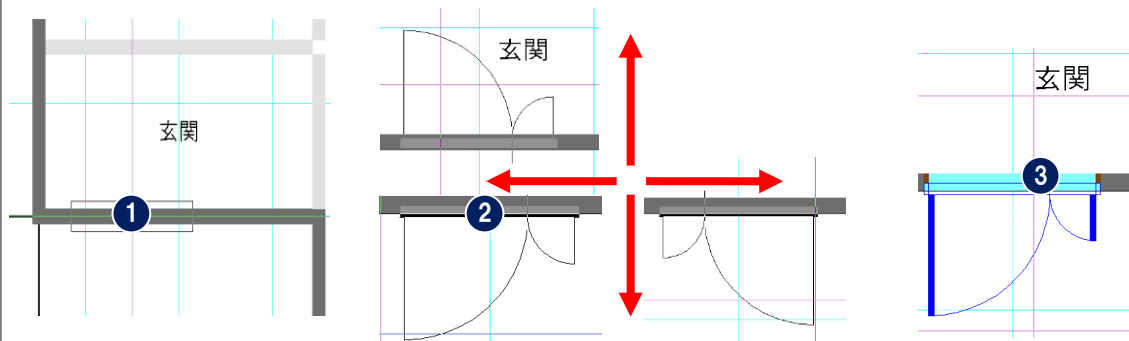
分類: 玄関ドア
名称: 玄関ドア(親子)
型式: 指定無し
柱芯巾: 1365 mm
建具高: 2320 mm
取付高: 2320 mm
入力モード:
☒ モジュール
☐ 実寸
3D表示:
☐ 建具写真
☐ AM建具

ヘルプ 画像の初期化 キャンセル OK

外建具

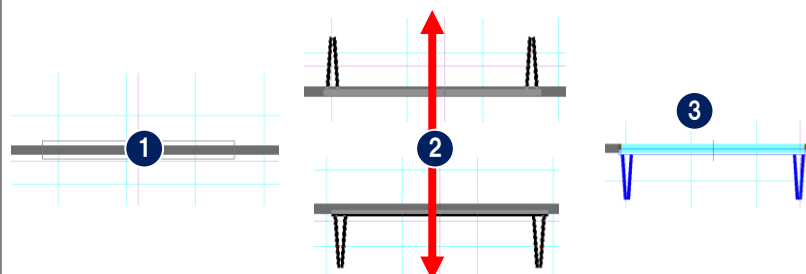
ドア入力

- ① 入力する壁位置を指定②マウス(上下)開き方向、マウス(左右)吊り元を確定して
- ② マウスクリックで入力確定。

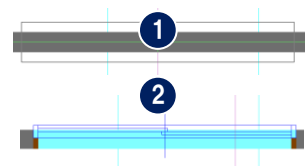


開戸入力

- ① 入力する壁位置を指定②マウス(上下)方向を確定して③マウスクリックで入力確定。



- 引き違いサッシの場合は、
- ① 入力壁位置を指定。
 - ② マウスクリック入力確定





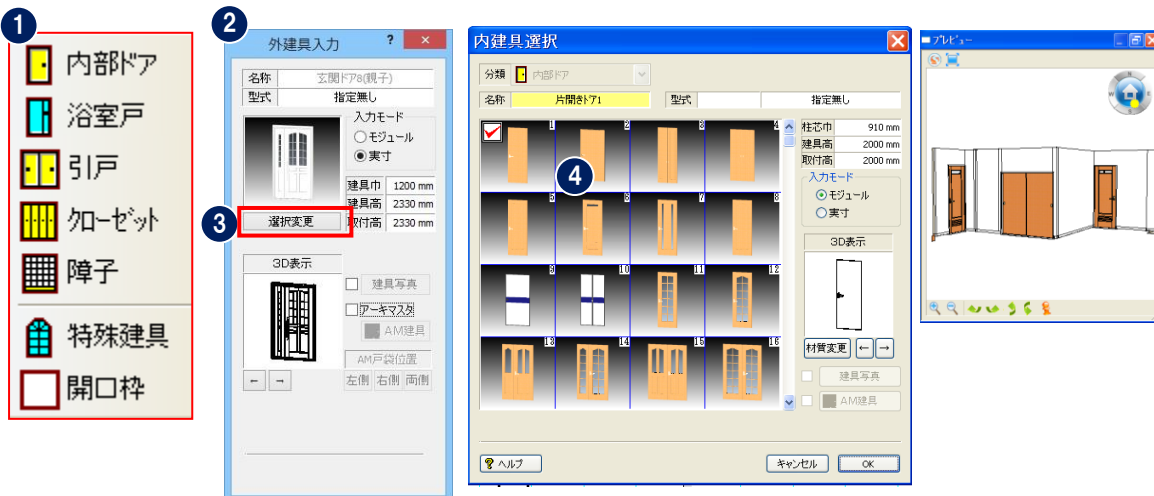
1 階平面プラン入力(内部建具入力)



外部建具の入力手順

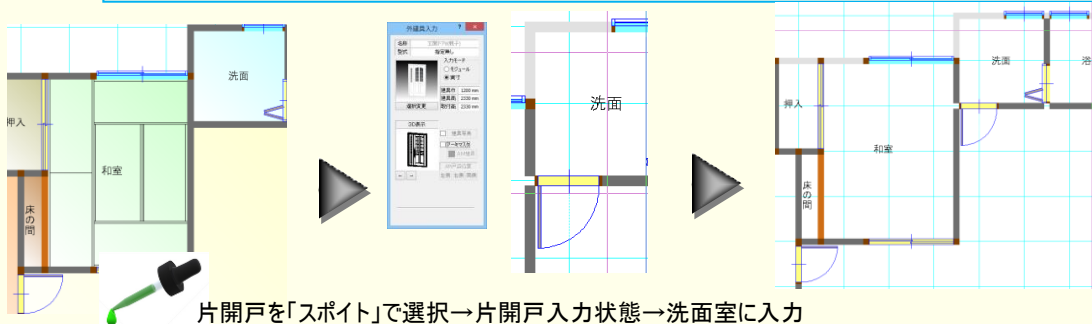
・①建具種別選択 ②外部建具入力の手順で入力していきます。

建具変更は、③「選択変更」を押し、④建具絵柄を選択して「OK/確定」後に再度入力を開始します。



内部建具の入力方法は、外部建具同様です。ここでは、「スポイト機能」を説明します。

例えば、建具入力以外の作業を行っていた時に、再度建具を入力する際に、入力済の建具を「スポイト機能」で選択すると選択した建具の入力出来る機能です。



「変更」機能もよく利用する機能です。入力済の建具を変更する時は、「変更」機能を利用しましょう。

掃出サッシを「変更」機能で選択→建具変更の建具巾・高さを変更して窓に変える。



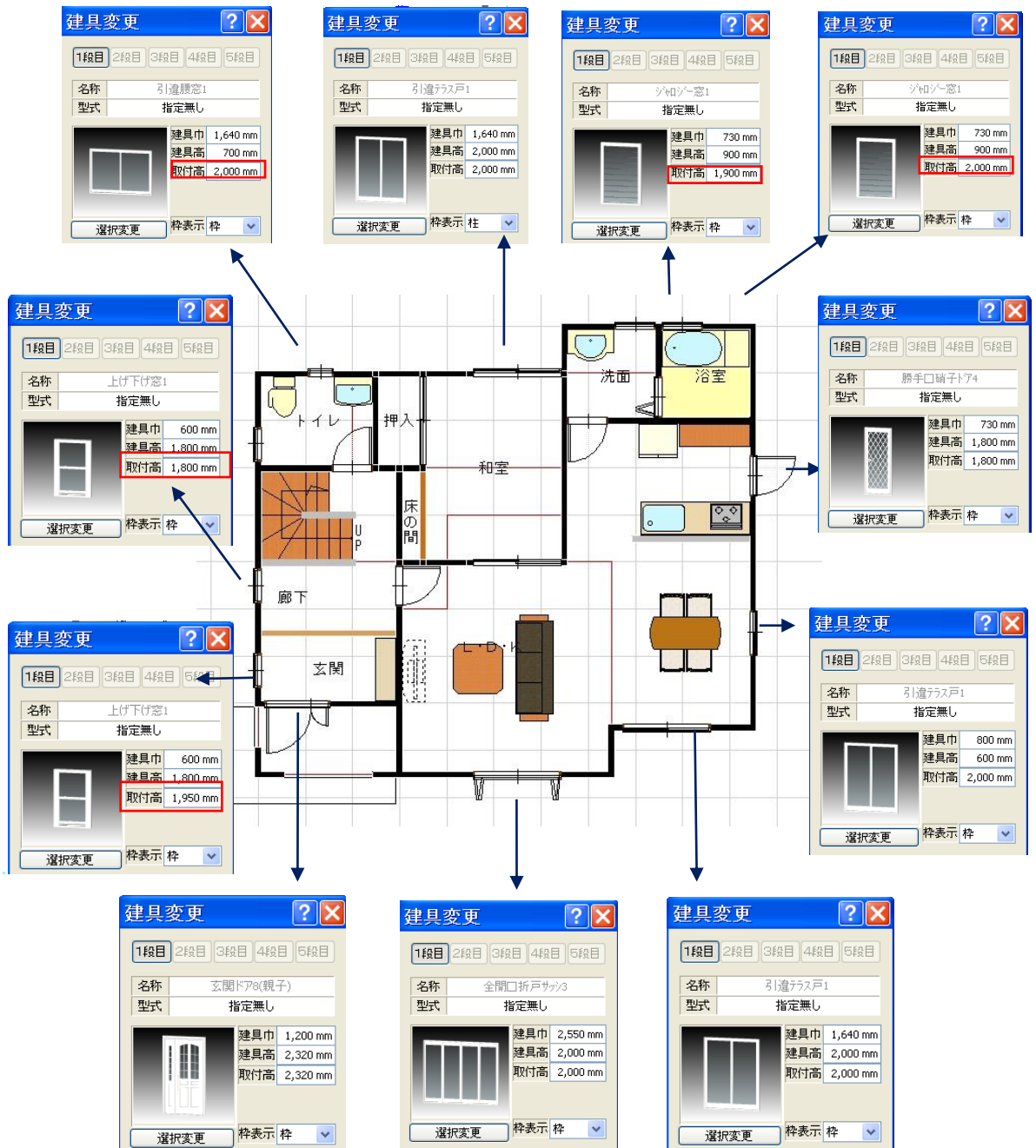


1 階平面プラン入力(外部建具入力)



平面図を参考にして外部建具を入力しましょう。

◆建具巾・建具高・取付高を参考にして入力を行いましょう。



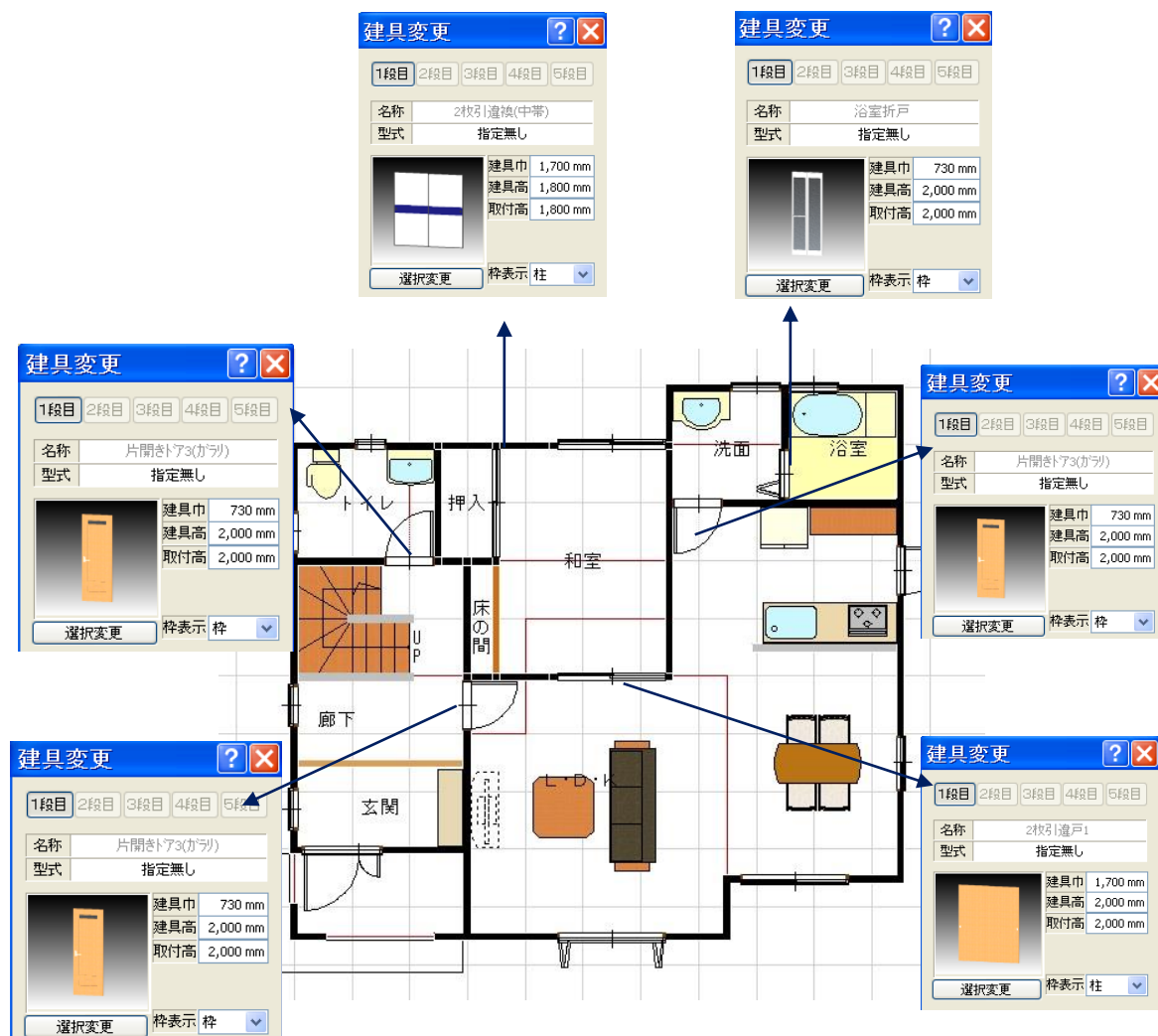


1 階平面プラン入力(内部建具入力)

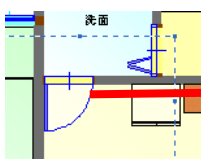
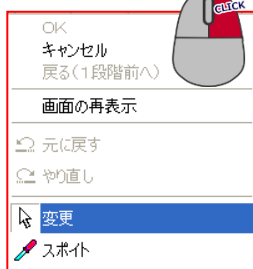


平面図を参考にして内部建具を入力しましょう。

◆建具巾・建具高・取付高を参考にして入力を行いましょう。



入力済の建具を後から変更する場合は、「変更」機能が便利です。画面右「編集ツールバー」もしくは、マウス右ボタン「ポップアップメニュー」から「変更」を選び、入力済「建具」を選択すると「建具変更」が可能です。





平面プラン入力(標準建具と3D カタログ)

3Dカタログ(別売)をご契約のお客様は、標準建具以外の建具を追加登録してご利用頂けます。
内外壁の質感や衛生設備も同様です。内外観パースでの品質が向上します。

外建具入力

入力モード ☐ モジュール ☒ 実寸

名称 玄関ドア(親子)

型式 指定無し

建具巾 1,240 mm
建具高 2,222 mm
取付高 2,200 mm
取付基準
建具上端 部屋床

選択変更

建具枠 三方枠

☐ 建具写真
☒ AM/3DC
AM/3DC戸袋位置
左側 右側 両側

柱自動 OFF

※真壁部屋「柱/柵居/敷居」自動配置

内建具入力

入力モード ☐ モジュール ☒ 実寸

名称 片開きドア(障子)

型式 指定無し

建具巾 640 mm
建具高 2,030 mm
取付高 2,000 mm
取付基準
建具上端 部屋床

選択変更

建具枠 三方枠

☐ 建具写真
☒ AM/3DC
AM/3DC戸袋位置
左側 右側 両側

柱自動 OFF

材質変更

※真壁部屋「柱/柵居/敷居」自動配置



標準建具/外壁標準材質

2

3Dカタログ

3

メーカー

4

1 玄関ドア
O.W1240.H2330

2 玄関ドア
B.W1240.H2330

3 玄関ドア
A.W1240.H2330

4 玄関ドア
タン.W1240.H222

5 玄関ドア
タン.W1240.H222

6 玄関ドア
タン.W1240.H222

7 玄関ドア
タン.W1240.H222

8 玄関ドア
タン.W1240.H222

9 玄関ドア
タン.W1240.H222

10 玄関ドア
タン.W1240.H222

11 玄関ドア
タン.W1240.H222



3D カタログオプション 建具/外壁メーカー



3D カタログの建具入力方法は、標準建具選択時に①の AM/3DC 建具にチェックを入れると
②の 3D カタログ建具の選択ウィンドウが開きます。③のメーカー検索後、④で建具を選びます。
平面プランでの建具入力方法は、標準建具と同様となります。

3D カタログについては、福井コンピュータシステム(株)にお問い合わせ下さい。



建具の位置指定

AM/3DC

3D カタログ建具と標準建具の「建具位置指定」方法は、4 タイプあります
それぞれの位置指定の入力方法を参考にしてください。

指定なし 直前の入力位置

建具位置指定(実寸入力)

建具の位置を指定してください

☒ 指定なし(直前の入力位置)

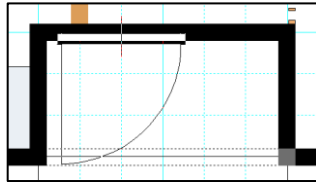
☐ 間仕切り中央

☐ 間仕切り端点

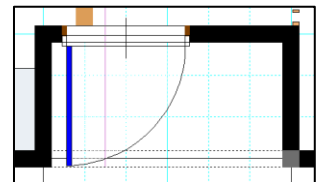
☐ 位置指定: 間仕切り端点から

キャンセル OK

直前の入力位置



確定



間仕切り中央

建具位置指定(実寸入力)

建具の位置を指定してください

☐ 指定なし(直前の入力位置)

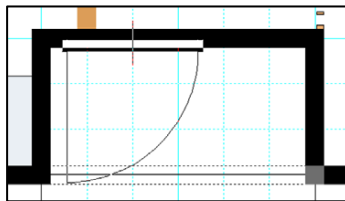
☒ 間仕切り中央

☐ 間仕切り端点

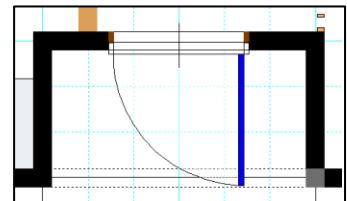
☐ 位置指定: 間仕切り端点から

キャンセル OK

直前の入力位置



壁の中央に配置 確定



間仕切り端点

建具位置指定(実寸入力)

建具の位置を指定してください

☐ 指定なし(直前の入力位置)

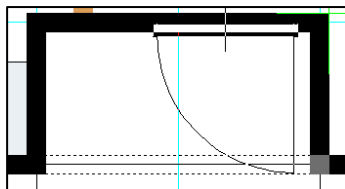
☐ 間仕切り中央

☒ 間仕切り端点

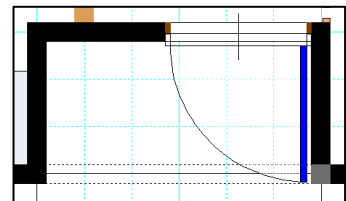
☐ 位置指定: 間仕切り端点から

キャンセル OK

直前の入力位置



壁の右端を基準に配置 確定



位置指定 間仕切り端点から数値指定

建具位置指定(実寸入力)

建具の位置を指定してください

☐ 指定なし(直前の入力位置)

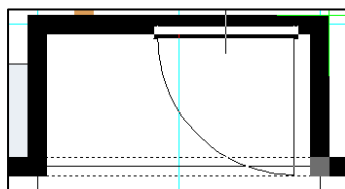
☐ 間仕切り中央

☐ 間仕切り端点

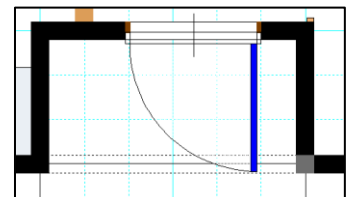
☒ 位置指定: 間仕切り端点から

キャンセル OK

直前の入力位置



壁の右側から 300mm に配置 確定





3D カタログ建具の移動

AM/3DC



3D カタログの建具を移動する時に「始点/終点及び内外位置」の表示がされます。

4 タイプの移動方法例を参考にしてください。

※標準建具は、従来通りの移動方法になります。

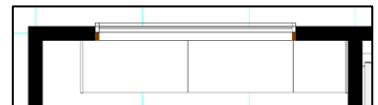
移動マウス指定

AM建具位置指定

☒ マウス指定
☐ 始点逃げ 965.0 mm
☐ 終点逃げ 55.0 mm
☐ 間仕切中央

キャンセル OK

マウスで指定した位置



確定

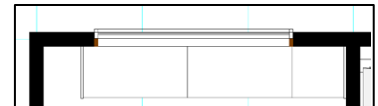
始点逃げ 数値指定

AM建具位置指定

☐ マウス指定
☒ 始点逃げ 500
☐ 終点逃げ 520.0 mm
☐ 間仕切中央

キャンセル OK

始点側 壁芯から 500mm 逃げ設定



確定

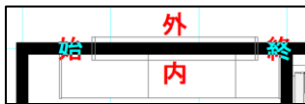
終点逃げ 数値指定

AM建具位置指定

☐ マウス指定
☐ 始点逃げ 500.0 mm
☒ 終点逃げ 300
☐ 間仕切中央

キャンセル OK

終点側 壁芯から 500mm 逃げ設定



確定

間仕切り中央

AM建具位置指定

☐ マウス指定
☐ 始点逃げ 510.0 mm
☐ 終点逃げ 510.0 mm
☒ 間仕切中央

キャンセル OK

壁の中央に配置指定



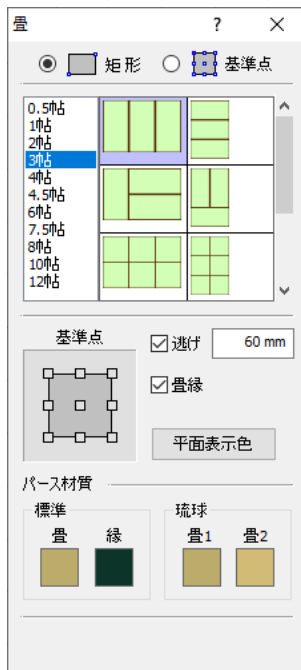
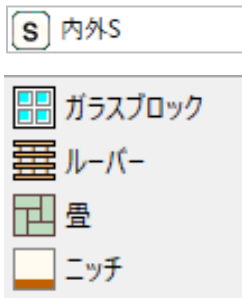
確定





平面プラン入力（畳・ニッチ）

- ・「間仕切」アイコンを押し、「内外S」を選択。
- ・「内外S」から「ガラスブロック」「ルーバー」「畳」「ニッチ」の入力が可能です。

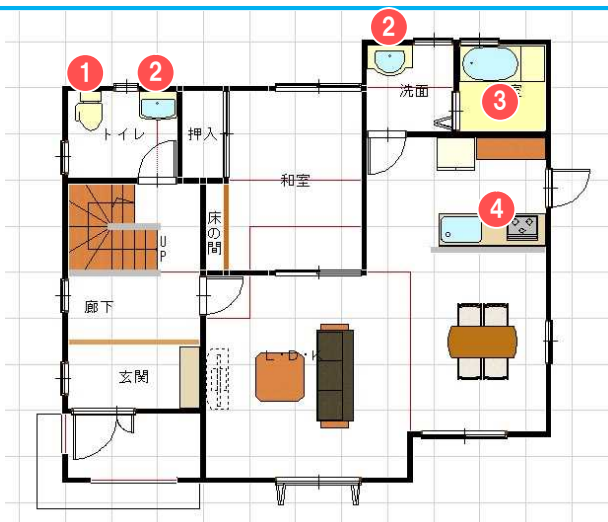




1 階平面プラン入力（住宅設備入力）

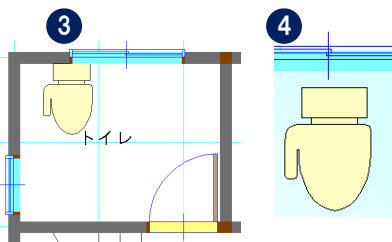


ザ・プランナーの住宅設備（トイレ・洗面台・浴槽・キッチン）や家具は、「器具」アイコンから入力を始めます。

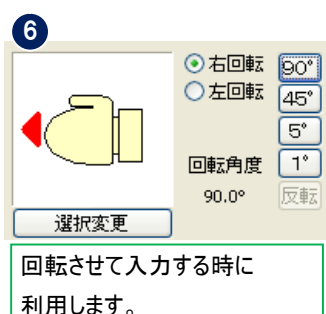


1

トイレを選択して、② 壁面に自動密着にチェックを入れて配置すると③の様に壁面に配置されます。②のチェックを外すと④の任意配置が可能です。



⑤選択変更で他トイレが選択可能です。



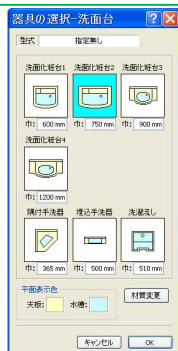
回転させて入力する時に利用します。



2

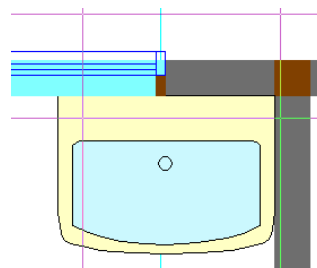
洗面台もトイレ同様の入力方法となります。

② 平面表示での「天板」と「水槽」の色変更が可能です。



1

洗面台の巾寸法を変更して入力が可能です。





1 階平面プラン入力（住宅設備入力）



標準の浴槽入力は、「浴槽」「ユニット」の2パターンあります。

「浴槽」①② ワンクリック入力

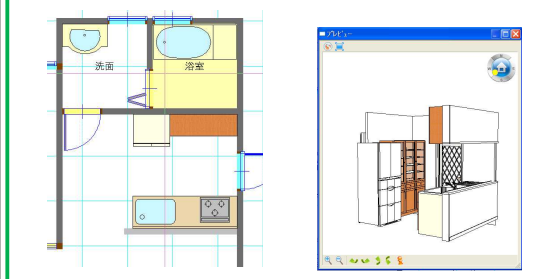
標準の浴槽入力は、「浴槽」「ユニット」の2パターンあります。

① 選択変更 ② 「横」選択 ③④ 対角入力確定。

「ユニット」

- ① 選択変更
- ② 「横」選択
- ③④ 対角入力確定

垂壁・腰壁を入力して厨房を配置しましょう。

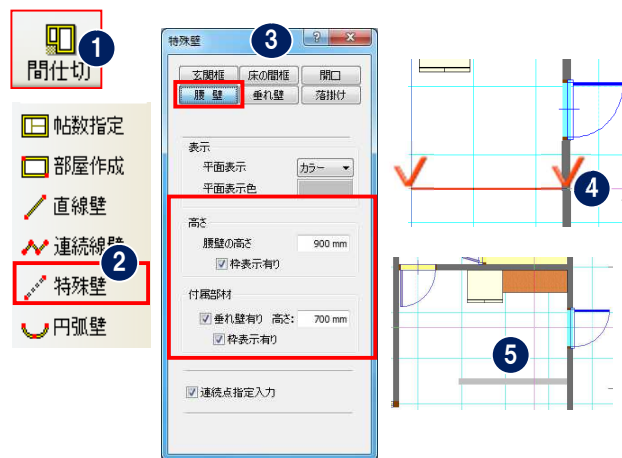


【厨房/流し台・セット入力】固定寸法の厨房配置

- ①セット入力選択②回転方向を決めて③④1点入力確定。
⑤選択変更を押すと登録された厨房が選択出来ます。

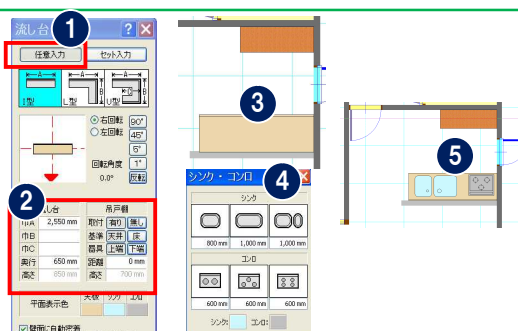


【垂壁/腰壁】①間仕切りアイコンから②特殊壁を選択。
③腰壁 1,100mm/垂れ壁 700mm 入力④2点入力確定。



【厨房/流し台・任意入力】任意寸法の厨房配置

- ①②流し台寸法決める③配置
④コンロ・シンク配置 ⑤入力確定。





住宅設備（標準設備部品と3Dカタログ）

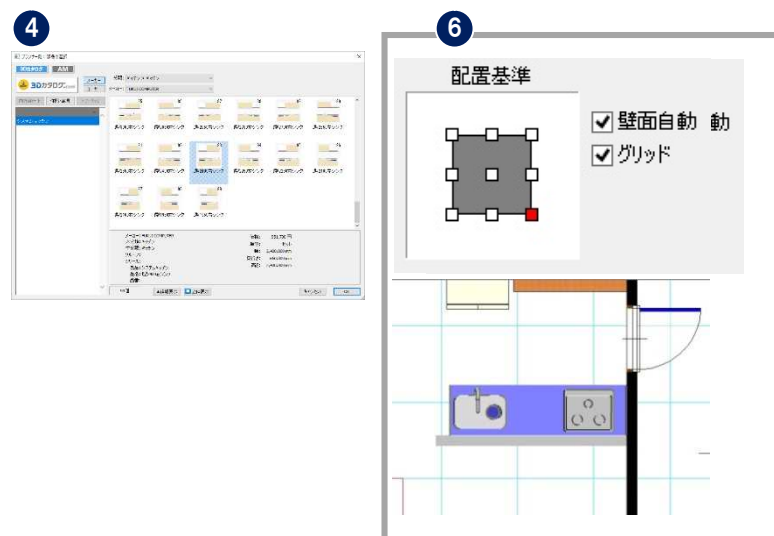
ザ・プランナーの標準設備部品と3D カタログ（別売）は、
パース作成時の表現が異なります。
簡易パースは、標準部品を配置。リアルなパース作成には、
3D カタログの部品を利用する事が使い分けポイントと
なります。



標準設備部品/標準建具



3D カタログ 設備部品/建具



「器具」アイコン選択

- ・①「AM/3DC」を選択。
- ・②AM/3DC 部品入力カダイアログが開くと配置可能状態となります。
- ・③部品を変更する場合は「選択変更」をクリック。
- ・④部品分類一覧から入力部品を選択します。このケースでは、「厨房設備」→「システムキッチン」を選択。
- ・⑤9 つの配置基準点を指定。
- ・⑥平面図に 1 点入力で配置完了。

3D カタログについては、福井コンピュータシステム(株)までお問い合わせ下さい。



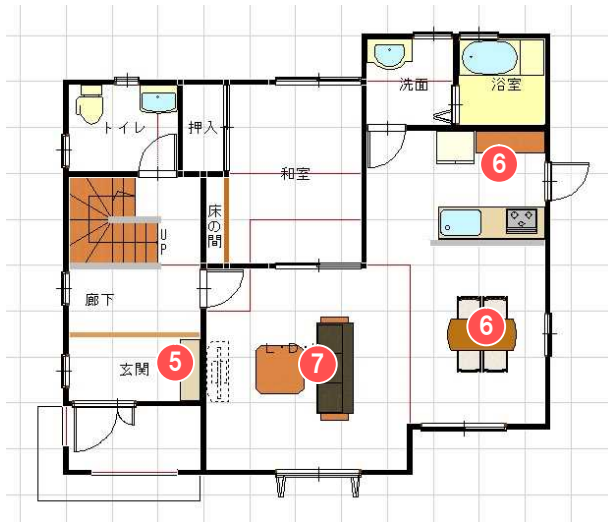
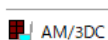
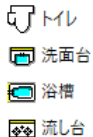
1 階平面プラン入力 (家具入力)



台所用



ザ・プランナーの家具部品は、「玄関収納」「台所用」「居間用」など部屋毎に登録された標準部品を選択して入力を始めます。

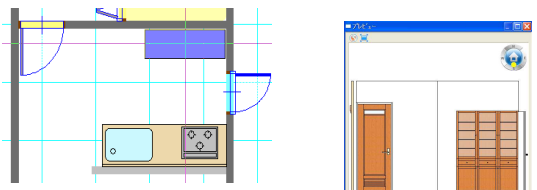


台所用 6

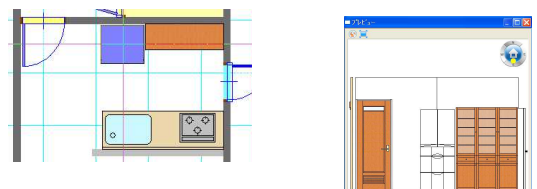
「台所用」アイコンを選択

- ・①部品入力状態になります。
- 部品を変更する場合は、
- ・②「選択変更」を押します。
- ・③「3D部品選択」から部品を選択して「OK」を押すと入力状態に戻ります。

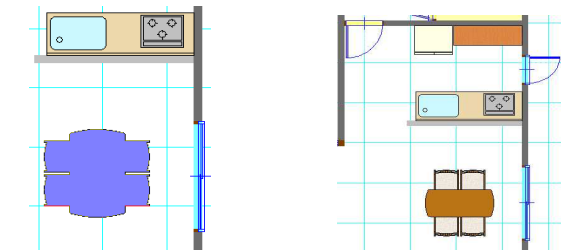
食器棚「部品 25 番,巾 1350,奥行 440,高さ 1850」入力



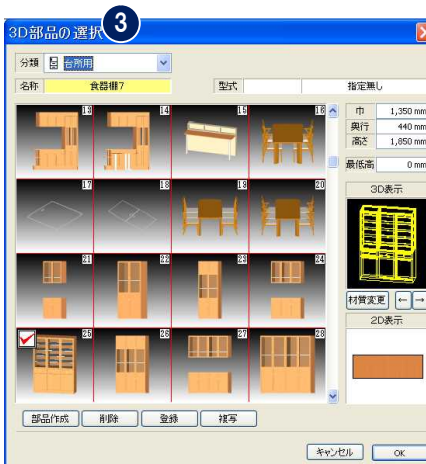
冷蔵庫「部品 11 番,巾 740,奥行 650,高さ 1800」入力



テーブル「部品 12 番,巾 1,500,奥行 1,360,高さ 830」入力



3D プレビューで立体確認しながら操作を行いましょう。





1 階平面プラン入力 (家具入力)



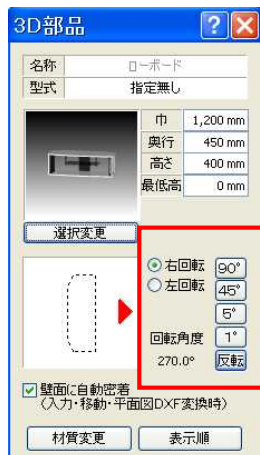
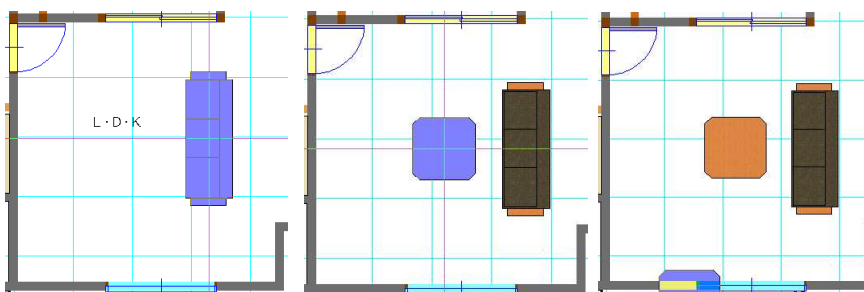
居間用

居間用

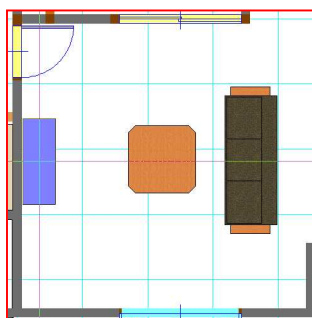
7

ソファ「応接セット 2 番,巾 2040,奥行 730,高さ 550」入力

テーブル「応接セット 4 番, 巾 950,奥行 950,高さ 380」入力

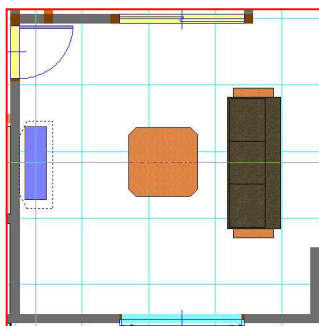
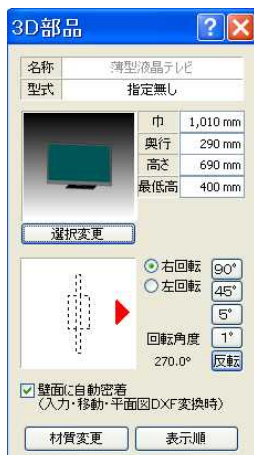


ローボード「部品 39 番,巾 1200,奥行 450,高さ 400」入力,右向き



薄型液晶テレビ「37 番,巾 1010,奥行 290,高さ 0」右向き入力

入力時にローボードとの重なりをチェックしてローボード高さ 400 を自動計測されて配置されます。





1 階平面プラン入力 (家具入力)



玄関収納

玄関収納

5

下駄箱「部品番,巾 1200,奥行 400,高さ 950」左向き入力

3D部品

名称 下駄箱(洋風)
型式 指定無し

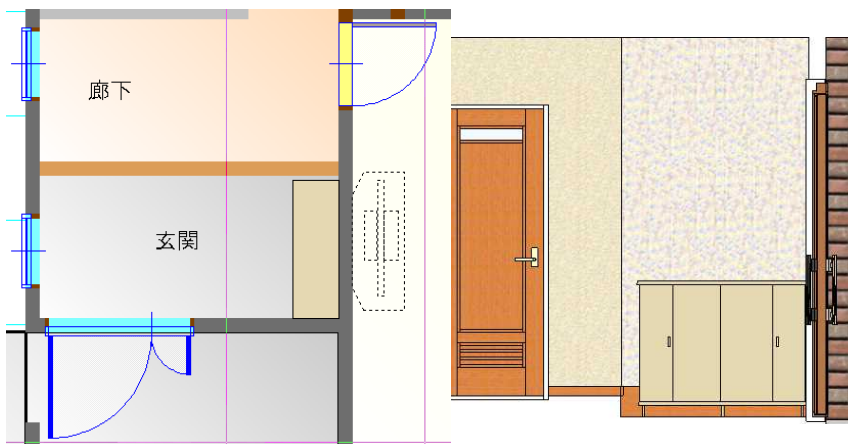
巾 1,200 mm
奥行 400 mm
高さ 950 mm
最低高 0 mm

選択変更

右回転 90°
左回転 45°
回転角度 1°
90.0° 反転

☒ 壁面に自動密着
(入力・移動・平面図DXF変換時)

材質変更 表示順



3D部品の選択

分類 玄関収納

名称 下駄箱(洋風) 型式 指定無し

巾 1,200 mm
奥行 400 mm
高さ 950 mm
最低高 0 mm

3D表示

材質変更

2D表示

部品作成 削除 登録 複写

キャンセル OK

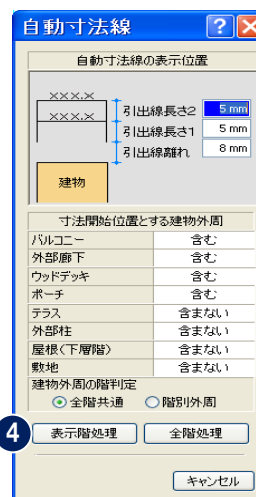
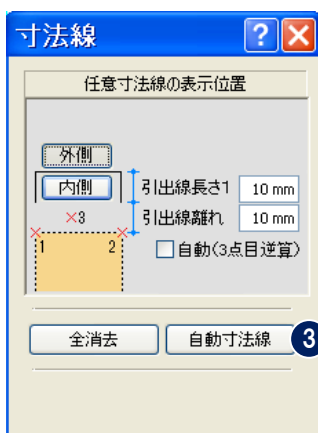
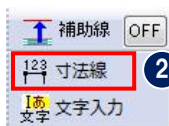


1 階平面プラン入力（自動部屋寸法入力）

1階平面図に自動寸法を入力します。



- ①「寸法他」アイコンを押し、②「寸法線」を選択。
- ③自動寸法線から④表示階処置を押すと⑤1階部屋寸法が自動発生します。





2 階平面プラン入力（階変更）

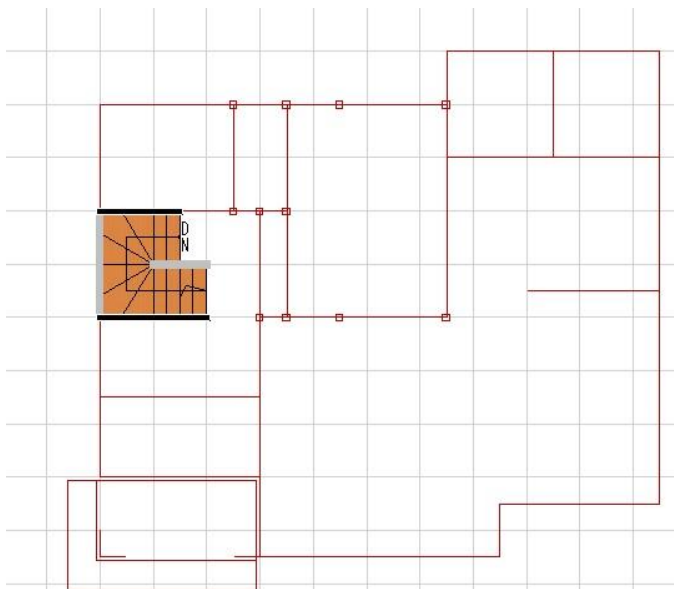
階

1 階

1階平面図から2階に階変更を行います。

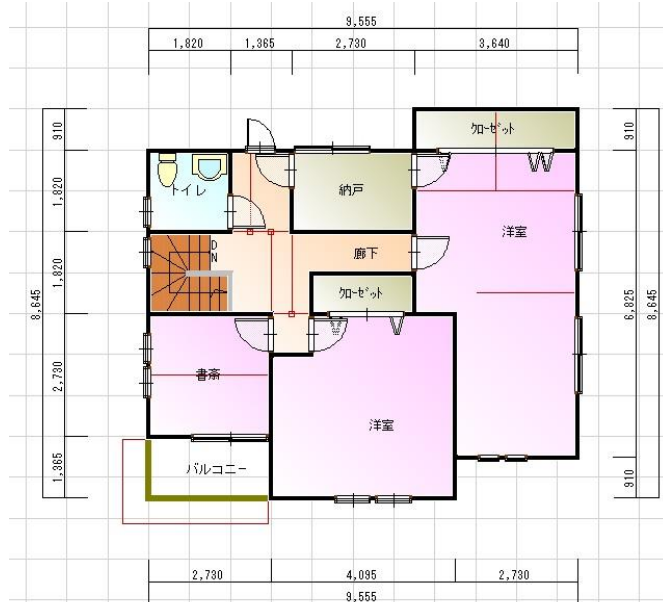
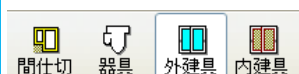


入力階を2階に変更すると1階間取りが下图として表示されます。



1階下图を参照して
2階プランを以下の入力手順で
入力しましょう。

- ◆間仕切
- ◆外部建具
- ◆内部建具
- ◆器具(設備部品)





2 階平面プラン入力（バルコニー入力）



外部床

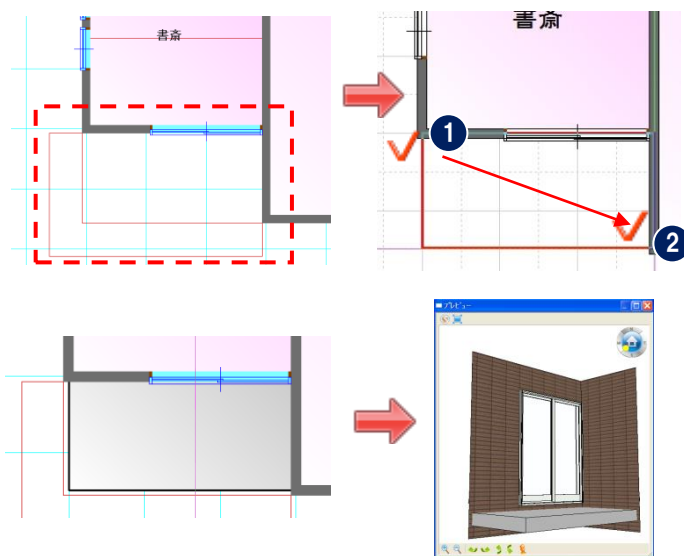
手摺

2 階 書斎のバルコニーを「外部床」と「手摺」を使って入力します。

「間仕切」アイコンから「外部床」を選び「バルコニー」を選択。

・①から②へ 2 点指定で入力します。

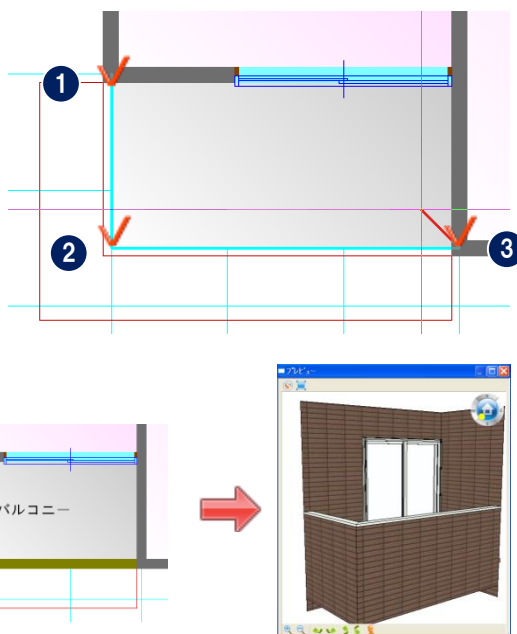
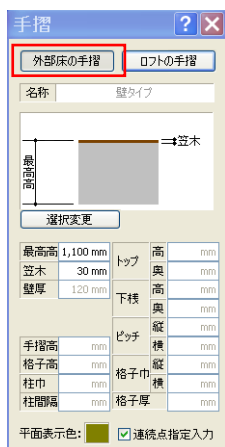
外部床



「間仕切」アイコンから「手摺」を選び「外部床の手摺」を選択。

・①②③の範囲を囲い、「ベランダ手摺」が入力します。3D プレビューで仕上がりイメージを確認しましょう。

手摺





2 階平面プラン入力（外部建具入力）



平面図を参考にして外部建具を入力しましょう。

◆建具巾・建具高・取付高を参考にして入力を行いましょう。

Diagram illustrating the process of inputting external building components (doors and windows) for a 2nd floor plan. The central floor plan shows various rooms: トイレ (Toilet), 納戸 (Closet), 廊下 (Hallway), 洋室 (Living Room), 書斎 (Study), and バルコニー (Balcony). Red boxes highlight specific areas where external components are being added or modified. Arrows point from these highlighted areas to corresponding '建具変更' (Building Component Change) dialog boxes.

建具変更 Dialogs:

- Top Left:** 1段目 (1st Item) selected. Name: 縦通り出し窓1 (Vertical Through Window 1). Type: 指定無し (Not Specified). Dimensions: 建具巾 600 mm, 建具高 836 mm, 取付高 1,800 mm.
- Top Right:** 1段目 (1st Item) selected. Name: 引違腰窓1 (Sliding Sash Window 1). Type: 指定無し (Not Specified). Dimensions: 建具巾 1,640 mm, 建具高 1,100 mm, 取付高 2,000 mm.
- Middle Left:** 1段目 (1st Item) selected. Name: 上げ下げ窓1 (Lift and Lower Window 1). Type: 指定無し (Not Specified). Dimensions: 建具巾 600 mm, 建具高 1,050 mm, 取付高 1,800 mm.
- Middle Right:** 1段目 (1st Item) selected. Name: 引違腰窓1 (Sliding Sash Window 1). Type: 指定無し (Not Specified). Dimensions: 建具巾 1,640 mm, 建具高 1,100 mm, 取付高 2,000 mm.
- Bottom Left:** 1段目 (1st Item) selected. Name: 引違テラス戸1 (Sliding Terrace Door 1). Type: 指定無し (Not Specified). Dimensions: 建具巾 1,640 mm, 建具高 2,000 mm, 取付高 2,000 mm.
- Bottom Center:** 2段目 (2nd Item) selected. Name: 横通り出し窓1 (Horizontal Through Window 1). Type: 指定無し (Not Specified). Dimensions: 建具巾 730 mm, 建具高 900 mm, 取付高 900 mm.
- Bottom Right:** 1段目 (1st Item) selected. Name: FIX窓1 (Fixed Window 1). Type: 指定無し (Not Specified). Dimensions: 建具巾 400 mm, 建具高 2,000 mm, 取付高 2,000 mm.



2 階平面プラン入力（内部建具入力）



平面図を参考にして内部建具を入力しましょう。

◆ 建具巾・建具高・取付高を参考にして入力を行いましょう。

The diagram illustrates the process of inputting internal fixtures for a 2nd floor plan. Four '建具変更' (Fixture Change) dialog boxes are shown, each corresponding to a specific area on the plan:

- Top Left Dialog:** Name: 片開きドア1 (Single Swing Door 1), Type: 指定無し (None). Dimensions: 建具巾 730 mm, 建具高 2,000 mm, 取付高 2,000 mm. It points to a door in the hallway.
- Top Right Dialog:** Name: 6枚折戸1(1.5間) (6-Panel Folding Door 1 (1.5 bays)), Type: 指定無し. Dimensions: 建具巾 2,550 mm, 建具高 2,300 mm, 取付高 2,300 mm. It points to a sliding door in the living room.
- Bottom Left Dialog:** Name: 片開きドア2(カラ) (Single Swing Door 2 (Color)), Type: 指定無し. Dimensions: 建具巾 730 mm, 建具高 2,000 mm, 取付高 2,000 mm. It points to another door in the hallway.
- Bottom Right Dialog:** Name: 4枚折戸1(1間) (4-Panel Folding Door 1 (1 bay)), Type: 指定無し. Dimensions: 建具巾 1,640 mm, 建具高 2,300 mm, 取付高 2,300 mm. It points to a sliding door in the living room.



2 階平面プラン入力（自動部屋寸法入力）

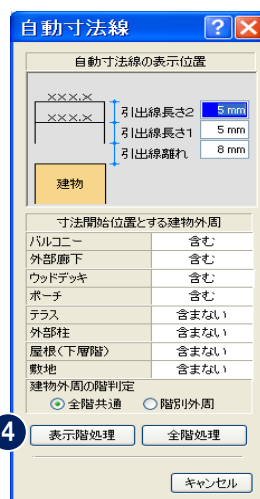
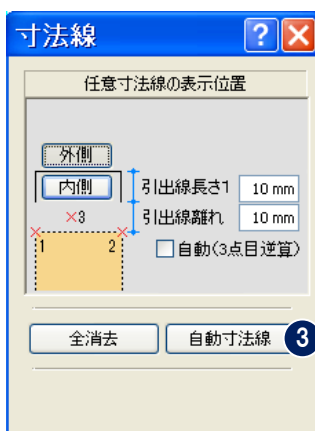
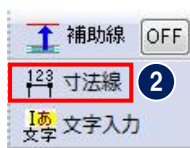


2 階平面図に自動寸法を入力します。

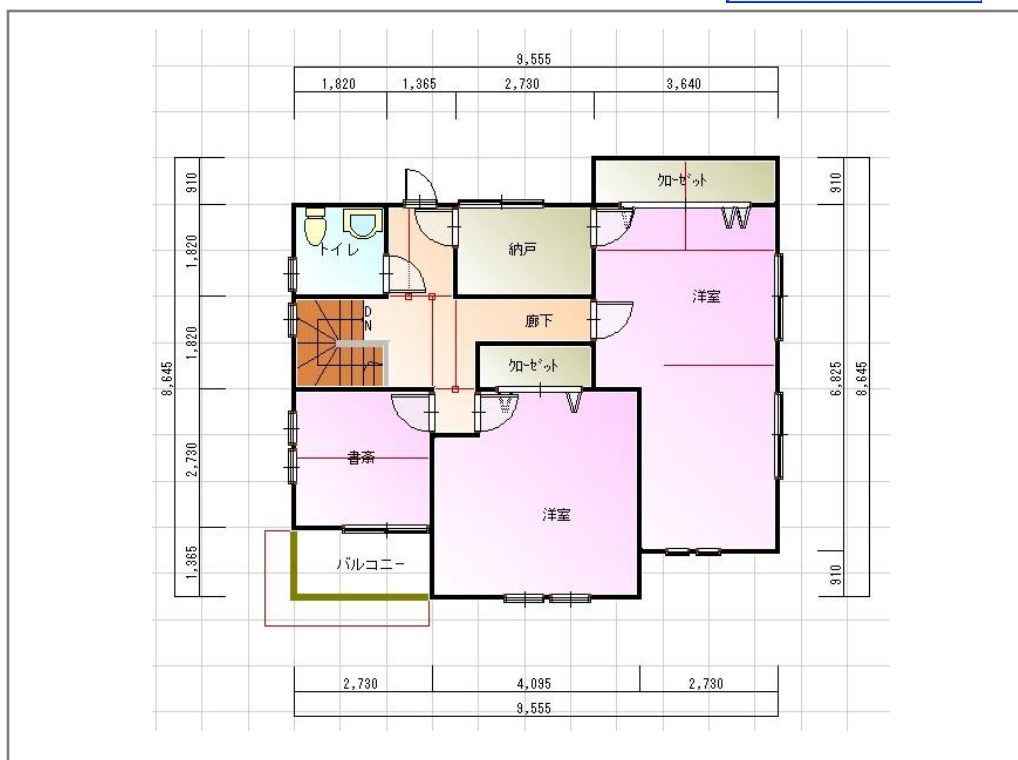
- ・①「寸法他」アイコンを押し、②「寸法線」を選択。
- ・③自動寸法線から④表示階処置を押すと⑤1階部屋寸法が自動発生します。



1



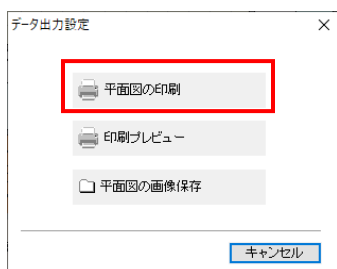
4





※1 階/2 階の平面図を並べて印刷する場合は、「提案ボード」を利用します。

- ・①「印刷」アイコンを押し、②「平面図の印刷」を選択。
- ・③「印刷前の確認事項」から用紙サイズ・グリット印刷など設定を行い「開始」を押します。
- ・④「印刷」画面からご利用のプリンターを選択して印刷開始。

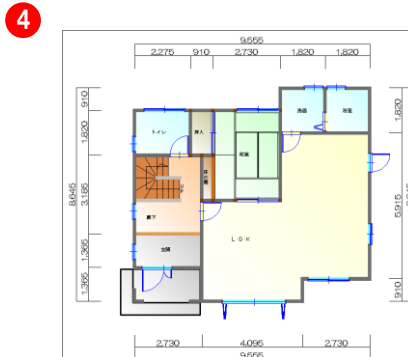
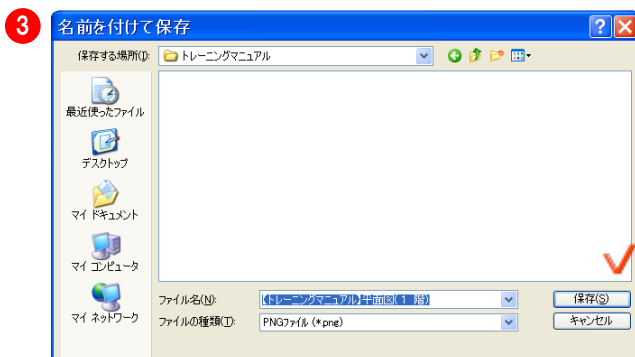
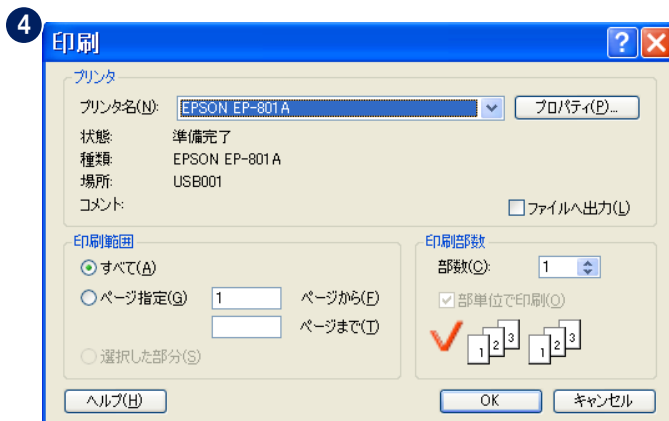
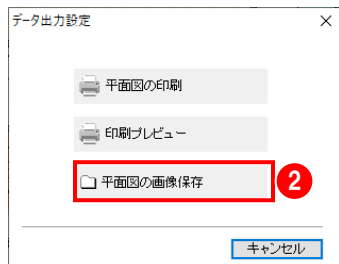


※簡易印刷を選択して平面図の画像印刷を行しましょう。



平面図の画像保存

- ・①「印刷」アイコンを押し、
- ・②「平面図の画像保存」を選択。
- ・③「名前を付けて保存」保存場所を選択。
- ・④平面図が画像として保存されます。

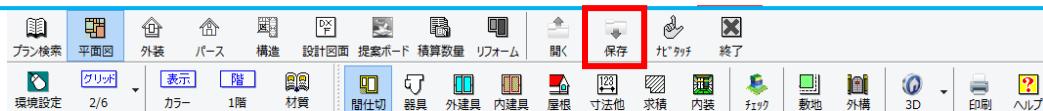




プランナーデータの保存

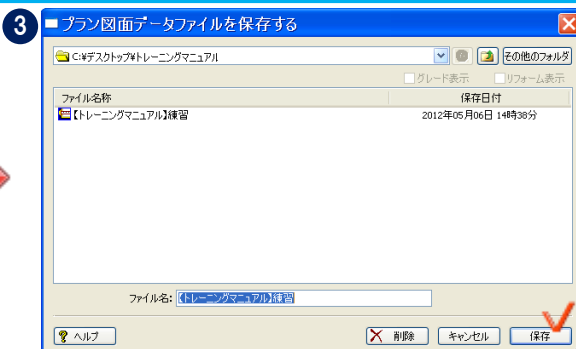
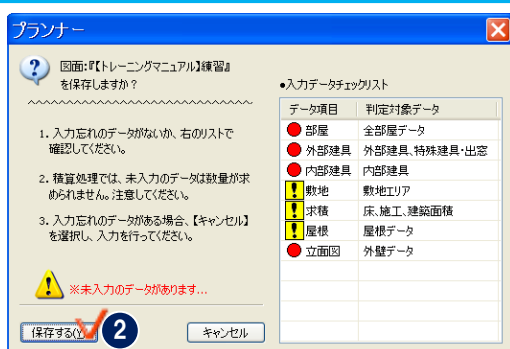


プランナーデータの「保存」します。



1

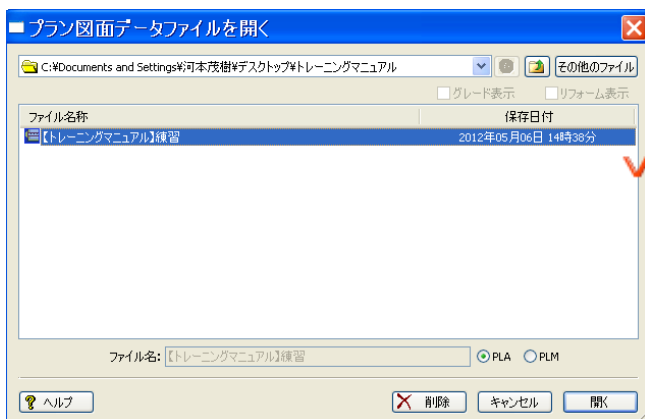
- ①「保存」アイコンを押す。
- ②保存状態確認チェックリストに未入力(屋根・敷地・求積の)状態が表示されます。
- ③保存先を選択し(ファイル名: 物件名)を入力して「保存」。



1

- ①「開く」アイコンを押す。②保存先を選択して(ファイル名: 物件名)を選択して「開く」。

2



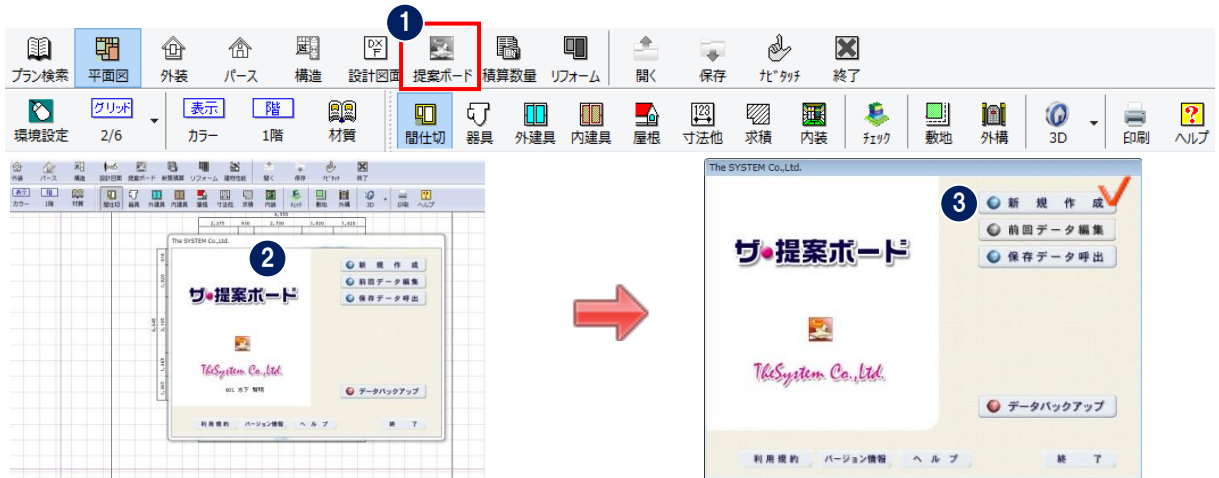


1 階 2 階平面図を並べて印刷(提案ボード起動)

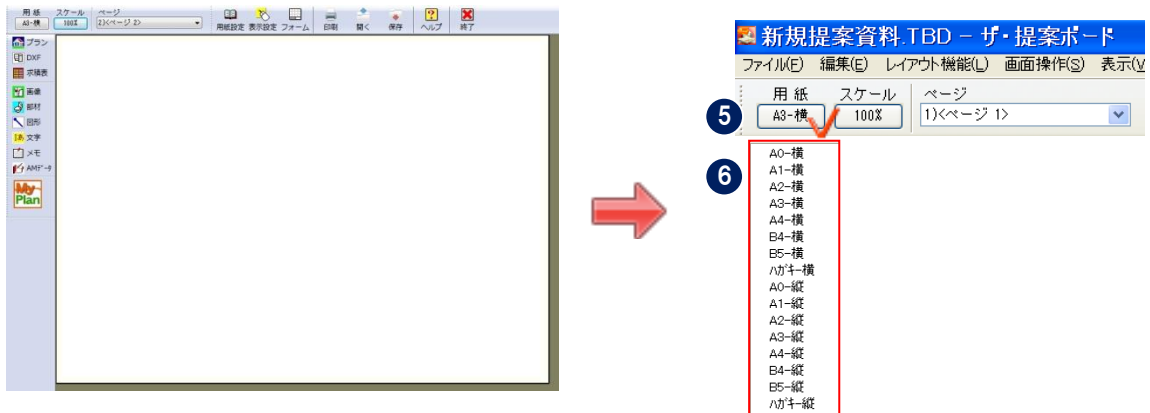


※提案ボードは「標準モデル」画面での解説となります。

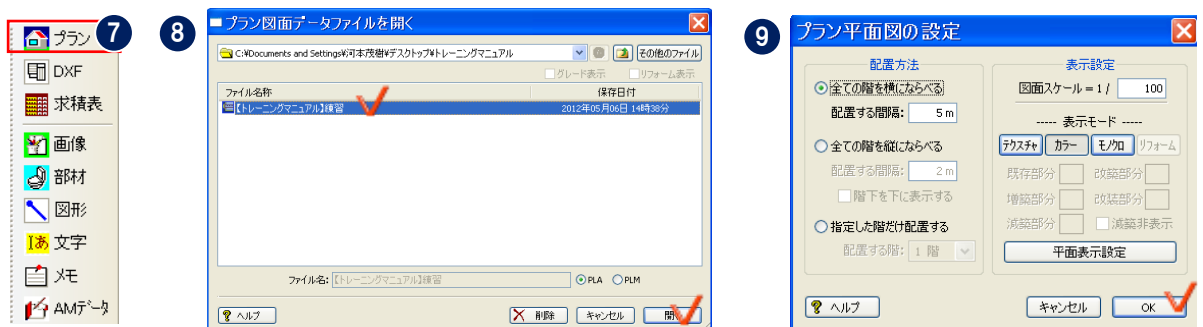
1 階 2 階平面図を並べて印刷する場合は、「ザ・提案ボード」を利用します。



- ・①「提案ボード」アイコンを押す。②「ザ・提案ボード」が起動します。③「新規作成」を押す。
- ・④「ザ・提案ボード」の入力画面になります。⑤「用紙」を押して印刷する⑥用紙の大きさを選択します。



- ・⑦「プラン」アイコンを押す。⑧プランナーの保存データを選択して「開く」を押します。
- ・⑨「プラン平面図の設定」から(全ての階を横に並べる)にチェックを入れて「OK」を押します。



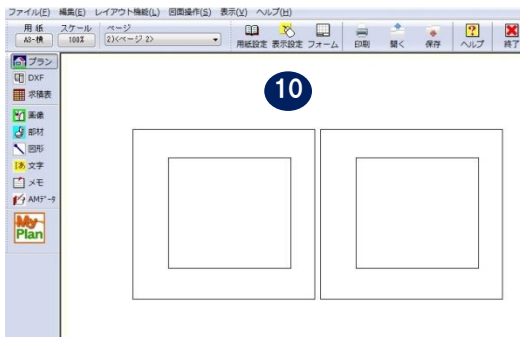


1 階 2 階平面図を並べて印刷(図面配置)

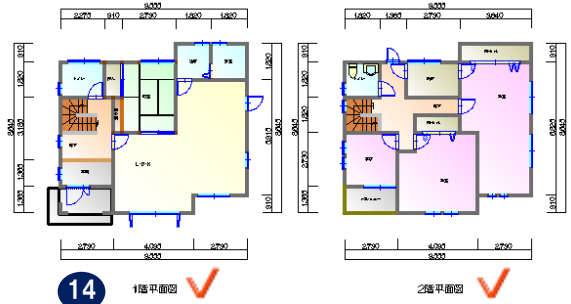
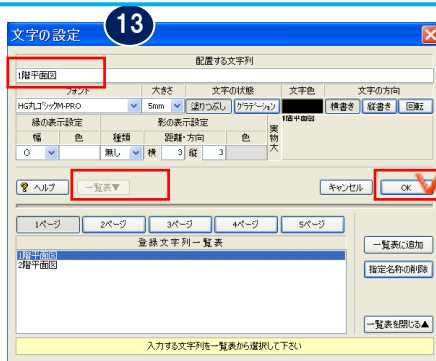


※提案ボードは「標準モデル」画面での解説となります。

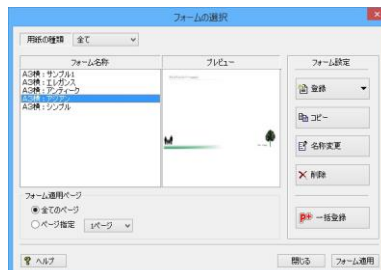
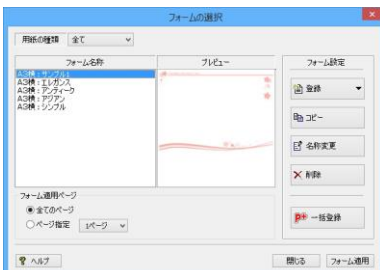
- ⑩⑪「プランナーデータを配置します。



- ⑫「文字」を選択します。⑬「文字の設定」から「1 階平面図」を入力し「OK」を押します。
- ⑭平面図に文字を配置します。



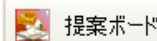
印刷の用紙枠は、プレゼン用と図面用の登録フォームを呼び出して印刷する事が出来ます。
プレミアムメンバー様は、限定のデザインテンプレートもご利用頂けます。



プレミアムメンバーテンプレート

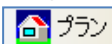


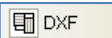
平面図の表示色変更

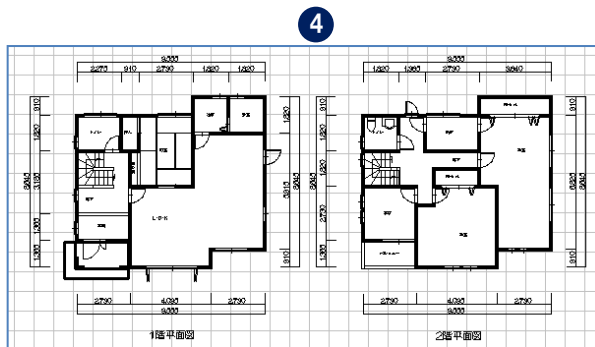
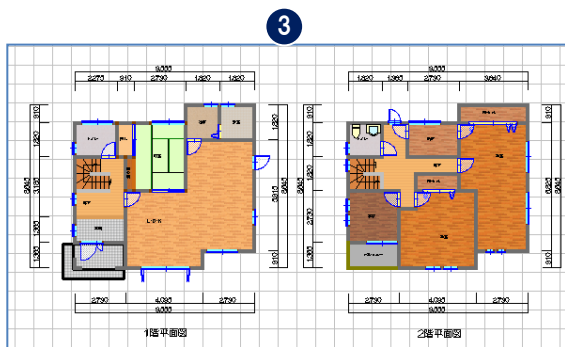
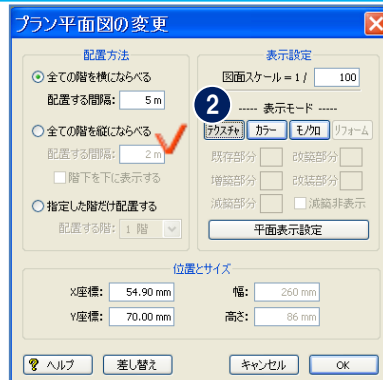


※提案ボードは「標準モデル」画面での解説となります。

- ①「提案ボード」に配置した平面図を選択。②表示モードの「テクスチャ」を選択し「OK」を押す。
- ③平面図がフローリング材が入った表示に切り替わります。同様に②で「モノクロ」を選択して「OK」を押すとモノクロ表示となります。※「カラー」はグラデーションや単色の表現となります。



アイコンから呼び出した平面図は、画像データです。設計図面用のデータは、 から DXF 図面を読み込んで配置します。



平面図の表示色を変更しましょう！

平面図は、カラー・テクスチャ・モノクロの3つ表示配色を変更して印刷が可能です。

カラーモード

テクスチャモード

モノクロモード





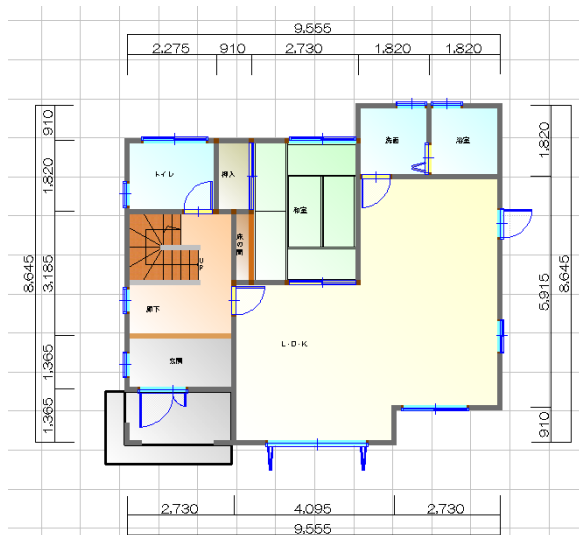
壁・建具の表示色を変更しましょう。

① 「平面表示設定」を押して②「平面表示色」タブを開きます。③壁や建具の色を選択すると④色設定

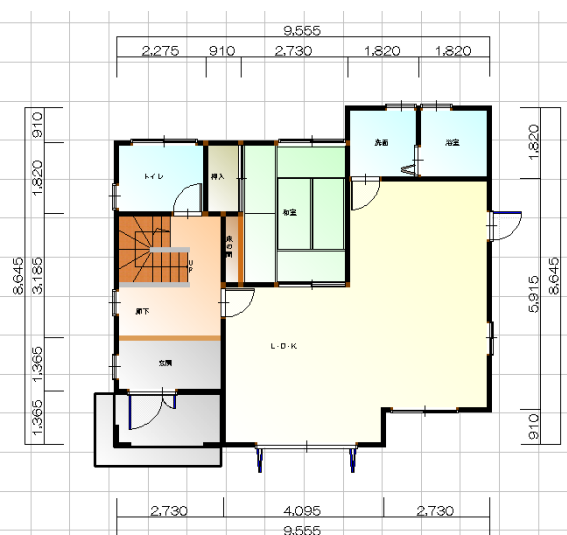
になりますのでそれぞれの色を選択して確定します。

又、部屋の表示色は⑤「塗り潰し」と「グラデーション」の選択が可能です。

「OK」を押して確定すると平面図の表示が変更されます。



1階平面図



1階平面図

プラン平面図の変更

配置方法
☒ 全ての層を横にならべる
 配置する間隔: 5 m
☐ 全ての層を縦にならべる
 配置する間隔: 2 m
☐ 階下を下に表示する
☐ 指定した層だけ配置する
 配置する階: 1階

表示設定
 図面スケール = 1 / 100
☒ 床仕上の表示
 テクスチャ カラー モノクロ リフォーム
 既存部分 ☐ 改築部分 ☐
 増築部分 ☐ 改築部分 ☐
 減築部分 ☐ 減築部分 ☐
☐ 減築非表示

位置とサイズ
 X座標: 16.00 mm 幅: 291 mm
 Y座標: 16.00 mm 高さ: 186 mm

ヘルプ 変替 キャンセル OK

平面表示設定

表示対象: 平面表示色 フォント 部屋の広さ グリッド

プレゼン
 テクスチャ / カラー ☒
 部屋マス ☐
 グラデーション ☐

床	床面	壁	壁面	柱	柱面	開口	開口面	外部建具	建具面	開口	開口面	内部建具	建具面	建具枠
☒	☐	☒	☐	☒	☐	☒	☐	☒	☐	☒	☐	☒	☐	☒

ヘルプ 出図時に戻す キャンセル OK

色の設定

基本色(B):

☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

作成した色(C):

☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

色の作成(D) >>

OK キャンセル

平面表示設定

表示対象: 平面表示色 フォント 部屋の広さ グリッド

プレゼン
 テクスチャ / カラー ☒
 部屋マス ☐
 グラデーション ☐

床	床面	壁	壁面	柱	柱面	開口	開口面	外部建具	建具面	開口	開口面	内部建具	建具面	建具枠
☒	☐	☒	☐	☒	☐	☒	☐	☒	☐	☒	☐	☒	☐	☒

ヘルプ 出図時に戻す キャンセル OK



6



1 階 2 階平面図を並べて印刷(印刷)

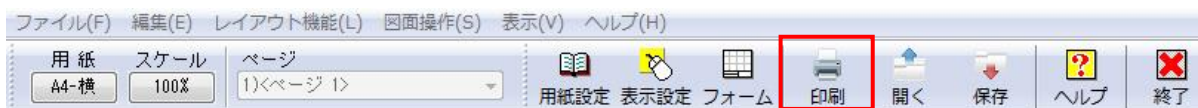


※提案ボードは「標準モデル」画面での解説となります。

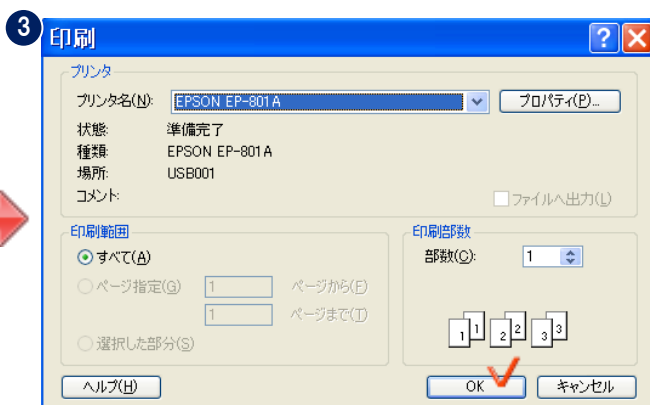
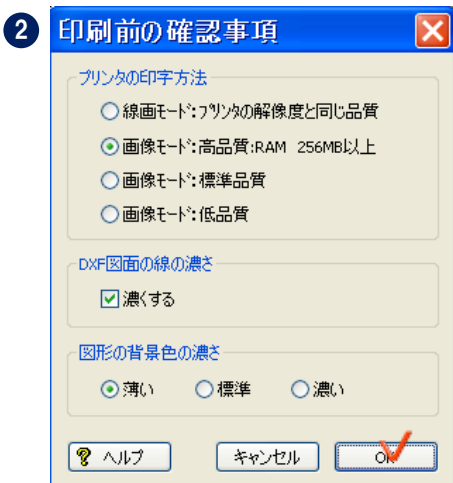
①「印刷」アイコンを押す。②「印刷前の確認事項」の「プリンタの印字方法」印刷品質を選択する。

※「DXF 図面の濃さ」は、DXF 図面の印刷時に利用。※「図形の背景色の濃さ」は「薄い」を選択してご利用のプリンタの調整を行います。

③「印刷」ご利用のプリンタを選択して「OK」印刷開始。



1





1 階 2 階平面図を並べて印刷(保存/開く)



※提案ボードは「標準モデル」画面での解説となります。

・「ザ・提案ボード」のデータを保存します。



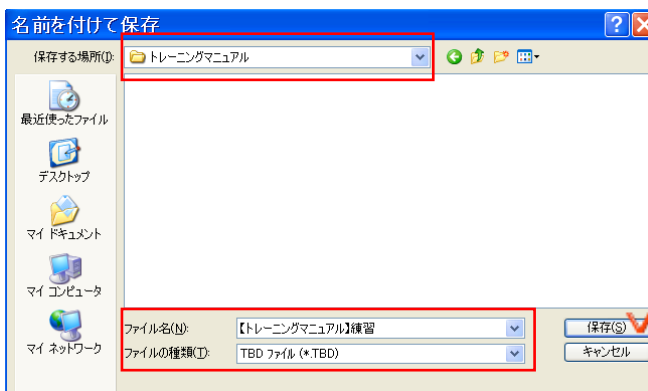
1



「ザ・提案ボード」のデータは、「TBD ファイル形式」でプランナーデータとは、別のデータで保存します。

- ①「保存」アイコンを押し、②「名前を付けて保存」
- ・保存先を選択して「名前.TBD」を付けて保存します。

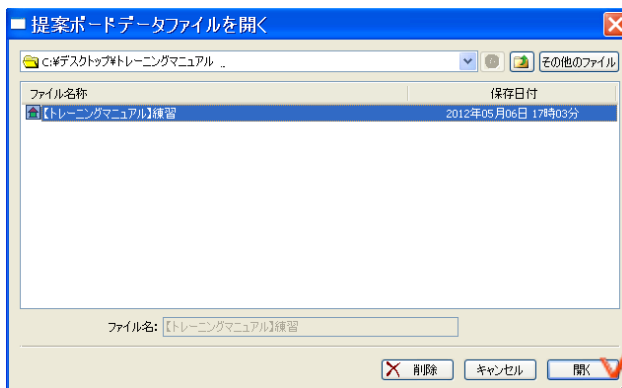
2



「ザ・提案ボード」のデータは、「TBD ファイル形式」でプランナーデータとは、別のデータで保存されています。

- ①「開く」アイコンを押し、②保存先を選んでファイル名「名前.TBD」を選択して開きます。

2





1 階 2 階平面図を並べて印刷(終了)

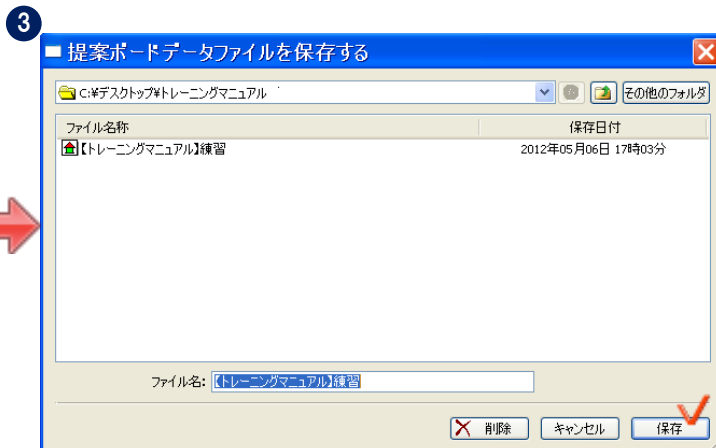
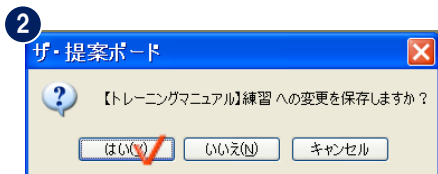


※提案ボードは「標準モデル」画面での解説となります。



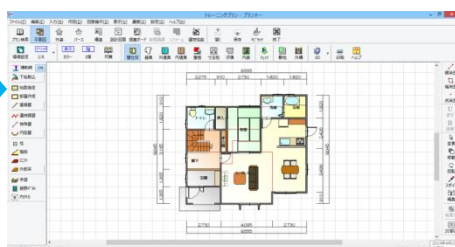
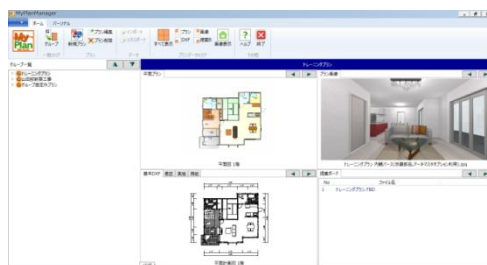
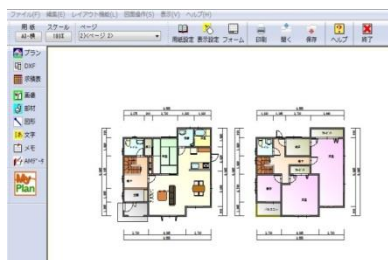
「ザ・提案ボード」のデータは、「TBD ファイル形式」でプランナーデータとは、別のデータ形式で保存されます。

- ①「終了」アイコンを押し、②データ変更があった場合は「変更確認メッセージ」が出ます。データを変更する場合は、③保存先を選んでファイル名「名前.TBD」を選択して保存します。
- ※物件データに変更がない場合は、メッセージが出ずに「終了」します。



「ザ・提案ボード」を終了すると「ザ・プランナー」に一旦戻ります。

「ザ・プランナー」終了後に「マイプラン・マネージャー」へ戻る様になっています。





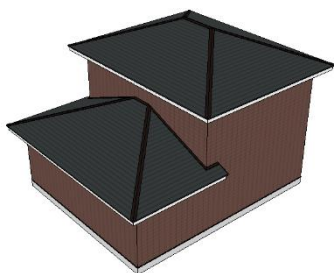
屋根入力 (屋根入力タイプ一覧)



ザ・プランナーの屋根入力タイプを確認しましょう。

「自動屋根入力」の屋根タイプは、洋風・和風の寄棟・切妻屋根・陸屋根・片流れ屋根・段違い屋根の自動入力が可能です。

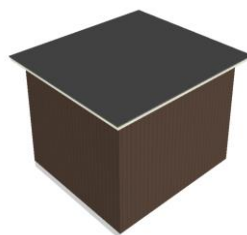
寄棟屋根



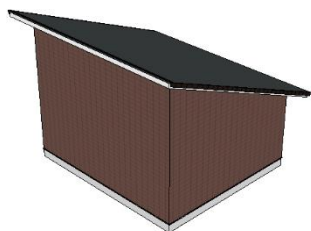
切妻屋根



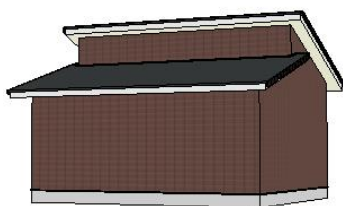
陸屋根



片流れ屋根



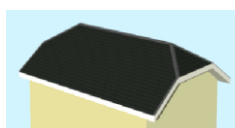
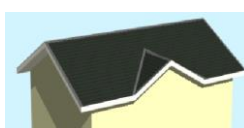
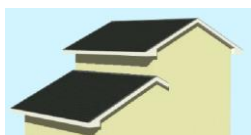
段違い屋根



入母屋屋根

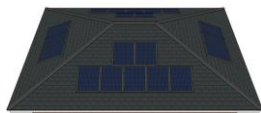


補助線を活用して入力可能な屋根

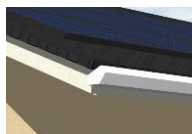


屋根専用部品

ソーラーパネル



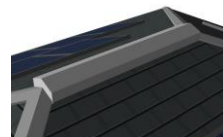
軒樋



ドーマ



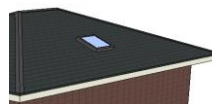
小屋換気



化粧垂木



トップライト





屋根入力 (洋風 寄棟屋根入力)



1

2

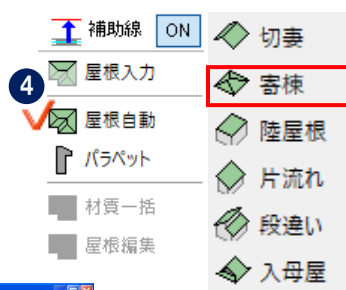
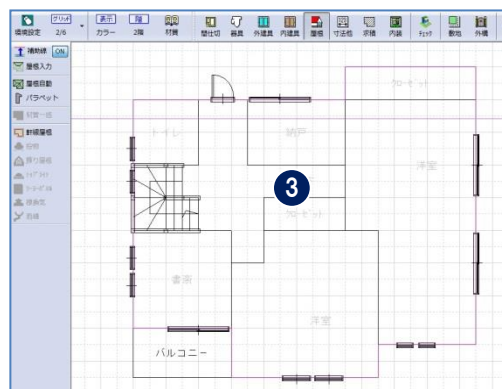
洋風寄棟屋根の入力

- ・①階が「2階」である事を確認
- ・②「屋根」アイコンを選択。
- ・③2階平面図が下图表示。
- ・④「屋根自動」アイコンを押す。
- ・⑤「屋根自動処理」画面に入り、
屋根形状・仕様・数値の設定。
(寄棟)(仕様: 洋風)(軒天形状: 水平)
(軒先形状: 鉛直)
(数値設定)

「勾配: 4/10, 軒出 700mm, 鼻隠し: 180mm,
屋根面高: 120mm」

上記内容を確認して自動作成

- ・⑥「開始」を押す。
- ・⑦「3D プレビュー」アイコンで確認すると
自動入力された寄棟屋根が確認出来ます。

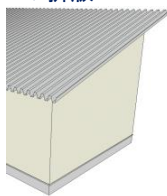


屋根工法

▼瓦棒



▼折版



軒天形状の表現

▼勾配1 ▼水平1 ▼水平2



軒先形状の表現

▼鉛直 ▼直角



役物のタイプ

▼洋風

棟	鬼瓦	袖	のし
三角瓦	無し	L型瓦	金属

▼和風

棟	鬼瓦	袖	のし
和瓦	和瓦	無し	和瓦



屋根入力 （屋根材質=パース表示）

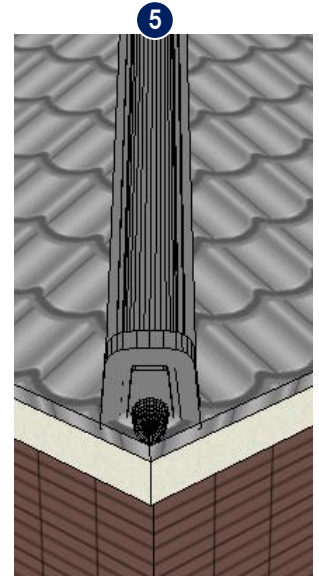


「自動屋根入力」での「屋根材質」の設定は、外観パースで表示する材質設定です。

この機能は、「外観パースモード」でも屋根材質の変更が可能です。

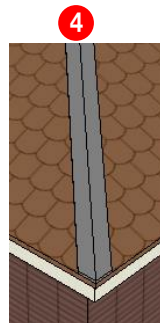
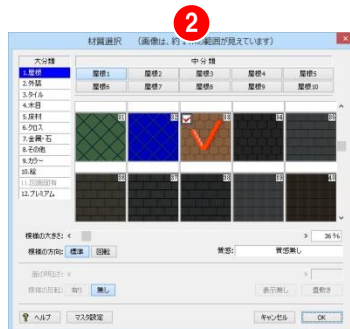
屋根配置の時点で材質設定を行なってイメージ確認が出るイメージで運用下さい。

①「屋根材質」を押す。②「屋根タイプ「3」」を選択。③材質変更確認 ④「開始」実行。⑤材質反映



初期登録に無い材質変更

① 「屋根材質」を押す。②「材質選択」から他の材質を選択。③材質変更確認 ④「開始」材質反映
この機能は、「外観パースモード」でもご利用頂けます。





外装機能（外装機能の役割）



外装



「外装機能」は、外壁分割や装飾部材を配置して外観パースや DXF 図面（立面図 4 面）を作成する前工程の機能です。



平面プラン・屋根



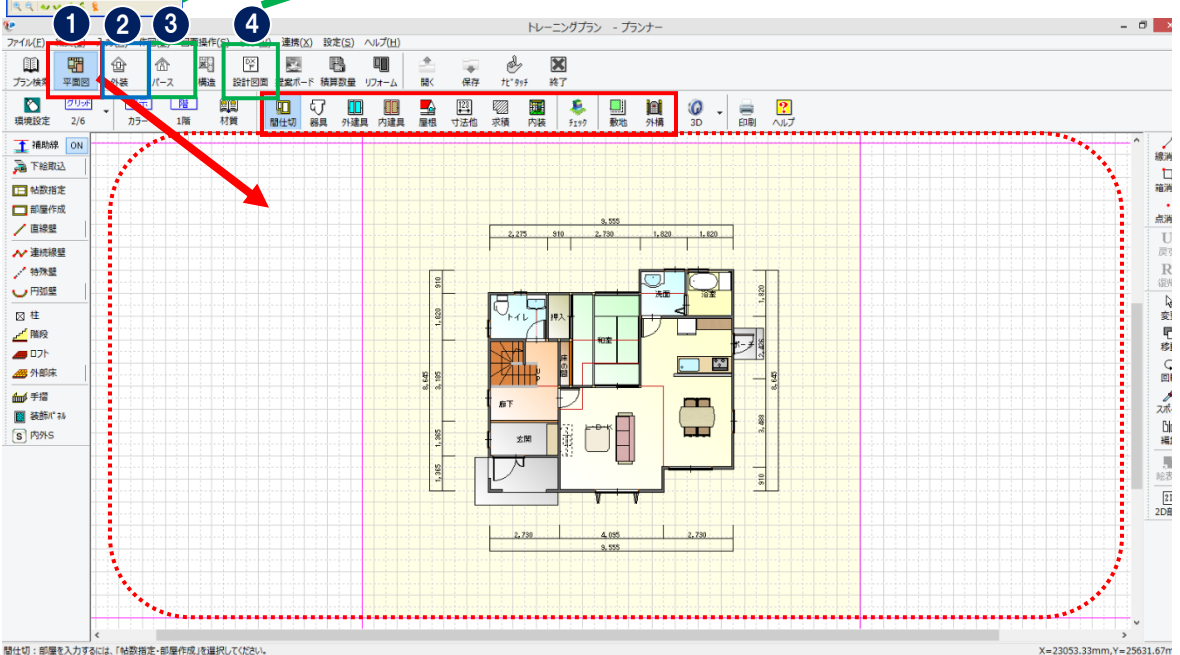
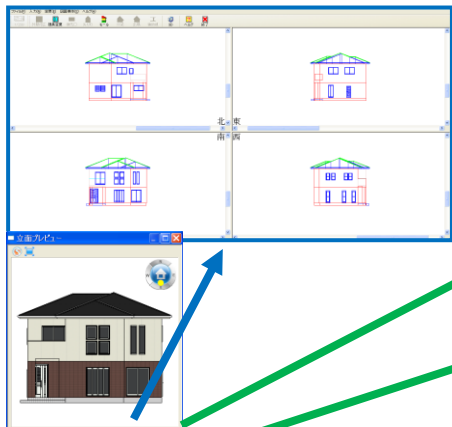
装飾部材・外壁修正



外観パース画像作



DXF 図面作成



間仕切：部屋を入力するには、「軸線指定・部屋作成」を選択してください。

X=23053.33mm,Y=25631.67mm



外装機能（外装機能 一覧）



「外装機能」で可能な外観デザインを確認しましょう！

外壁分割・モール・出隅装飾・付梁・矢切りなどの組み合わせで外観のデザインが可能です。



外壁 任意分割



外壁 上下階自動分割



モール



出隅コーナー



付梁



小屋飾



装飾部材



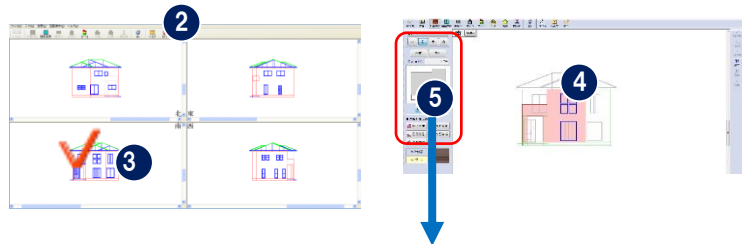


外装機能（起動と画面説明）

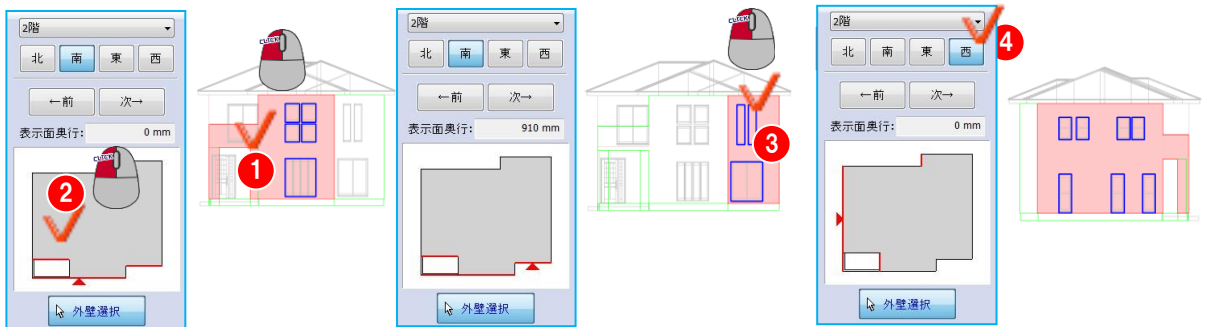


「外装」機能の起動

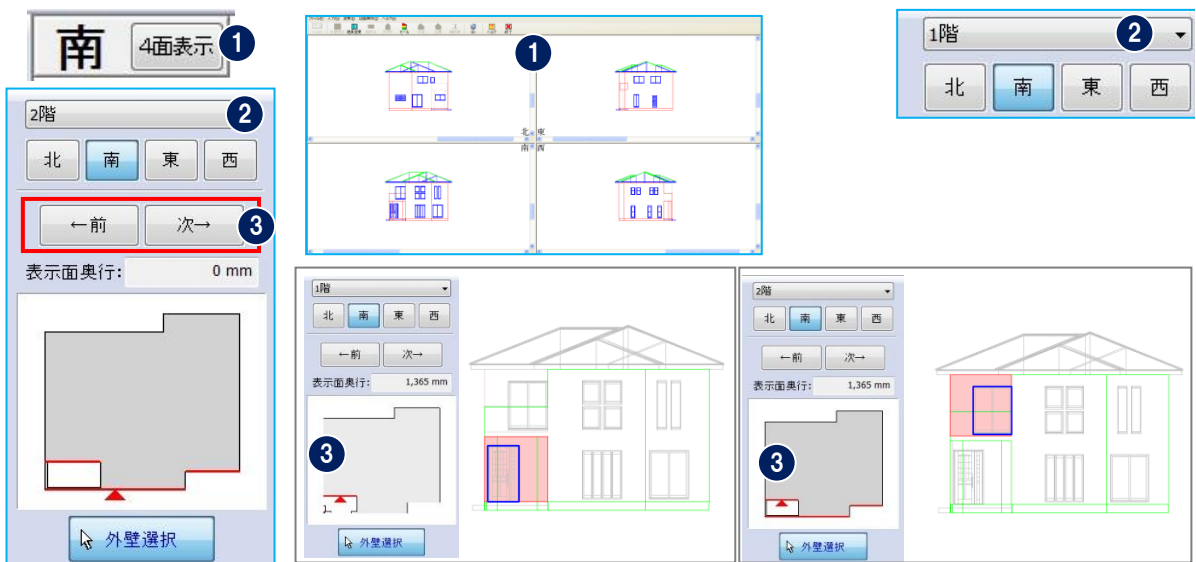
- ・①「外装」アイコンを押す。
- ・②「外装」画面
- ・③左下の南面を押す。
- ・④「外装」入力画面になります。



- ・⑤「外壁面選択」画面 外壁面の選択は、①外装を直接選択または、②平面から選択で指定出来ます。
(外装と平面図は、連動しています。③異なる面や分割したい面を指定する時に利用します)
- ④方角を変更する場合は、「東西南北」を選択します。



- ・①「4面表示」を押すと4面画に戻ります。②「階設定」を押すと指定階に移動します。
- ・③「次へ/前へ」を押すと、指定面が移動して行きます。(階も変更しながら移動して行きます)





外装機能 (外壁任意分割と補助線)



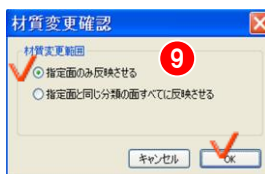
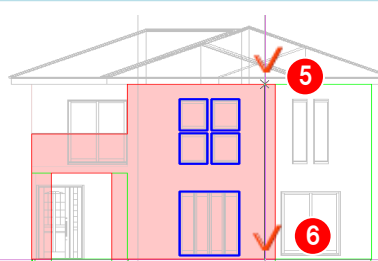
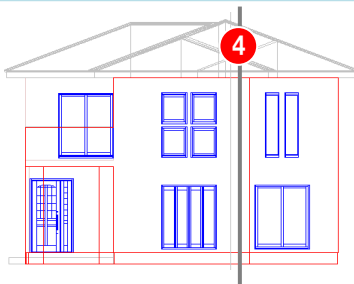
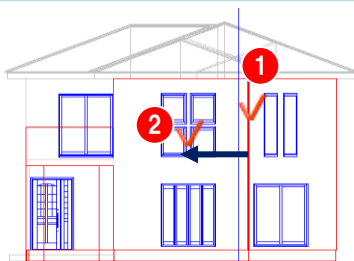
「外壁面」を任意で分割する場合は、①補助線を引いてから②任意分割を行うのがポイントです。
③立面の南面に縦ラインの外壁面を作って④「材質」を変更の練習をしてみましょう！



■選択外壁面の編集



- ①「補助線」から「平行線1」を選択。①の壁線を選択して②左方向にクリック。③「移動距離 300mm」を入力して「OK」を押すと④の補助線が入力されます。②の「任意分割」を押して外壁を分割します。
- 次に補助線に沿って⑤⑥の点をクリックすると外壁が⑦の様に外壁分割されます。次に材質を変更します。
- ④の材質を押すと⑧「外壁材質変更」が表示されます。外壁タイプ数字部分「3」を選択して「OK」を押します。⑨指定面のみ反映されるにチェック後「OK」を押すと材質が変更されます。⑩3D プレビューで確認出来ます。



- ⑧の白色が無い場合は、⑪の選択外壁材質を押すと⑫の「材質選択」で材質の変更が可能です。「カラー1」の1番に白色があります。他の色も選択してトライして下さい。





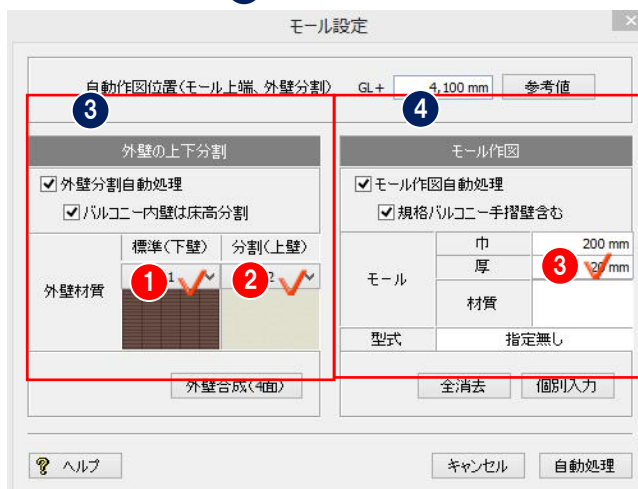
外装入力（自動割付機能）



「自動機能」を利用して上下階壁分割とモールの自動割付を行いましょう！

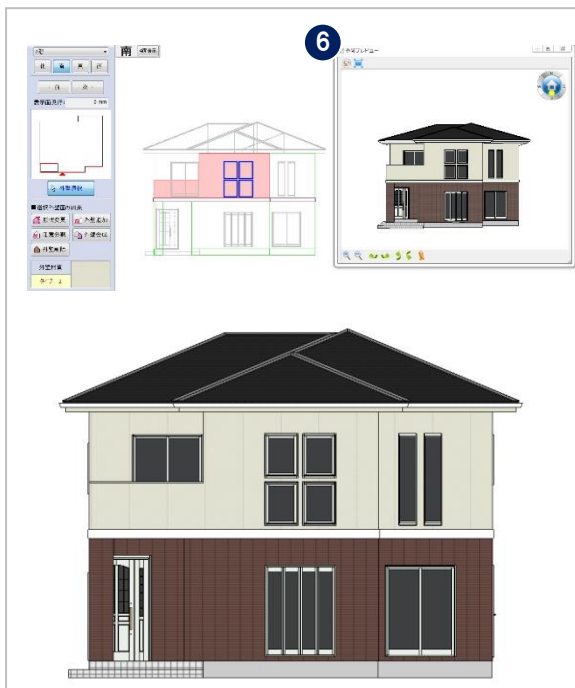
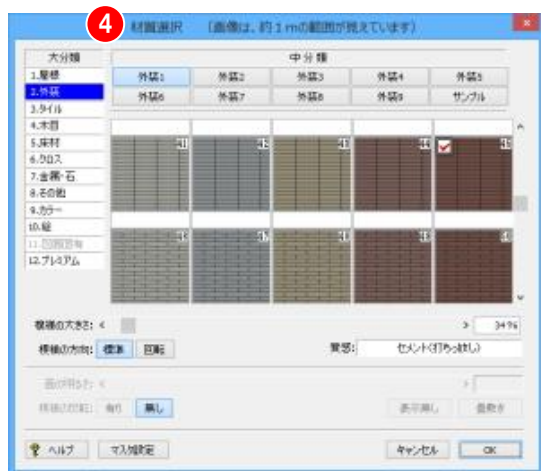


2



- ・①「モール」アイコンを押す。
- ・②「モール設定」表示。
- ・③「外壁の上下分割設定」
外壁分割の設定:「する」
バルコニー内壁:「モール高分割」
- ・④「モール作図」
規格バルコニー:「する」
モール上端(分割)位置 GL+:「3,400mm」
モールサイズ
巾:「200mm」
厚:「30mm」
モール材質 : 白
- ・⑤「自動作図」を押す。
- ・⑥入力完了。

上下階の材質変更は、①②を押して④の材質変更。
モール材質は③を押して④の材質変更を行います。





外装機能（外壁割付部材の削除）



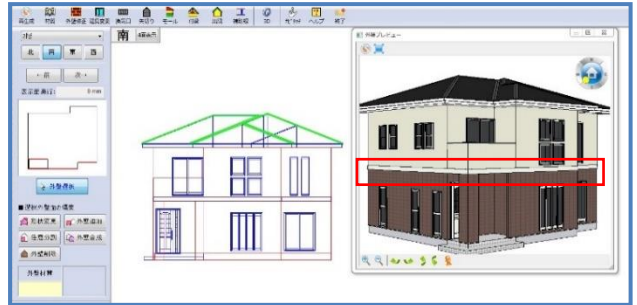
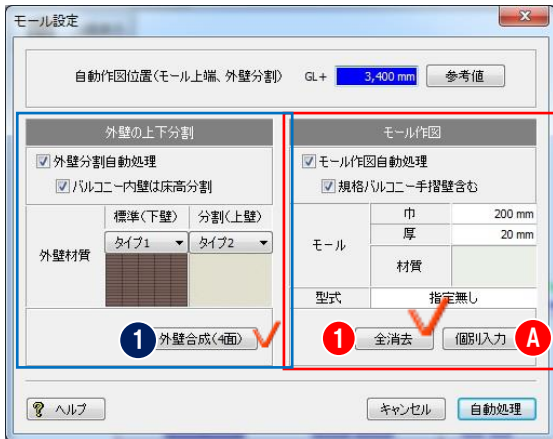
外装



モール

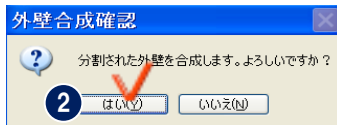
「モール設定」で自動割付した外壁とモールの削除方法です！

（上下分割壁面/モール配置）



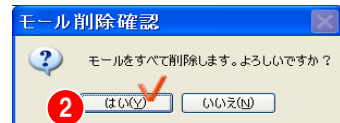
「外壁合成」

上下に分割割付した壁面を元に戻すには、①「外壁合成」を押して②「はい」を選択するとモールを残した状態で元に戻ります。



「モール」

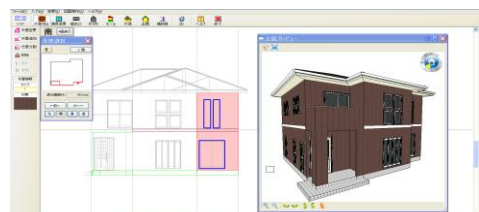
モールを全て削除する場合は、①「全削除」を押して②「はい」を選択するとモールを全て削除する事が出来ます。



任意分割した壁を元に戻す場合も「外壁合成」を利用します。



A モールを個別で入力する場合は、壁面を指定しながらAの「個別入力」で配置していきます。





「モール設定」で自動割付した外壁とモールの再配置方法です！

(上下分割壁面/モール配置)

モールド設定

自動作図位置(モールド上端、外壁分割) GL+ 3,400 mm 参考値

外壁の上下分割

☒ 外壁分割自動処理

☒ バルコニー内壁は床高分割

標準(下壁) 分割(上壁)

タイプ1 タイプ2

外壁材質

外壁合成(4面)

モールド作図

☒ モールド作図自動処理

☒ 規格バルコニー手摺壁含む

巾 200 mm

厚 20 mm

材質

型式 指定無し

全消去 個別入力

ヘルプ

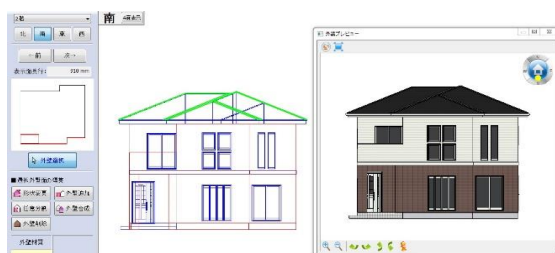
キャンセル 自動処理

4

配置したモールを残した状態で上下外壁の再配置

- ・①外壁分割自動処理にチェックを付ける。
- ・②「外壁材質」上壁・下壁の材質を押し③材質選択から材質変更。
- ・④「自動作図」を実行。

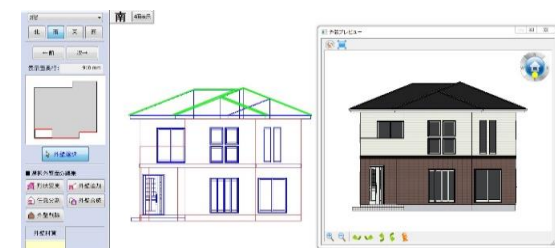
モールを残した状態で材質を再配置が出来ます。



配置した上下外壁材質を残した状態でモールの再配置

- ・①外壁分割自動処理にチェックを外す。
- ・②モル材質を押し③材質選択から材質変更。
- ・④「自動作図」を実行。

上下壁材質を残した状態でモールの再配置が出来ます。

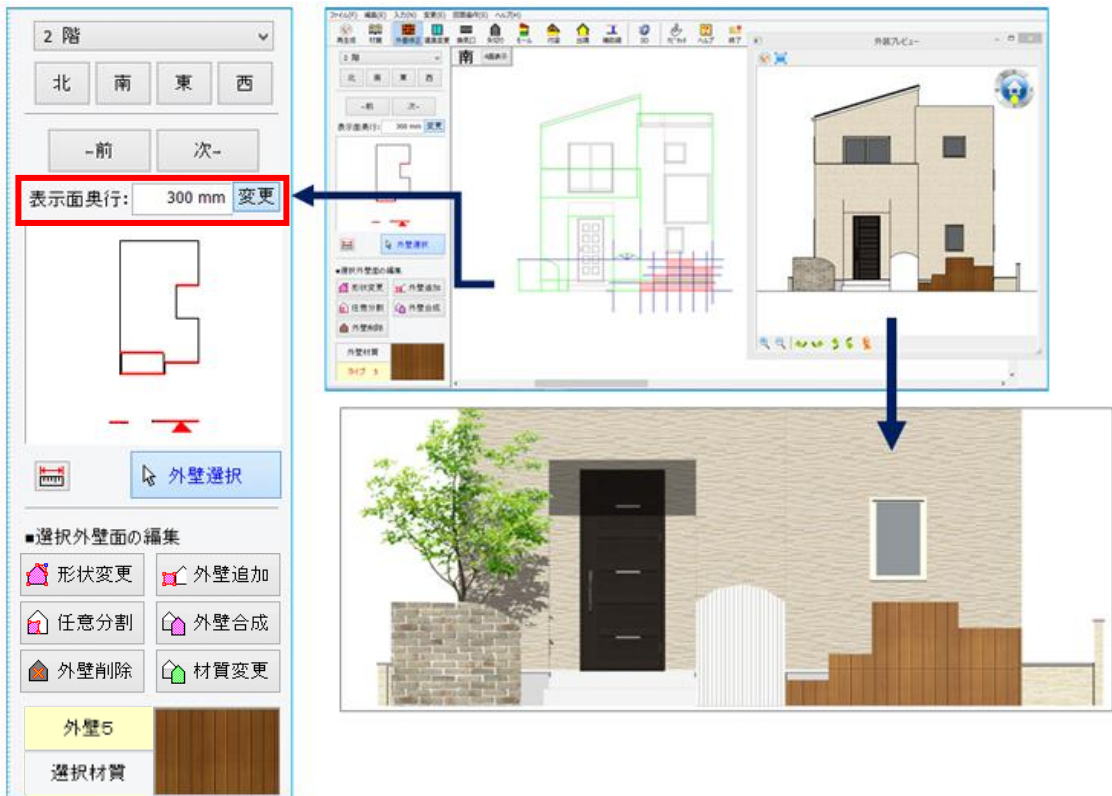
[illegible]



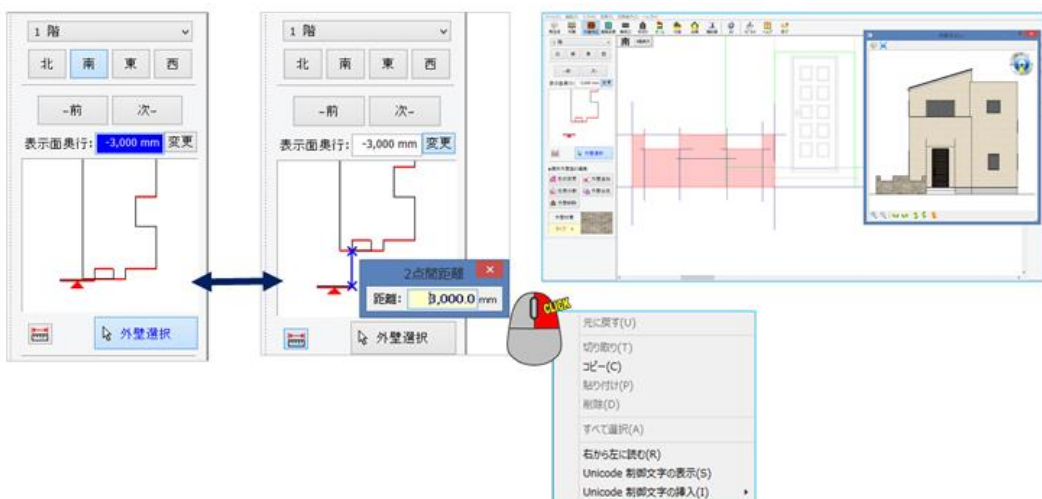
外装機能（外壁変更と外壁追加）



「外壁追加」「外壁変更」は、建物の外壁の追加/変更時に利用しますが、パース用に「塀」などの意匠イメージ用にも利用可能です。追加入力した外壁の奥行きを変更することもできます。



計測値は、マウス右クリックでのコピー＆ペーストが利用できますので、外壁面の奥行寸法の変更時に活用可能な便利機能となります。





外装機能（その他の部材）



外装



良く利用する機能を紹介します！

（「付梁」出隅 配置）

スケール
1/116

外壁修正

建具変更

換気口

矢切り

モール

付梁

出隅

補助線

3D

ヘルプ

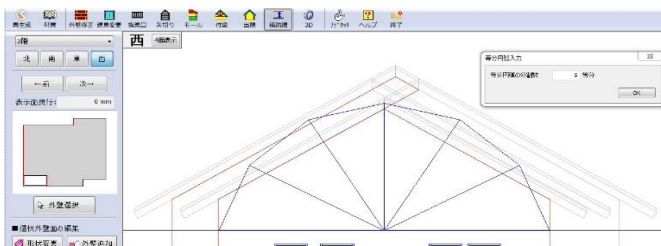
終了



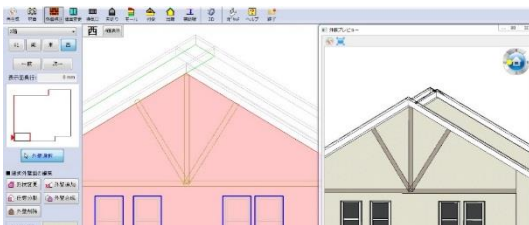
外壁の見せ梁などの入力は、最初に補助線を利用して梁の配置位置を設定後に、「付梁」アイコンで入力していきます。（付梁の削除や変更は、「付梁入力の全削除・ライン削除」で行います。）



補助線



付梁

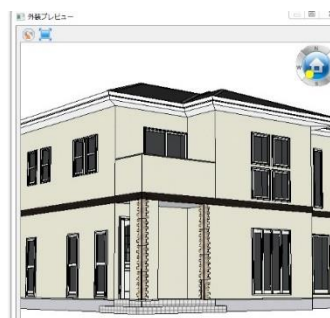
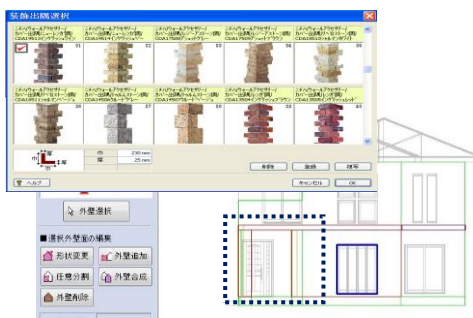
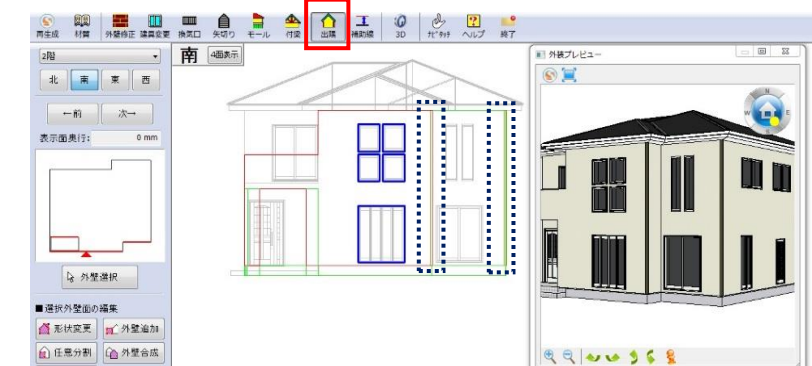


出隅

◆①角コーナーの出隅入力は、外壁コーナー面を指定して「入力」を行います。

◆②装飾出隅は、出隅タイプを選択して「入力」を行います。

（削除や変更は、「出隅入力の全削除・ライン削除」で行います。）





3Dプレビューの材質表示の違い（平面図・屋根・外装）

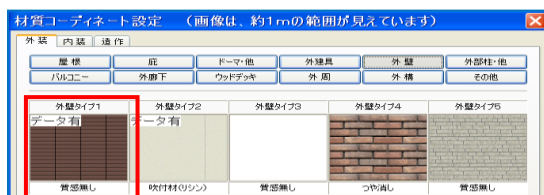


3D プレビューで表示される材質表現は、平面図・屋根・立面図で表示目的が異なります。

平面図・屋根の3D プレビュー

平面プラン・屋根の入力状態を確認する為に3D プレビューをご利用下さい。

平面図・屋根画面の3D プレビューは、「材質コーディネート設定」の初期設定で登録されている「タイプ1」が表示されます。外観パースで表示される材質は、立面図で割り付けられます。



平面での3Dプレビューの際は、外装(外装確認)を選択すると、外装で割り付けた材質が表示されます。

立面図3D プレビュー

外観パースを作成する前の確認としてご利用下さい。

外装画面の3D プレビューは、外装で割り付けた材質が表示されます。

外観パースで表示される材質となります。





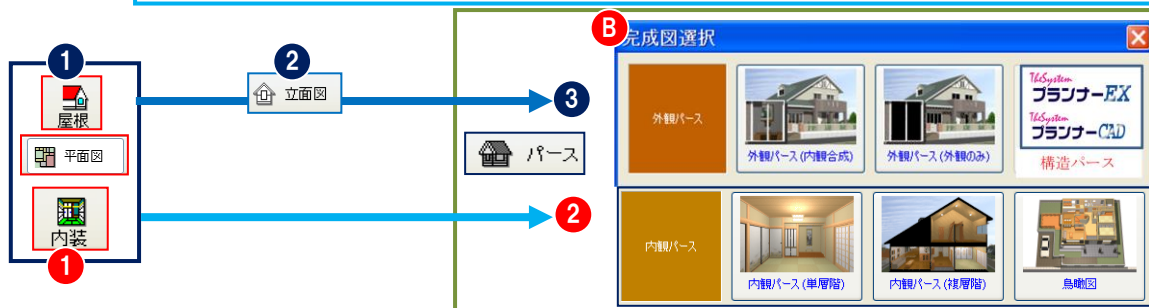
パース作成機能(外観 P/内観 P の基本データ)



パース作成を行う前に、外観パースと内観パースを作成する元になるデータを確認しましょう。

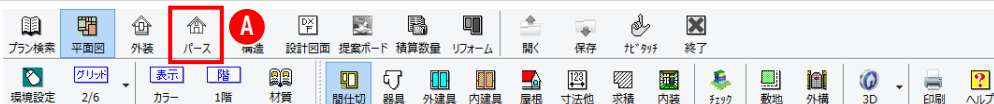
外観パースは、①平面②屋根③立面図のデータを基本データとして作成します。

内観パースは、①平面/内装のデータを基本データとして作成します。



・(A)「パース」アイコンを起動すると(B)「完成図選択」画面が開きます。

ザ・プランナーで作成可能なパースは以下の通りです。



1	2	3	4	5
外観パース(内観合成)	外観パース(外観のみ)	内観パース(単層階)	内観パース(複層階)	鳥瞰図
① 外観パース(内観合成) 部屋内部も表示させた外観パース作成 ※臨場感あるパースの作成機能です。 データが重くなります。	② 外観パース(外観のみ) 部屋内部は表示させない外部を表示させた外 観パース作成。 ※内部データを表示させないので データは軽くスピーディです。	③ 内観パース(単層階) 指定の部屋だけの内観パースを作成します。	④ 内観パース(複層階) 上下階の部屋や外部の表現が可能なパース。	⑤ 鳥瞰図パース



外観パース作成(視点設定/太陽)

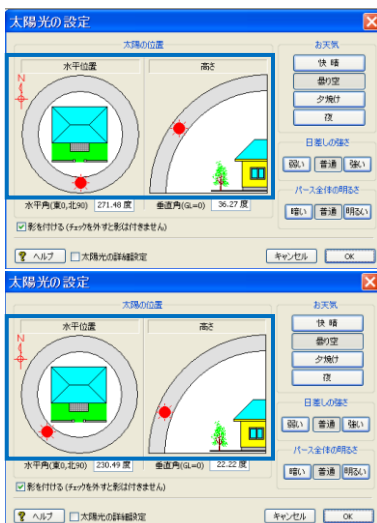
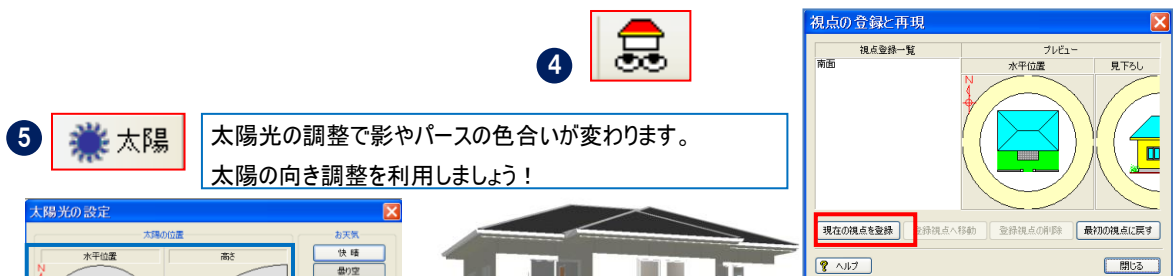


外観パースの作成ポイントは、「視点設定」と「太陽(光・影)」の調整ですので覚えておきましょう！



一番大切なのは、決まった視点の登録です。

④「視点の登録と再現」を利用しましょう！

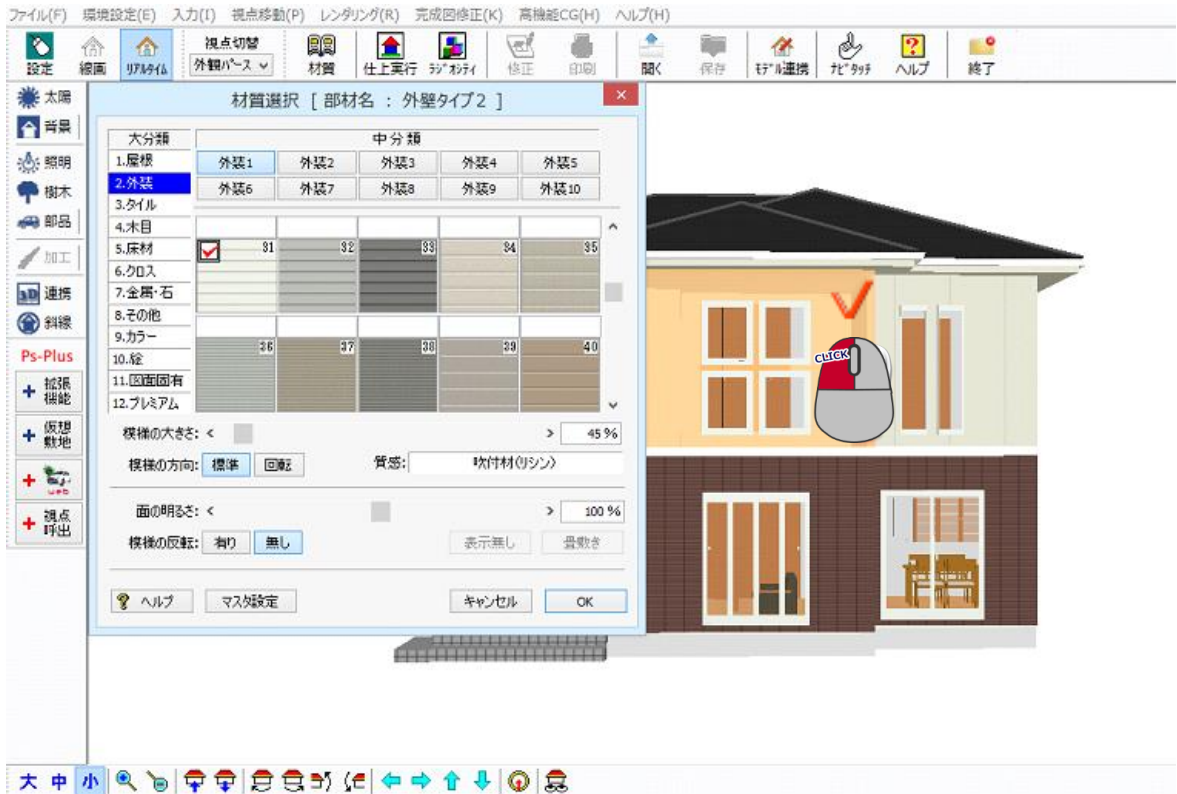




外観パース作成(材質変更)



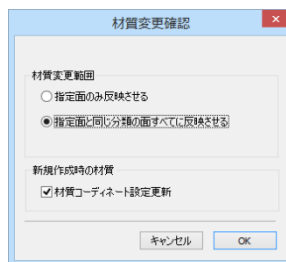
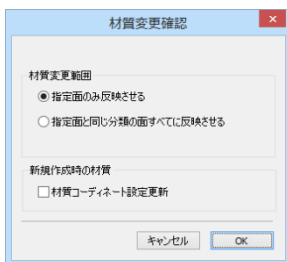
外観パースでは、立面図機能で設定した「材質」を変更する事が出来ます。
マウスで壁や屋根を簡単に選択出来ますので利用しましょう！



指定面だけの材質を変更する場合。
【指定面のみ反映させる。】

指定面と同じ分類面の材質を変更する場合。
【指定面と同じ分類の面全てに反映させる。】

材質コーディネート設定とは？
標準設定した材質を変更する
場合にチェックを入れます。



変更前

変更後





外観パース作成(仕上実行/画像保存)



パース画像の作成は、「①仕上実行」アイコンから行います。

画像の品質は、②品質選択を選びます。ボタンを押すとレンダリングが実行されます。

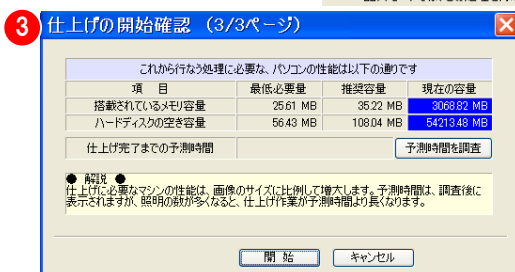
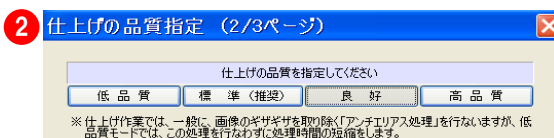
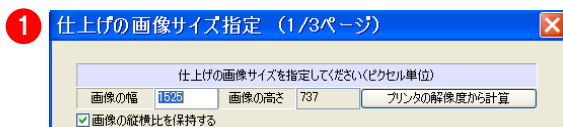


【品質選択】を押すとレンダリングが開始されます。

画面解像度に合わせた状態で低品質から高品質までの画像が作成出来ます。

【低品質】で太陽位置や影を確認してから良好や高品質を実装するのが時間削減のコツです！

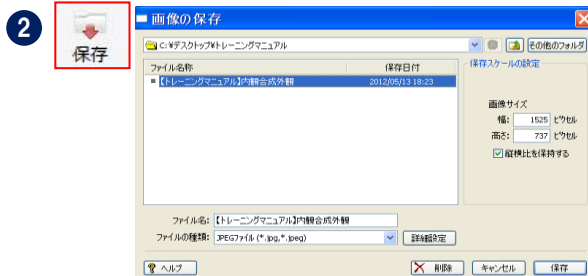
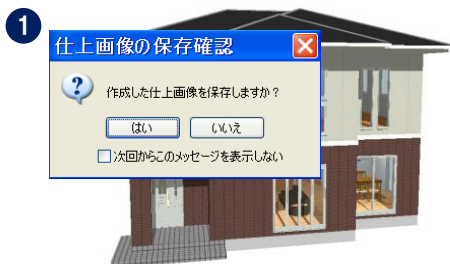
・①②③【画像解像度(大きさ)】と【品質】を決めながらパース画像を作成出来ます。



◆「仕上実行」が終了すると①「保存メッセージ」を聞いてきますので画像を保存して下さい。

◆「仕上画像データ」は、②「保存」アイコンからでも保存が出来ます。

◆「保存先」を指定して画像を保存しましょう。





外観パース作成(印刷)



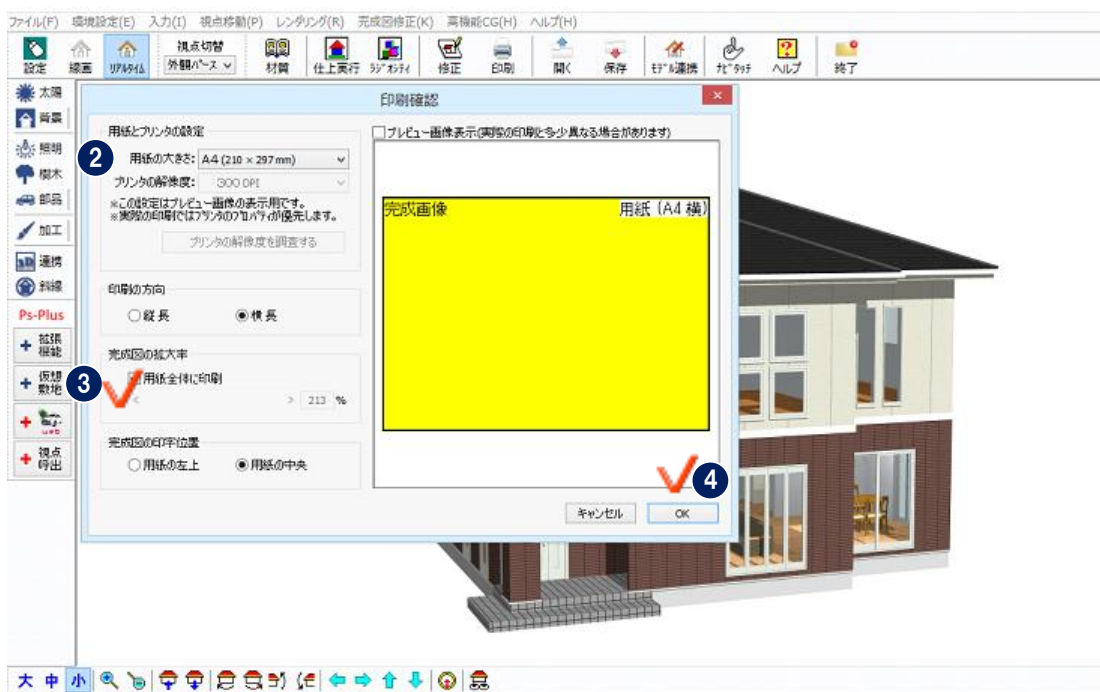
「外観パース画像」の印刷を行きましょう！



外観パース画像を1枚毎印刷する場合は、「印刷」アイコンを利用します。

※他の画像と組み合わせて印刷する場合は、「提案ボード」を利用します。

- ・①「印刷」アイコンを押す。
- ・②「印刷確認」用紙の大きさを設定。
- ・③「完成図の拡大率」 用紙全体に印刷にチェックを入れる。(用紙全体の印刷が可能です)
- ・④「OK」を押す。
- ・⑤プリンターを選択して「OK」印刷開始。





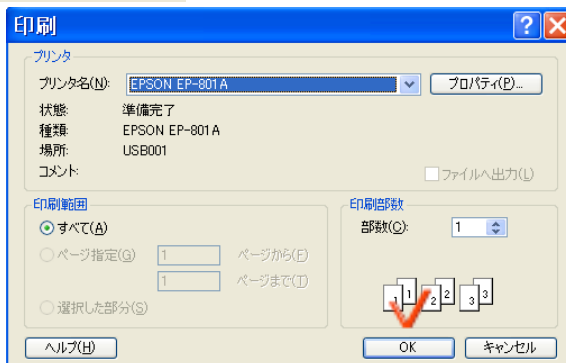
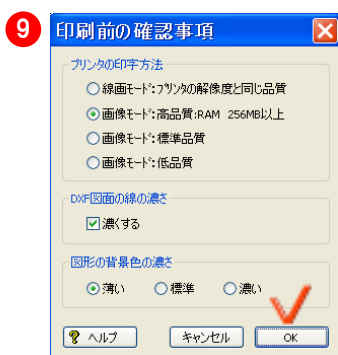
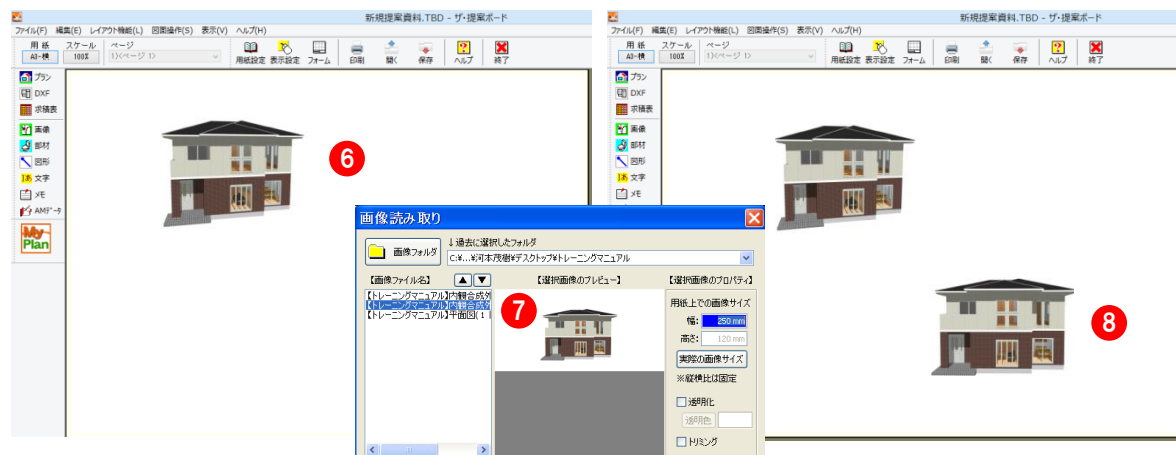
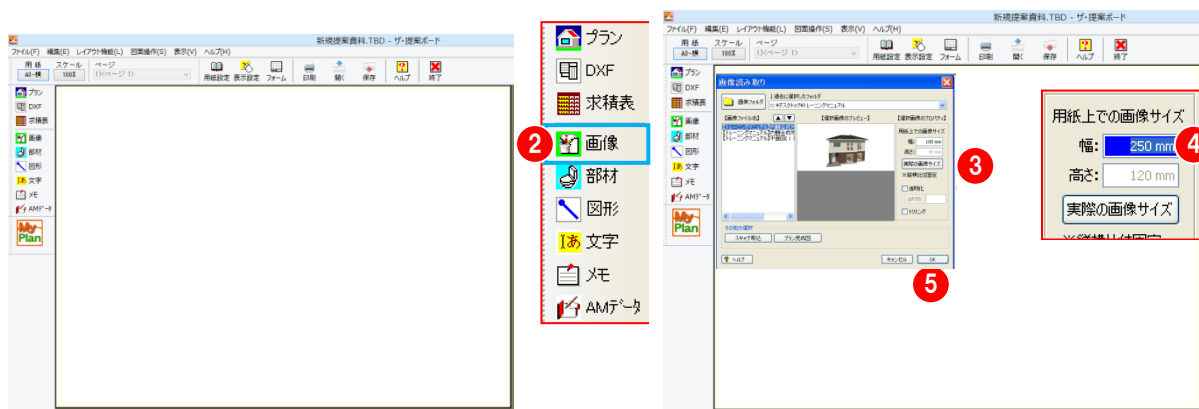
外観パース画像を提案ボードに貼付/印刷



※提案ボードは「標準モデル」画面での解説となります。

外観パース画像を「提案ボード」に貼り付けます。

- ・①「ザ・提案ボード」を起動して用紙を開きます。
- ・②「画像」アイコンを押して③保存した外観パース画像を選択します。
- ・④「用紙上画像サイズ」を調節します。「100」を「250」に設定
- ・⑤「OK」を押して⑥の場所に配置。⑦別の画像を選択して同様に⑧の場所に配置。
- ・⑨「印刷」アイコンからプリンターを選択して「OK」印刷開始。





パース作成(起動設定/起動後表示切替)



- ① 起動設定: パースモード起動後の表示状態の設定です。
利用用途は、データ量が多くなった時に③②①の順で
起動時間が早くなります。
※初期出荷時は、リアルタイムとなります。



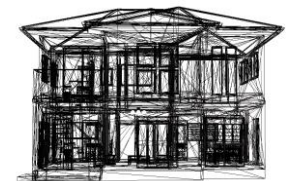
- ① リアルタイム: 材質表示



- ② 隠線: 材質表示無しの状態

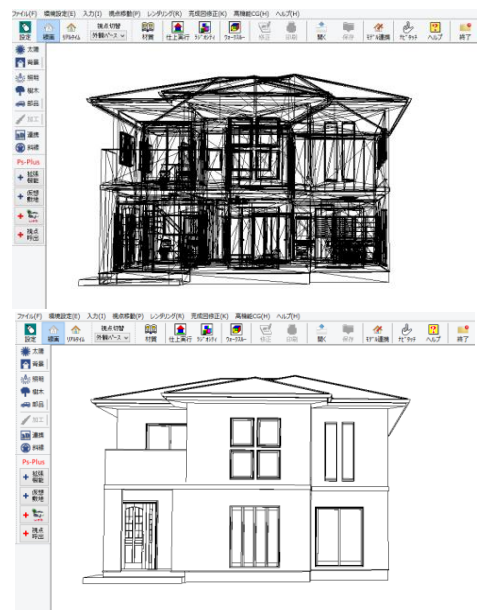
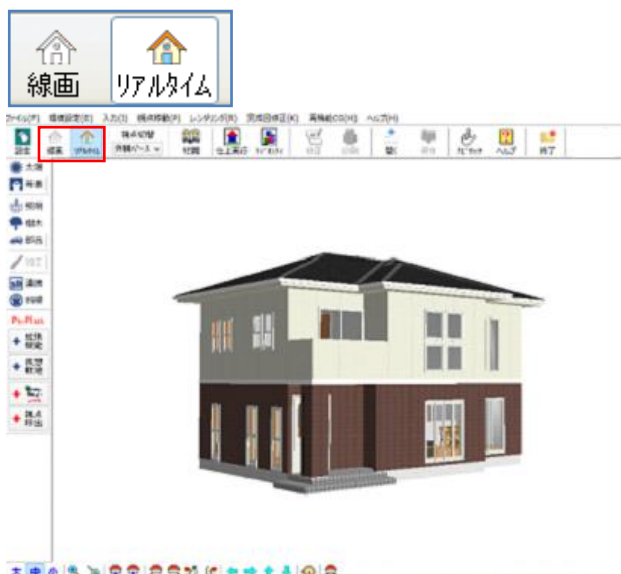


- ③ ワイヤーフレーム



起動後の表示切替:

- ◆起動後の初期出荷表示は、「リアルタイム」です。
 - ◆「線画」アイコン: 1 回押すと「ワイヤーフレーム」
2 回目は、「隠線」に切り替わります。
- ※データ量が多くなり動作が遅くなった時に「ワイヤーフレーム」や「隠線」に
切替えてご利用下さい。





パース作成(材質/材質コーディネート設定)



【材質】/「材質コーディネート設定」は、「外装」「内装」「造作」の「材質」の設定機能です。



【外装】屋根・外壁・外構など外像部材の一覧が表示され良く利用する登録材質の設定をして、パース作成時に入力画面で変更します。

※「屋根タイプ1」「外壁タイプ1」など「タイプ1」の材質が基本材質となります。



【内装】部屋毎の材質を設定しています。

※部屋毎に床・内壁・天井・巾木・廻縁など良く利用する材質を登録してご利用下さい。



【造作】和室・床の間などの造作材で利用する材質を設定しています。



外観パース作成(敷地入力/外観パース作成)



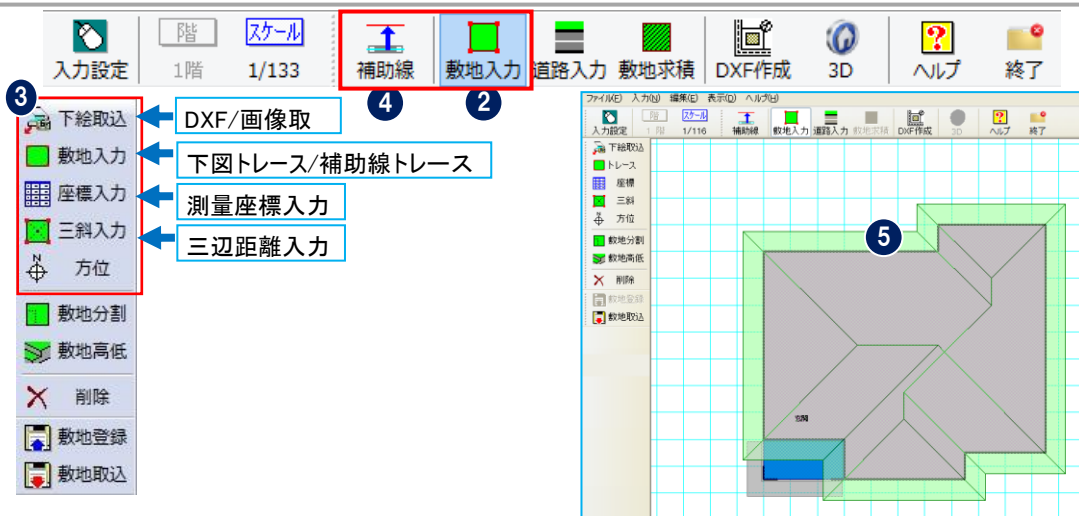
敷地が入った外観パースを作成してみましょう！

平面図「① 敷地」アイコンで敷地を入力して外観パースに入ります。



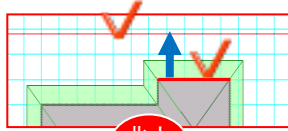
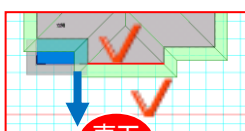
・「②敷地入力」を押すと敷地入力方法には「③5つ」の入力方法があります。

このケースでは、外壁面から「④補助線」で下図を入力し「トレース」機能で敷地を入力して行きましょう！

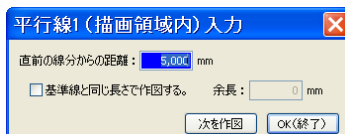


・④「補助線」アイコンを押して「平行線1」を選択します。

四方四面に対して其々、壁面を選択して補助線移動距離を 5,000mm を入力して補助線を入力します。



東西南北4面 移動距離 : 5,000mm



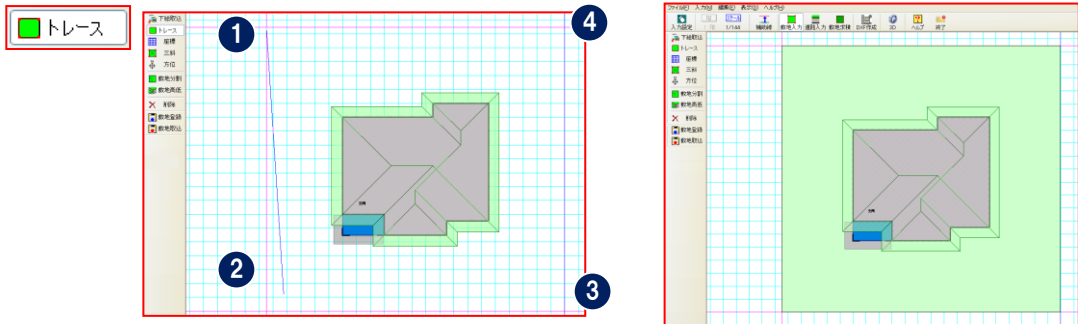


外観パース作成(敷地入力/外観パース作成)



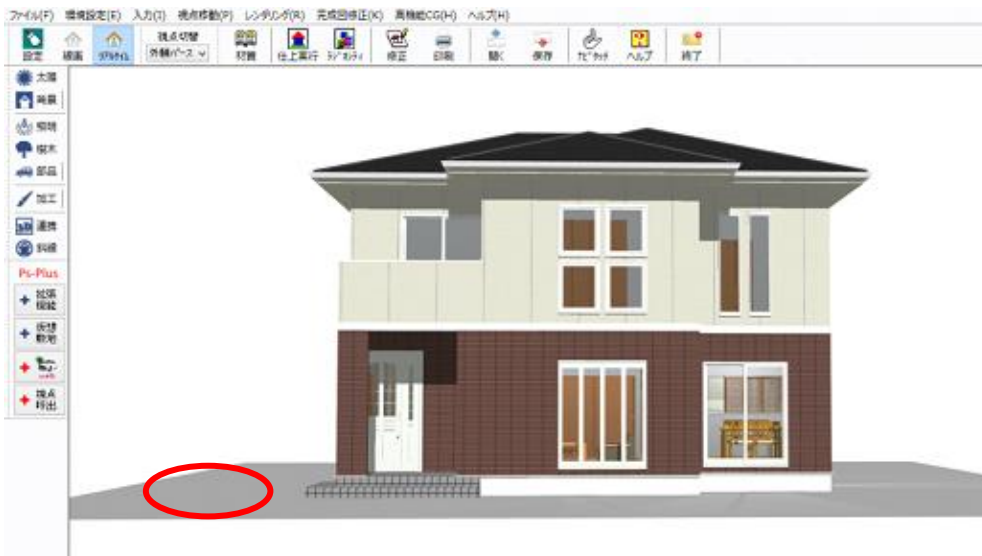
「トレース」機能で4点の補助線交点を入力すると「⑤敷地」が入力されます。

敷地機能画面の  を押して  に戻りましょう！



外観パース(内観合成)のボタンを押すと右の「パースデータ作業継続」メニューが表示されます。

入力した敷地を表示させる場合は、
「パース再生成」をクリックして「OK」でパースに入ります。
「2: 前回パースをそのまま表示する」は、前回表示の状態で
入力した敷地は表示されません。



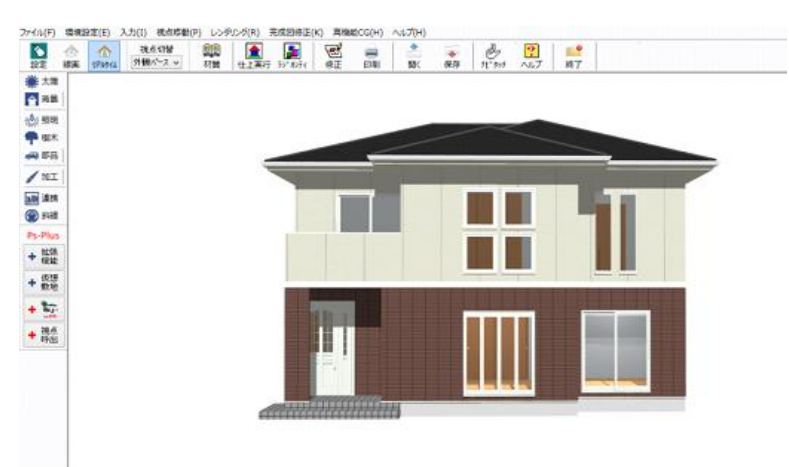
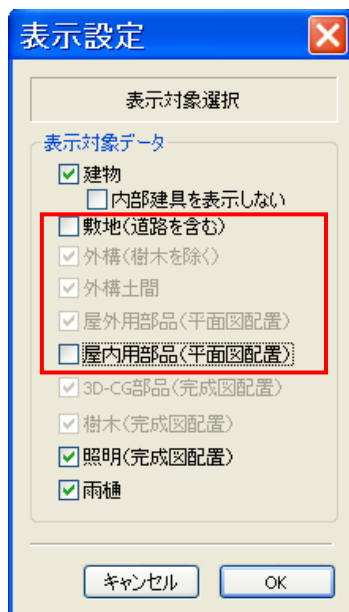
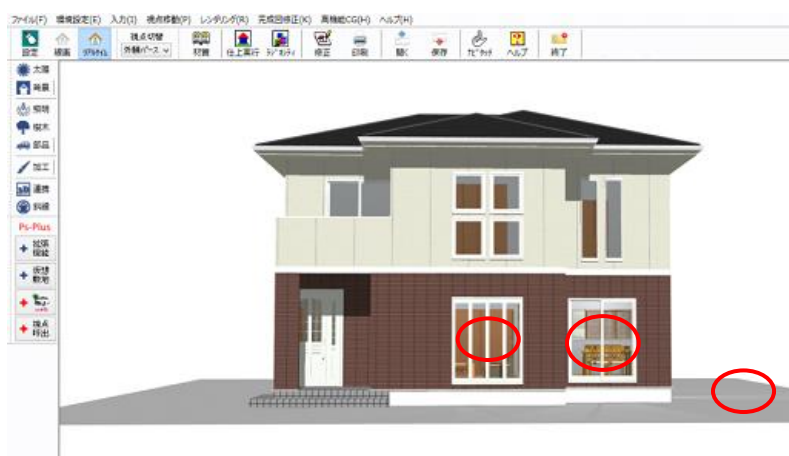
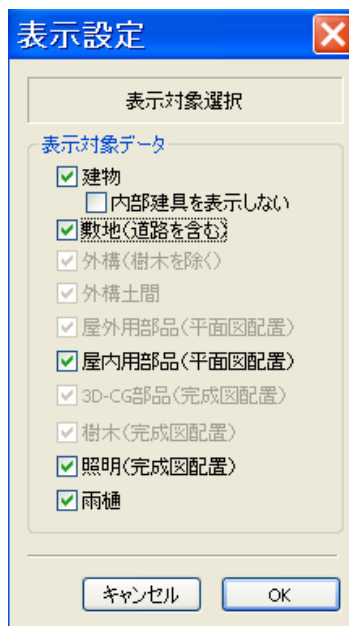


パース作成(表示設定)



パース作成機能では、表示/非表示の  設定機能があります。

レンダリング処理のスピードアップや目的に応じてご利用下さい。

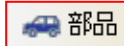




外観パース作成(プレミアムメンバー限定 添景部品)



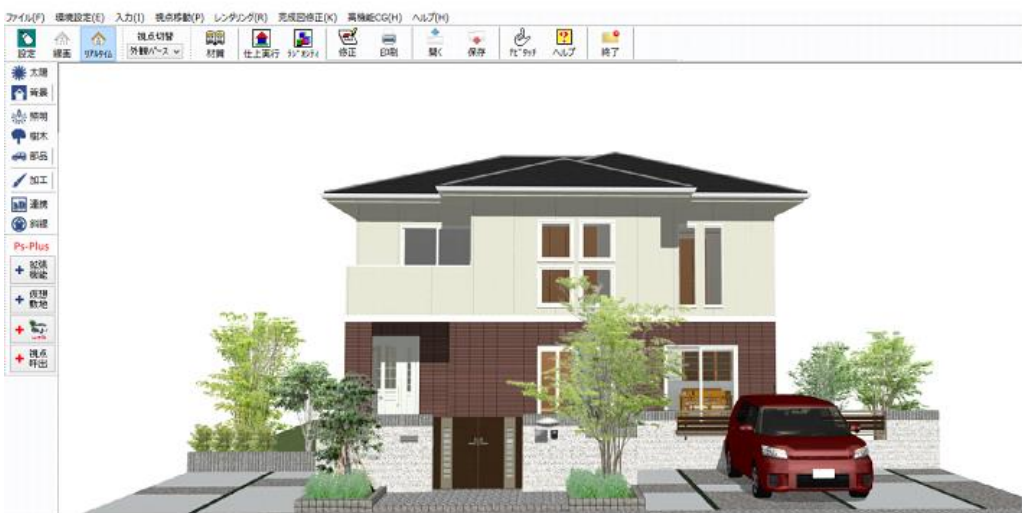
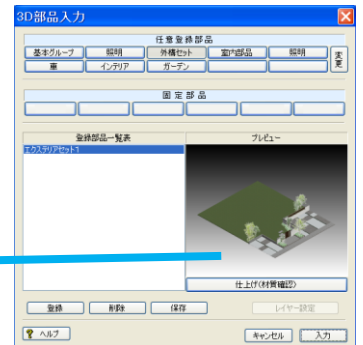
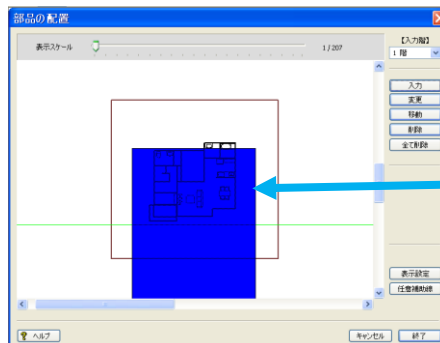
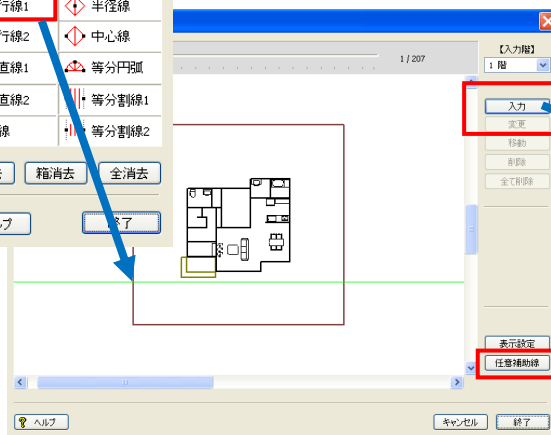
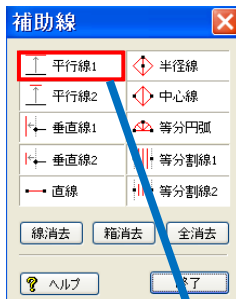
パース機能では、プレミアムメンバー限定の「3D デザイン添景部品」の配置が可能です。



部品

アイコンから「部品の配置」「入力」の手順で配置して行きます。

※「任意補助線」で補助線を下図して指定の場所に配置するのがポイントです。





パース作成機能 3D 連携 (他ソフトへの連携)



パース機能では、他ソフトと連携する為の「3D 連携機能」があります。

3D 連携についてご不明な点は、(株)ザ・システムにお問い合わせ下さい。

- ◆インフォマティクス社: 3D ペイントレンダリングソフト「ピラネージ」
- ◆リック社: エクステリア CAD「RIK-CAD」
- ◆オーセブン社: エクテリア CAD「eE-CAD」



XVLファイル出力(V)...
3DSファイル出力(I)...
DXFファイル出力(E)...
OSXファイル出力(O)...
RIKファイル出力(R)...
ピラネージ連携ファイル(E)...

他社ソフト連動ファイル処理機能

■変換ファイル形式
インフォマティクス社ピラネージ連携ファイル出力

■変換作業の内容
現在表示中のパースを、インフォマティクス社の3次元ペイントレンダリングシステムピラネージ連携ファイル形式であるEPiX形式に変換してファイル出力します。

■特徴:
EPiX形式は3次元ペイントレンダリングシステムピラネージで読み込むことができ、プランナーで構築された3Dの情報を生かすことで、一切のマスキング(領域選択)をすることなく、面、部材、色ごとに色やテクスチャを塗り分けたり編集を行うことができます。

■参考URL (クリックするとインターネットに接続し参考サイトを開きます)
<http://www.informatix.co.jp/>

プランナーのデータを他社ソフトのデータに、以上の説明に沿って変換します。

作業を開始してもよい場合は、OKを選択してください。

キャンセル OK

TheSystem ザ・プランナー 住宅モデル デザイン処理 inforMatix Piranesi 6 V6.1

プランニング データ デザイン コーディネイト

0分 → 30分

背景、部品
着色、陰影
テーマ別
画像処理

1 画像をクリックすると拡大表示します

フォトリアル 夜景

切替部 水景

◆ピラネージの多彩な表現とは: マルチペイント機能

内外観パースデータをワンクリックでフォトリアル・夜景・鉛筆画・水彩画など全20パターンでの多彩な表現が作成できます。

1 画像をクリックすると拡大表示します

フォトリアル 夜景 水景 切替部

水景 切替部 フォトリアル 夜景

マルチペイント動画を見る

3Dペイントレンダリング

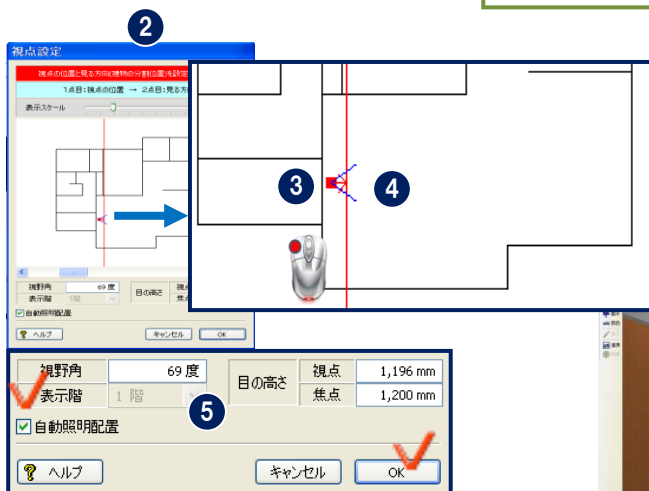


内観パース作成(内観パース視点設定)

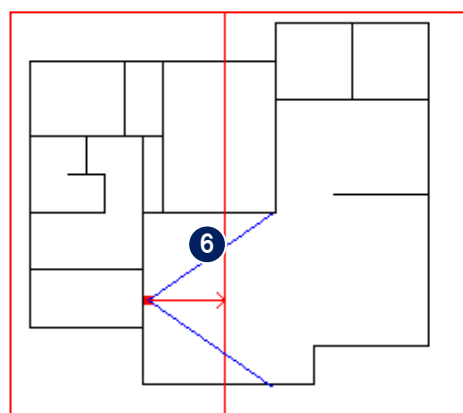
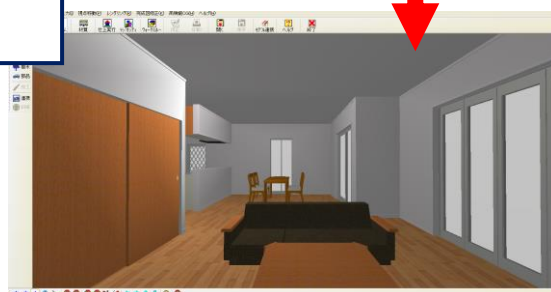


LDKの内観パース(単層階)を作成しましょう！

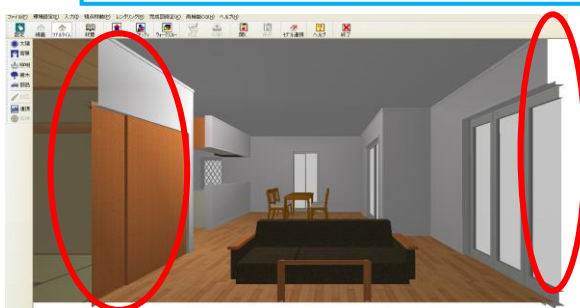
操作ポイントは、外観パース同様に視点設定と照明(光・影)となります。



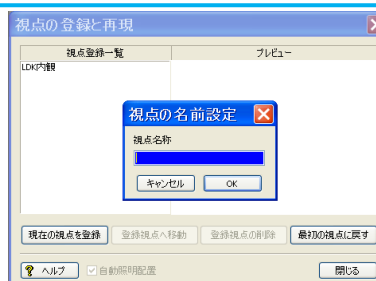
- ・①内観パース(単層階)起動。
- ・②視点設定画面表示。
- ・LDK:③1点目④2点をクリック。
- ・⑤視野角 69度, 視点 1,196mm, 焦点 1,200mm (自動照明配置チェック)「OK」確定



- ・⑥の様に2点目範囲を長くすると断面表現になります。



◆視点が決ったら「視点登録」しておく事がポイントです。
後から調整して再登録も可能です。





内観パース作成(内観パース照明配置)

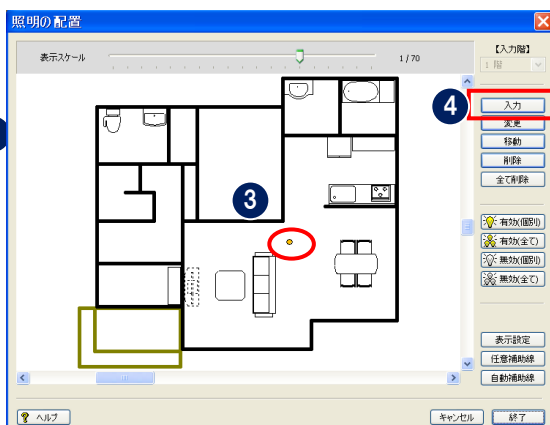


内観パース **照明** 機能を使って照明器具配置や明るさを調整しましょう！

【① 自動照明配置の状態でもレンダリングは可能です。】③の黄色い●印が自動照明です。

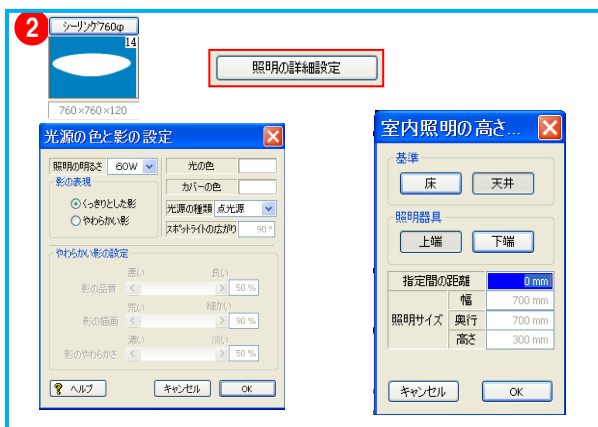
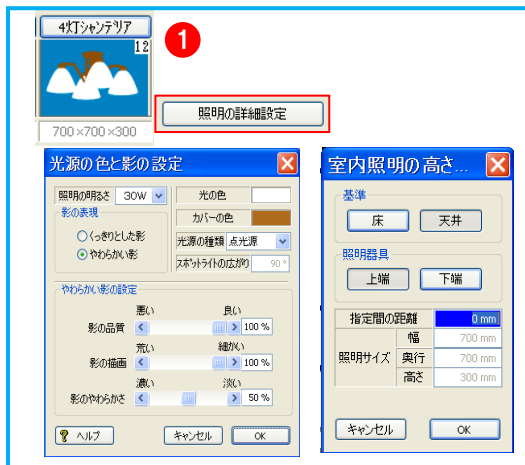
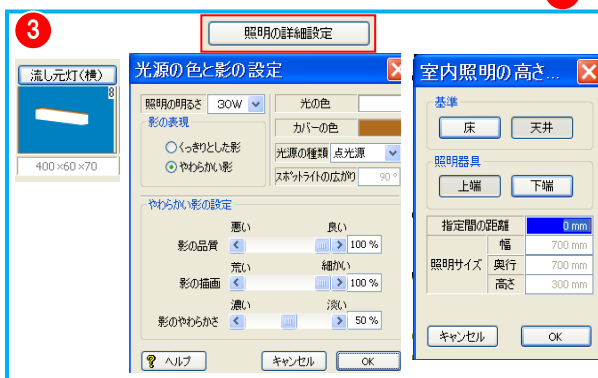
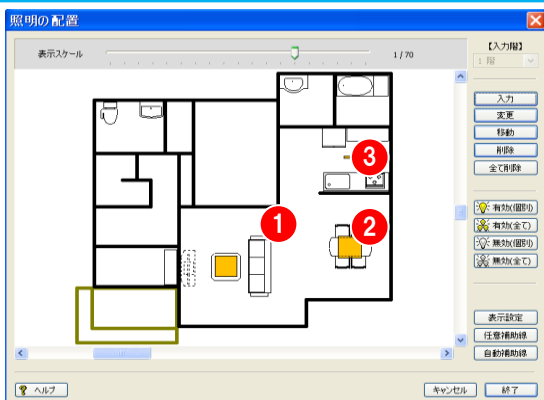
・「④入力」をクリック。

・「⑤照明入力」画面になります。



・①②③の照明を配置しましょう！照明を選択し

・④「照明の詳細設定」を確認してから「⑤入力」配置です。





内観パース作成(仕上実装/レンダリング)



内観パース「仕上実行」を起動してレンダリングしてみましょう！



自動照明のレンダリング



照明配置のレンダリング



プレミアムメンバー限定「3D デザイン添景部品」/アーキマスタオプション「実建材」
品質が高い部品配置で臨場感ある内観パースが演出できます。



プレミアム添景 家具・照明 / 建具 アーキマスタ OP



プレミアム添景 家具 / 建具・厨房 アーキマスタ OP





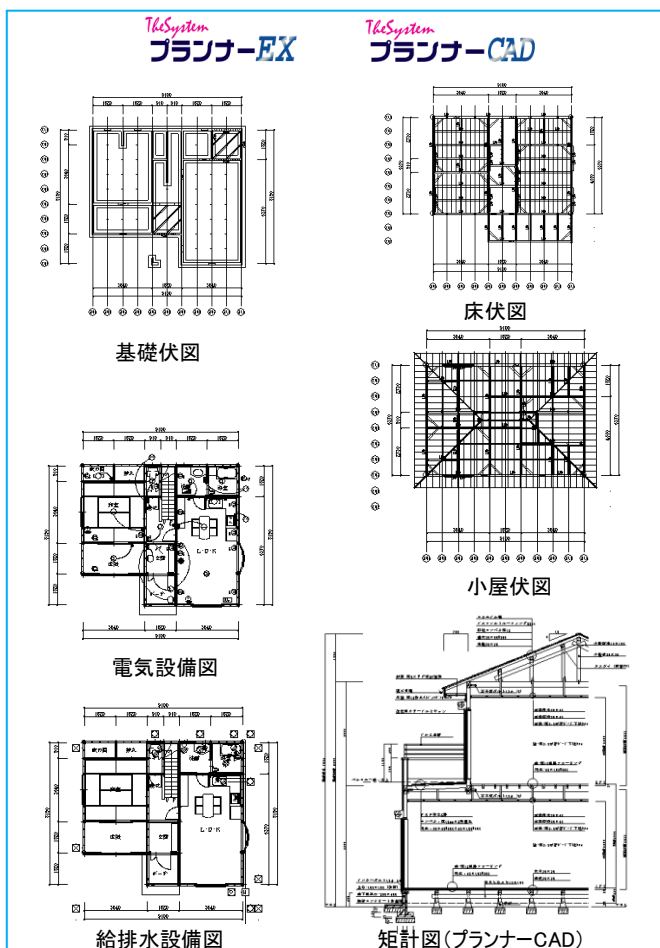
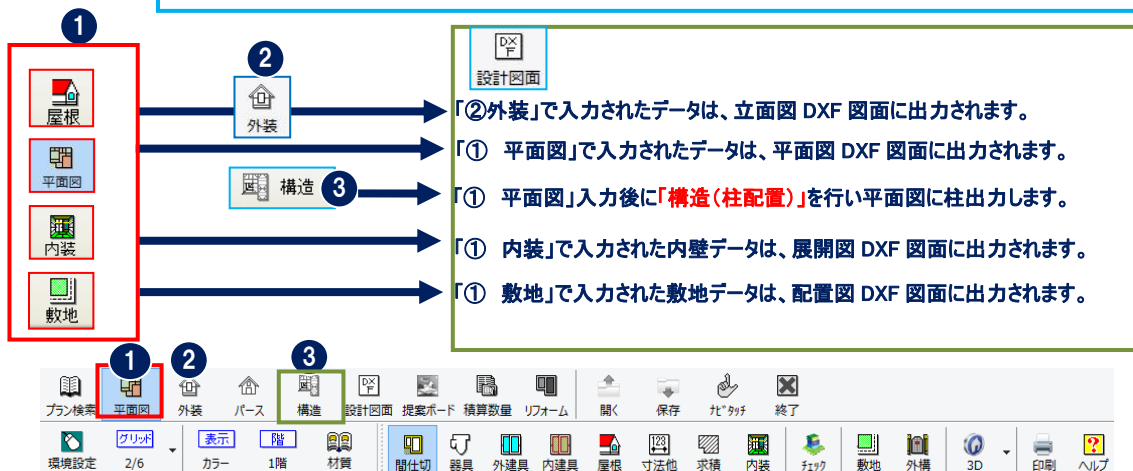
DXF 図面作成機能(図面作成データの考え方)



DXF 図面は  アイコンから DXF データとして図面化出来ます。

入力したデータがどの図面に反映されるかを覚えておきましょう！

(製品別の作成図面一覧を確認下さい。)

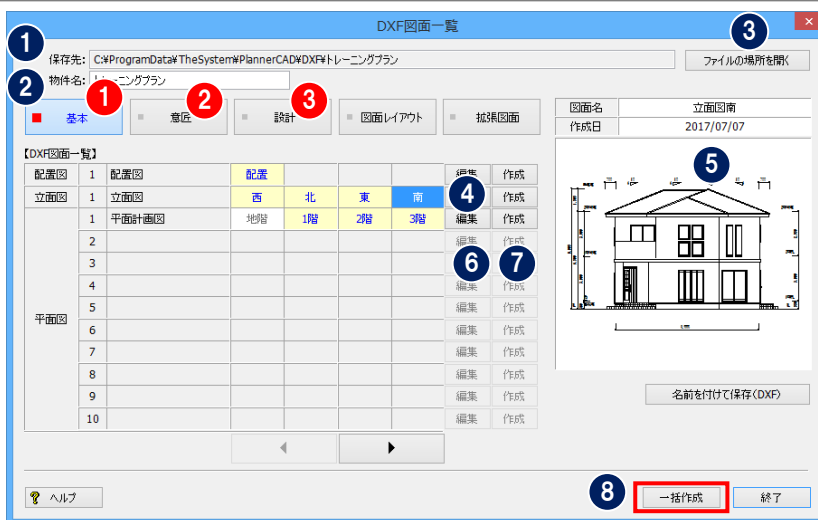




(図面作成・図面編集・図面再作成・作成図面状態)は、この画面を使用します。

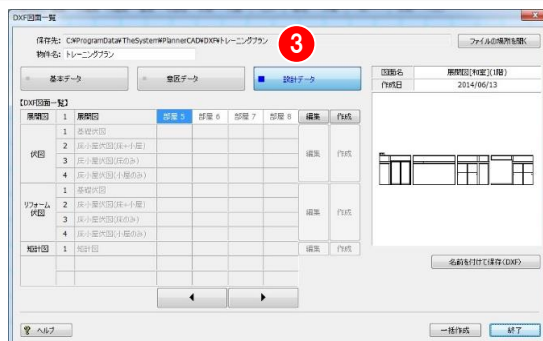
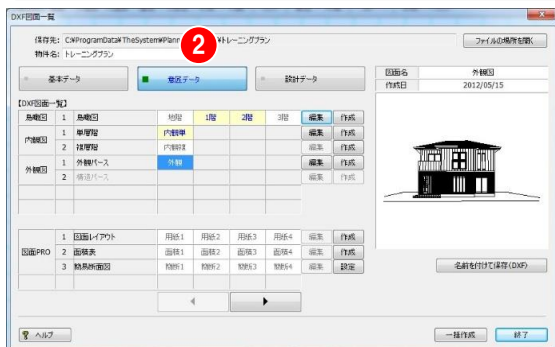
- ・「①保存先」DXF 図面データの保存先は、インストール時は、以下のフォルダ内に保存されます。
プランナー物件データが「トレーニングプラン」の場合は物件名が保存フォルダ名となります。

C:\Documents and Settings\PCユーザー名\Application Data\TheSystem\PlannerCAD\トレーニングプラン
- ・「②物件名」プランナーデータの物件名が表示されます。新規作成時に物件名称が空白となります。
ここで物件名称を入力後、プランナー物件データを保存する場合には、同名称が表示され名称整合が取れる状態になります。（※DXF 図面データの管理は、物件名称と保存場所が重要になります。）



- ・ ③保存先ファイルの場所を開きます。

- ・「**④・⑤図面表示**」図面作成後に「青」文字になります。文字を押すと⑤図面が表示されます。
- ・**④・⑤**を押すと単体図面の編集画面が起動します。(立面図の場合 南面1面の編集状態になります)
- ・「**⑥編集**」複数図面の編集画面が起動します。(立面図の場合4面の編集状態になります。)
- ・「**⑦作成**」指定図面の DXF 図面再作成を行います。(平面図の場合は、階を選択して再作成を行います。)
- ・「**⑧一括作成**」図面の一括作成を行います。
- ・「**①基本データ②意匠データ③設計データ**」図面の分類です。作成図面を分類して表示します。





DXF 図面作成機能(一括作成)

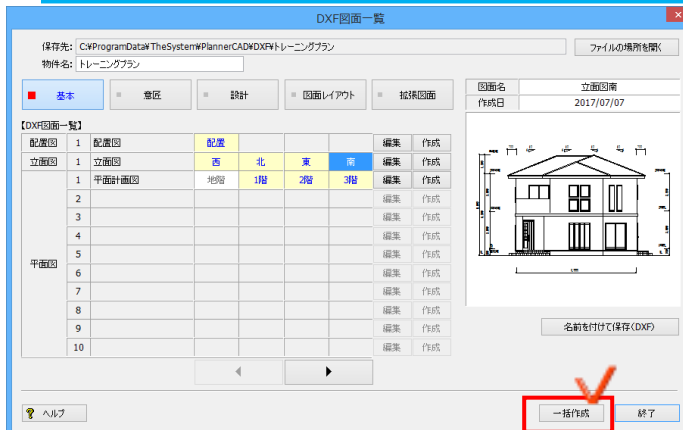
一括作成



「一括作成」を行いましょ！

一括作成

アイコンを押します。



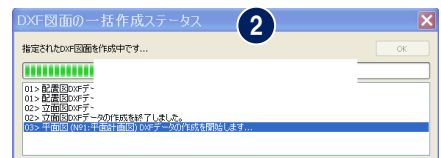
DXF図面の一括作成

一括作成する図面を選択してください...

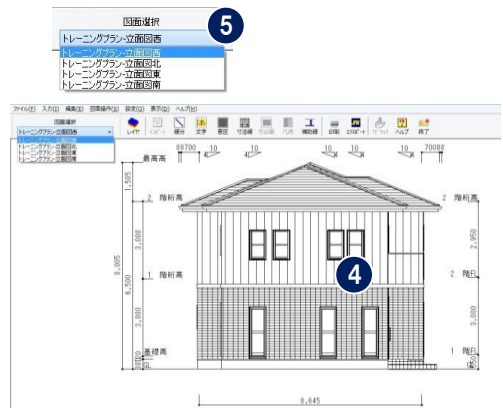
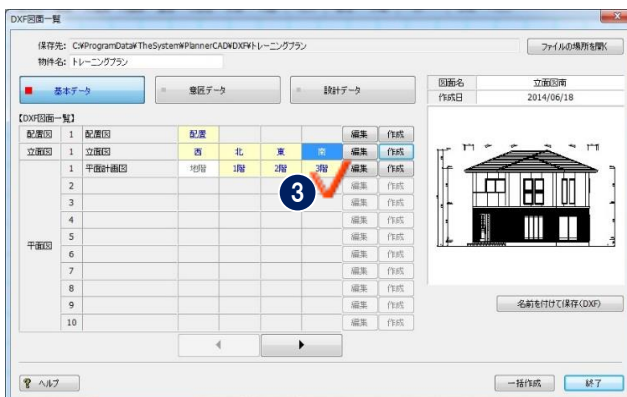
基本データ		意匠データ		設計データ	
配置図	1 ☒ 配置図	鳥瞰図	1 ☐ 鳥瞰図	1	基礎伏図
立面図	1 ☒ 立面図	外観図	1 ☐ 外観図	2	床小屋伏図(床+小屋)
	1 ☒ 平面計画図		2 ☐ 構造ベース	3	床小屋伏図(床のみ)
				4	床小屋伏図(小屋のみ)
平面図	2			1	基礎伏図
	3			2	床小屋伏図(床+小屋)
	4			3	床小屋伏図(床のみ)
	5			4	床小屋伏図(小屋のみ)
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				

ヘルプ 自動作成フォルダの削除 キャンセル OK

- ①「一括作成」を実行する図面にチェックを入れて選択後「OK」実行します。
- ②一括作成ステータスが表示されます。



- 図面が作成されたら「DXF 図面一覧」に戻ります。
- 立面図の「③編集」アイコンを押すと「④編集画面」が起動します。
- 「⑤図面選択」を選んで他図面を確認しましょう。





DXF 図面作成(図面再作成/作図条件設定)

DXF
設計図面

編集

作成

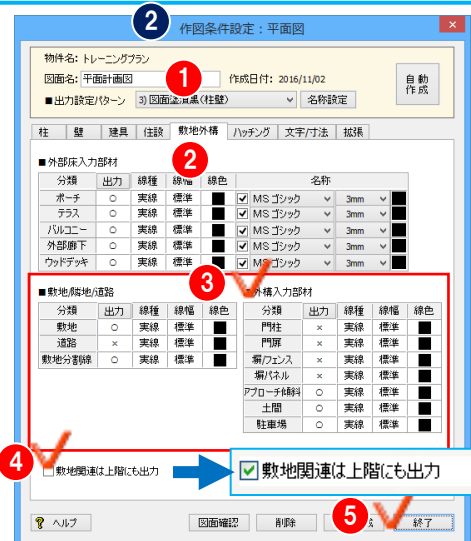
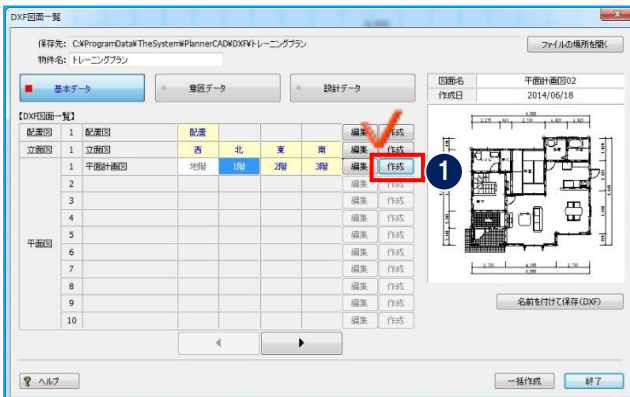


作成

アイコンを起動して「図面の再作成」を行いましょ！

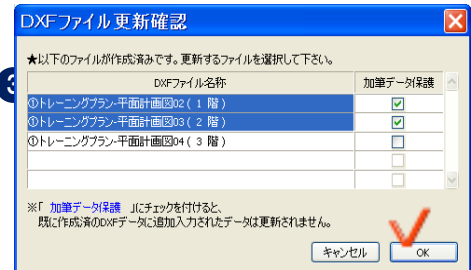
1階2階の平面図に敷地線を表示させた図面を作成します。

・平面計画図「①作成」アイコンを押します。「②作図条件設定」が起動します。



【作図条件設定】

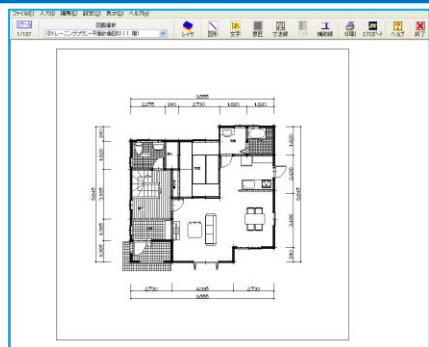
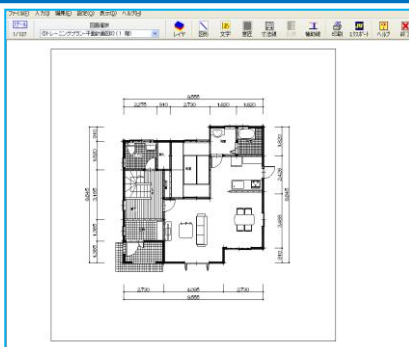
- ・「①図面名」図面名称の変更が可能です。
- ・出力名レイヤ設定タブの「②その他」を選択します。
- ・敷地外構エリアの「③敷地」出力を押して○に設定。
- ・「④敷地階は上階にも出力」にチェックを入れます。
(このチェックで2階以上の階に敷地が入ります)
- ・「⑤自動作成」を押します。
- ・DXF ファイル更新確認の画面が表示されます。
- ・「③再作成図面」を押して青表示させます。
- ・「④加筆データ保護」のチェックは汎用データを入力していた場合に消去せずに自動作成する機能です。このケースではチェックが入っていても問題ありません。
- ・更新確認画面で「⑥はい」を押して実行します。
- ・「⑦編集画面」が起動して平面図 1 階 2 階に敷地の表示が確認出来ます。
- ・「⑦編集画面」を終了すると「図面一覧画面」に戻ります。



更新確認

選択された⑥ファイルを更新します。よろしいですか？

はい(Y) いいえ(N)





DXF 図面作成(作図条件設定)



作図条件設定は、DXF 図面を出力する場合の条件設定です。
出力レイヤ設定に項目毎に設定があります。詳しくは「ヘルプ」を確認下さい。

■出力レイヤ設定

柱・間柱 間仕切 建具 その他 フォント他

【作図条件設定】

- ・「柱・間柱」柱の出力情報の設定。
- ・「間仕切」壁の出力情報の設定。
- ・「建具」建具の出力情報の設定。
- ・「その他」外構・屋根・階段などの出力情報の設定。
- ・「フォント他」フォント設定。

ハッチング設定(外壁壁・床・屋根など)

分類	出力	面意匠	面色	線種	線幅	線色
柱	一般	☐	☐	実線	標準	黒
	面意匠	☐	☒	実線	標準	黒
間柱	一般	☐	☐	実線	標準	黒
	面意匠	☐	☒	実線	標準	黒

【パターン登録】

- ・設定した出力条件は、5パターンまで登録出来ます。
- 登録した設定はすぐに呼び出すことが可能です。
- (プレミアムメンバー限定機能)

ヘルプ

図面確認

削除

自動作成

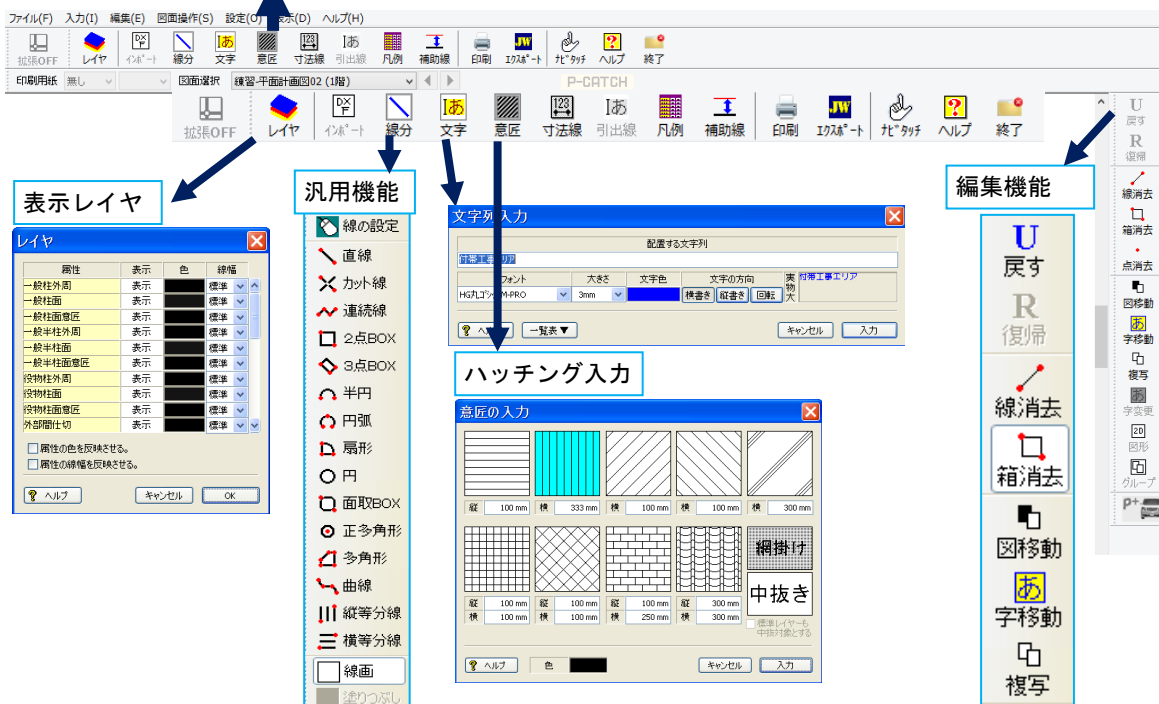
終了

- ・「ヘルプ」作図条件設定の解説。
- ・「図面確認」自動作成前の図面確認。
- ・「削除」図面削除。
- ・「自動作成」設定した作図条件での DXF 図面自動作成。
- ・「終了」DXF 図面一覧に戻る。

分類	付属品	出力	線幅	線色
外部建具	内部窓枠	☐	標準	黒
	面格子	☐	標準	黒
	内格子	☐	標準	黒
	シャッター・雨戸	☐	標準	黒
	手摺	☐	標準	黒
	雨戸(戸袋)	☐	標準	黒
	フラワーボックス	☐	標準	黒
	窓庇	☐	標準	黒
	内窓	☐	標準	黒
	カーテン	☐	標準	黒
内部建具	ブラインド	☐	標準	黒
	建具枠	☐	標準	黒

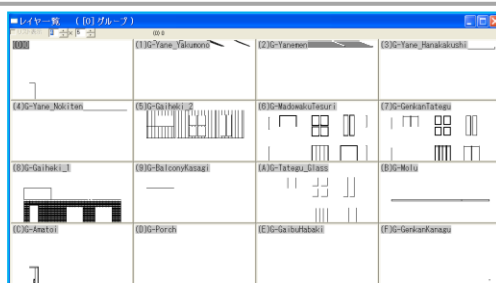


図面選択機能:作成した図面の切替



JW-CAD ダイレクトエクスポート機能(プレミアムメンバー限定機能)

編集画面から JW-CAD 起動。DXF 図面はレイヤ分された状態で出力していますのですぐに編集が可能です。





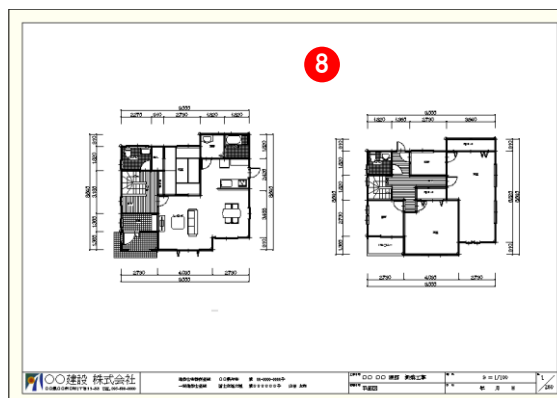
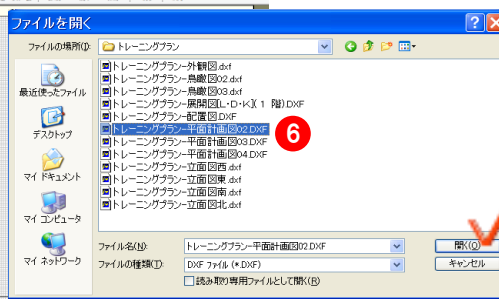
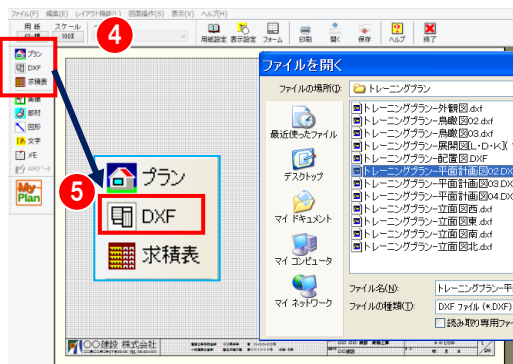
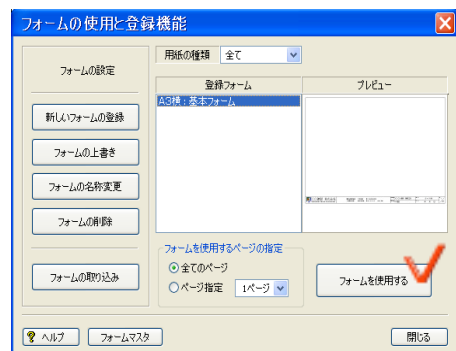
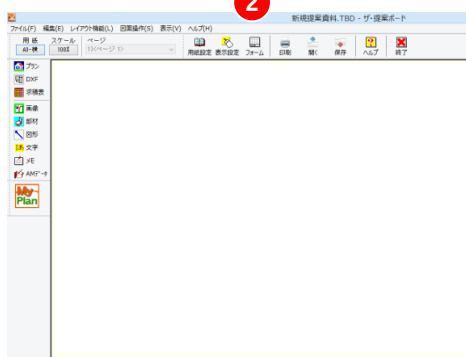
DXF 図面印刷を提案ボードに貼付



※提案ボードは「標準モデル」画面での解説となります。

DXF 平面図を「提案ボード」に貼り付けます。

- ①「ザ・提案ボード」を起動して用紙を開きます。
 - ②「フォーム」アイコンを押して③登録フォームを(A3 横基本フォーム)を選択して「フォームを使用する」を押します。
 - ④図枠が入った登録用紙が読み込まれます。⑤⑥「DXF」アイコンから平面図を選択して「開く」を押す。
 - ⑦「DXF データの設定」OK を押します。⑧の場所に配置。
- (平面図の1階2階を並べて配置します。)



提案ボード 汎用機能(入力)

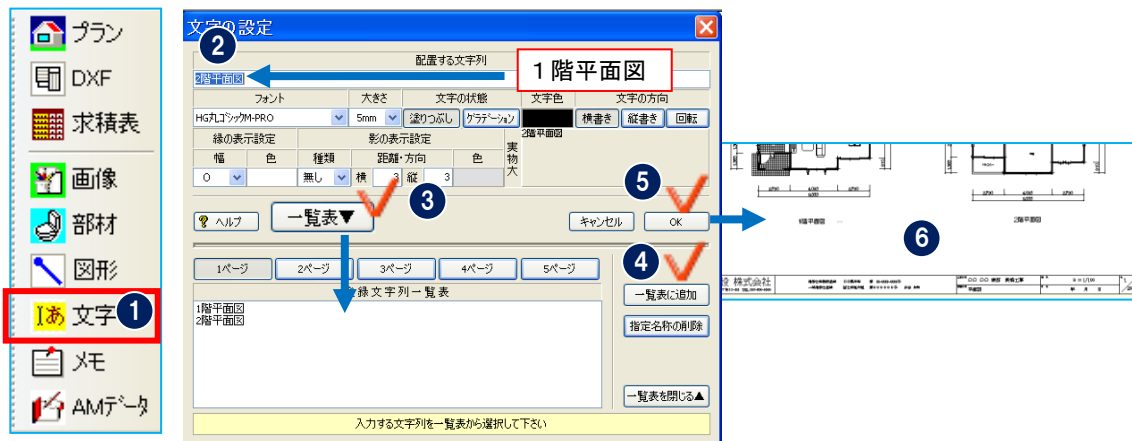


※提案ボードは「標準モデル」画面での解説となります。

【あ 文字】 機能を利用して平面図名称を入力します。

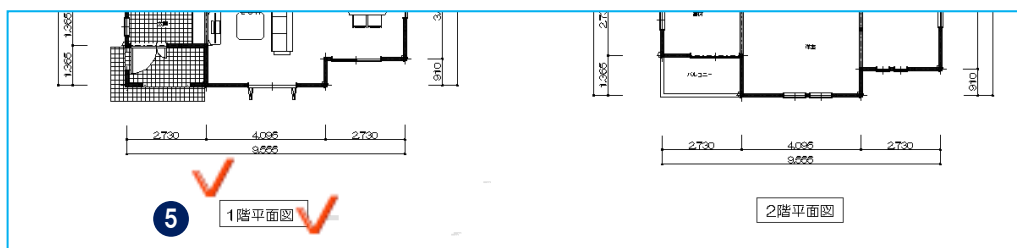
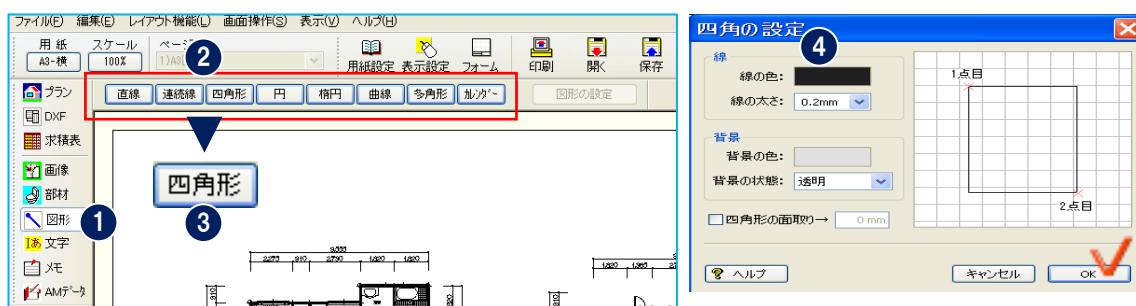
- ・①「文字」アイコンを押すと②文字の設定が開きます。「1階平面図」を入力。③「一覧表」を押す。
・④「一覧表に追加」を押す。(※良く利用する文字の登録方法です。)
・⑤「OK」を押して⑥に配置します。(2 階平面図も同様に配置します)

※CAD 側で編集機能を利用して直接 DXF 図面に名称を入力する方法もあります。



 機能を利用して平面図文字に枠を入力します。

- ・①「図形」アイコンを押すと②図形入力アイコンが表示されます。③「四角形」を選択。
- ・④「四角の設定」が表示され「OK」を押す。
- ・⑤「1 階平面図」文字を対角に囲む様に入力します。(2 階平面図文字も同様に枠を入力します)





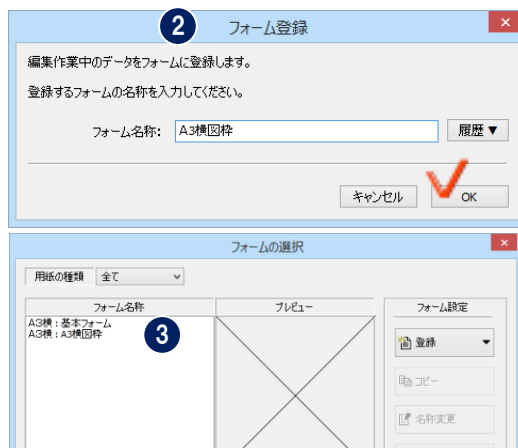
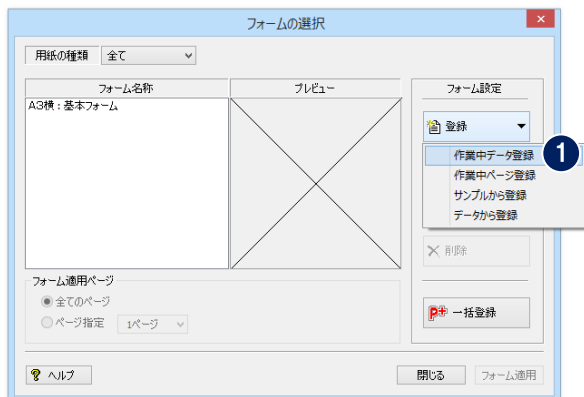
※提案ボードは「標準モデル」画面での解説となります。

変更した図枠を登録します。「フォーム」アイコンを選択します。

- ・①「登録」→「作業中データ登録」を押す。②「フォーム登録」画面で名前を付けて「OK」。

再度「フォーム」アイコンを押すと

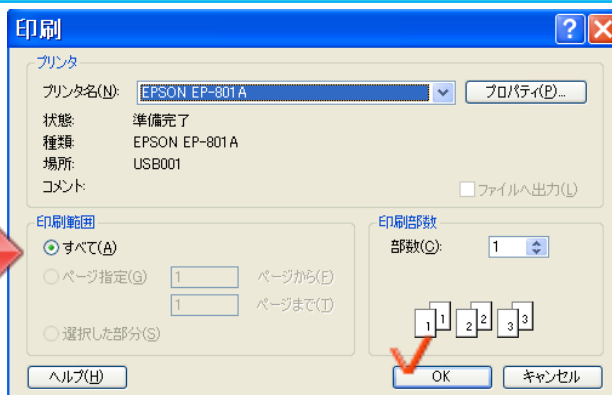
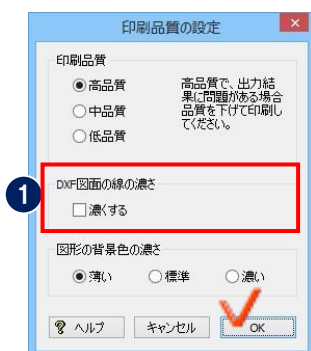
- ③新しいフォーム名が登録されているのが確認出来ます。



提案ボード DXF 図面の印刷ポイント



提案ボードから DXF 図面を印刷する場合は、ご利用のプリンタなどの出力機により図面線濃淡（濃い／薄い）の差が出ます。「①DXF 図面の線の濃さ」で調整下さい。



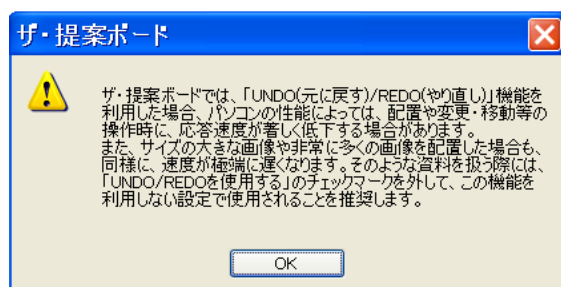


提案ボード UNDO/REDO の使用



※提案ボードは「標準モデル」画面での解説となります。

提案ボードの、UNDO(元に戻す)/REDO(やり直し)を使用する場合は、「編集」から「UNDO/REDO を使用する」にチェックを入れてご使用下さい。





データ管理 プランナーデータ



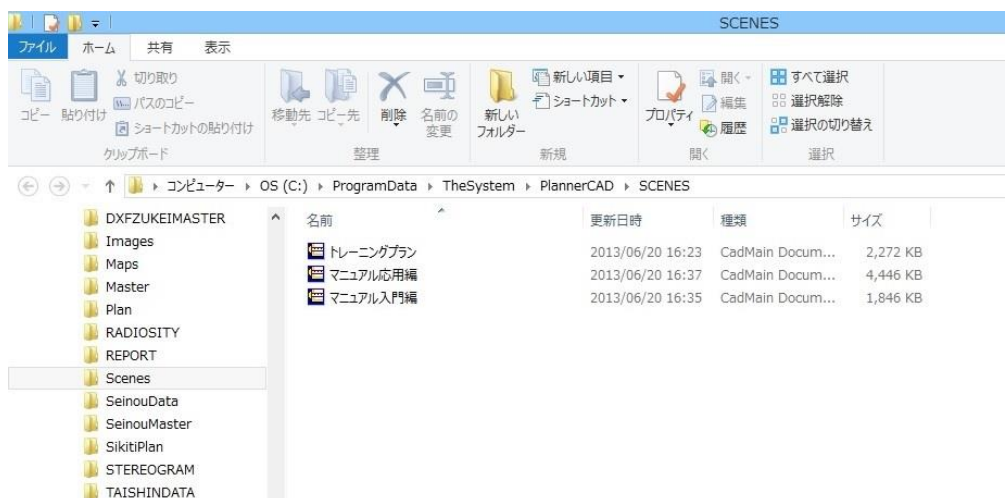
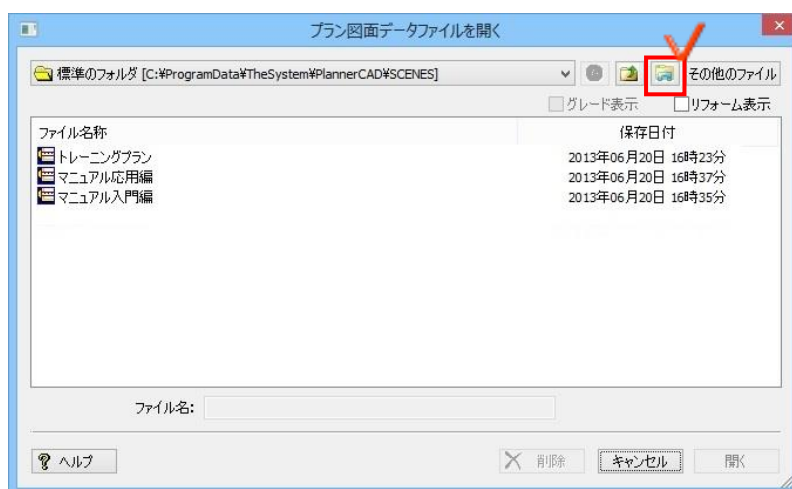
プランナーデータは、インストール時には、以下の場所にデータ保存されます。

保存場所は、任意指定フォルダを作成して保存が出来ますので分かり易い場所に保存して下さい。



C:\Documents and Settings\PC ユーザー名\Application Data\TheSystem\PlannerCAD\Scenes

プランナーの「保存データ呼出」からデータの保存場所を開くことができます。





データ管理 プランナーDXF 図面データ

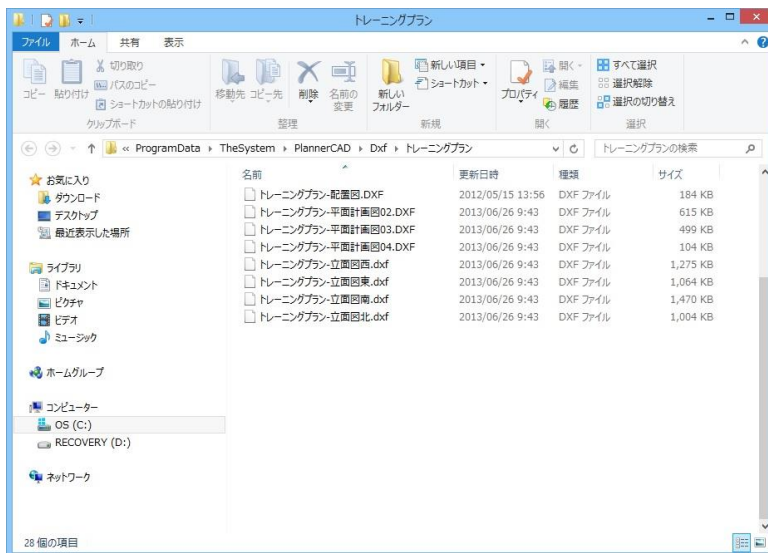
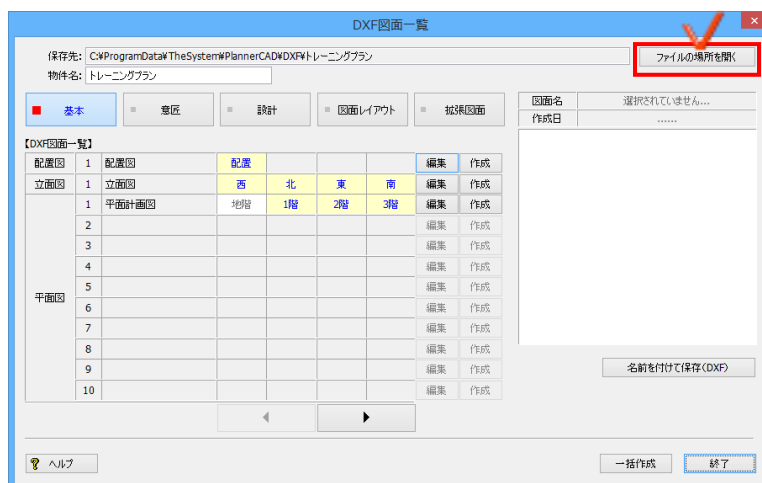
DXF 設計図面

プランナーデータで作成した DXF 図面の保存場所は、インストール時には、以下の場所にデータ保存されます。

保存場所は、任意指定フォルダを作成して保存が出来ますので分かり易い場所に保存して下さい。

 C:\ProgramData\TheSystem\PlannerCAD\DXF\トレーニングプラン

プランナーデータで作成した DXF 図面の保存場所は、「DXF図面一覧」より開くことができます。





データ管理 提案ボードデータ



ザ・提案ボードで作成したデータの保存場所は、インストール時には、以下の場所にデータ保存されます。
保存場所は、任意指定フォルダを作成して保存が出来ますので分かり易い場所に保存して下さい。

 C:\Documents and Settings\PC ユーザー名\Application Data\TheSystem\PlannerCAD\TeianBoard

ザ・提案ボードの「保存データ呼出」からデータの保存場所を開くことができます。

